株式会社 JVCケンウッド
〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

Kenwood AV Navigation System

KENWOOD

C9K4

C9K4 V6 650

CA9K3

C9K3 V6 650

A9K3 V6 650

AV Navigation System

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

B5A-0058-00

本機の最新情報について

本機をより便利に使っていただくために、地図更新、ファームウェアのバージョンアップ情報などを下記ホームページに掲載しています。

http://www2.jvckenwood.com/products/oem/mazda/

お使いの型名をクリックすると情報が表示されます。

カーナビゲーションシステムを使ってみよう

クイックスタートガイド（別紙）

本機の画面の出しかたをおぼえよう!

はじめに、クイックスタートガイドでタッチパネルの操作方法と各画面の表示方法をおぼえましょう。

AV画面

現在地図画面

情報･設定メニュー

目的地検索メニュー

取扱説明書（本書）

本機の機能を使いこなそう!

本機にはいろいろな機能があります。
取扱説明書で各機能の詳しい操作方法を確認して、便利に使いこなしましょう。

- はじめに
- 基本操作
- ナビゲーション
- オーディオ・ビジュアル
- 情報・設定
- Bluetooth
- オプション

操作に困ったときは…
「故障かなと思ったら」（➜ P.184）をご覧ください。

目次

オーディオ・ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

オプション

付録

安全上のご注意

- ご使用前に、以下の注意事項と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。取扱説明書に記載されている注意事項が守られなかった場合は、事故などの深刻な問題が発生する可能性があります。
- お読みになった後は、いつでも見られる場所（車のグローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示による注意

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

実施

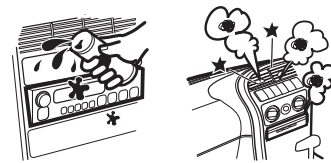
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告

- 交通事故防止のため、運転中は本製品の操作を行わないでください。運転中に本製品の操作を行うと、ハンドルから手が離れたり、道路状況への注意力が散漫になるなどして、交通事故などの原因になります。本製品を操作するときは、必ず安全な場所に車を止めてから行ってください。
- 運転者は、ナビゲーションの画面に気を取られないでください。交通事故などの原因になります。運転中に画面を見るときは必要最小限とし、注視するのは避けてください。

運転中の音量は、車外の音や緊急車両などの音が聞こえる程度で使用してください。外部の音が聞こえない状態で運転することは事故の原因となります。

- 以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。
  - 音が出ない
  - ディスプレイが表示されない
  - 異物が入った
  - 水がかかった
  - 煙が出る
  - 変な匂いがする

- 修理は必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。
- 緊急時に使用する場合は、本製品の情報のみに頼らず、警察や消防署、病院などに連絡をして、場所などの確認を行ってください。
- 探索したルートは、ルート上の安全性を考慮して探索されていません。危険な地域への誘導がされている場合は、運転者はそのときの状況を判断して回避してください。
- 本製品の地図は、実際の道路状況や交通規制などと異なる場合があります。これは収録された時点の地図データ、交差点情報、交通規制情報などと、現在のものとで差異が生じているためです。走行時には、常に実際の道路状況や交通規制などに従って運転してください。
- 一方通行表示については、常に実際の交通規制に従って運転してください。本製品の地図には、全ての一方通行道路が表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも、実際にはその一部が両面通行の場合があります。
- ナビゲーションシステムで探索された経路はあくまでも参考ルートで、実際の道路状況や交通規制などと一致しない場合があります。常に実際の道路状況や交通規制に従って運転してください。
- 万一、異物が入った、水や飲み物がかかった、煙が出てくる、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用を続けると、事故、火災、感電の原因となります。
- 規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 本機の取り付け、取り外し、周辺機器の追加などを行う際は、安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。取り付け作業には専門技術が必要です。
- 事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

画面が表示されない、音声が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

- 本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。
- 本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。
- 操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。

本機は自動車のコンソールに設置してください。本製品の使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、取扱説明書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。
安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」（➜ P.184）を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃の際には、フィルムアンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出ることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがありますが、故障ではありません。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
- 走行中は、安全のため、一部を除く細街路*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
  - 細街路を走行中の現在地図画面
  - 市街地図を表示しているとき
  - マップマッチングしていないとき

  *: 細街路とは、道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、販売店へ連絡してください。

フロントパネルの安全装置について

フロントパネルを閉じるときにパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。
⏏（オープンキー）を押すとフロントパネルが閉じます。
パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、⏏（オープンキー）でフロントパネル操作メニューを表示して再度操作してください。

本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合は、本機に記録された情報（例:登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。
個人情報の消去は、システムを初期化する（➜ P.132）/ 暗証番号を解除する（➜ P.134）で行うことができます。未消去のデータの流出による損害等について、当社では一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター（フリーダイヤル 0120-2727-87）までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

電波について

- 本機の電気通信事業に基づく技術基準適合証明は製品本体に記載のモデル名「C9K4」または「CA9K3」で取得しています。
- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。
  したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - 分解 / 改造すること
  - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意
本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

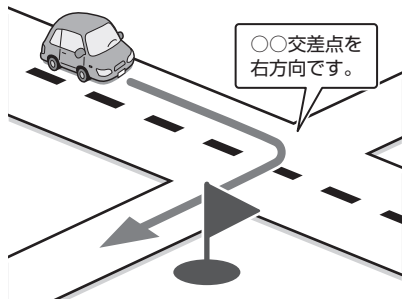
- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

  2.4 FH 1

  2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
  FH : FH-SS変調方式を表します。
  1 : 電波与干渉距離は10mです。
  ▭▭▭ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。
- 使用可能距離は見通し距離約10mです。
  鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
  - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

ナビゲーション機能

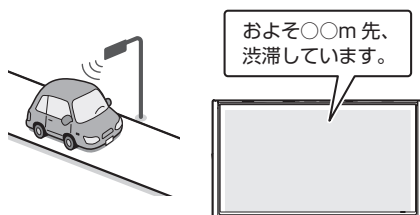
● ルート探索・編集

行き先を設定すると、最適なルートが探索されます。優先する道路や距離別のルートを選んだり、経由地を追加することもできます。(➜ P.50)

● 目的地検索メニュー

施設の名称やジャンル、住所など、多彩な検索方法から行き先を探すことができます。(➜ P.40)

● ルート案内

行き先までのルートのほか、方面看板や交差点のレーン情報などをイラストや音声でお知らせします。(➜ P.53)

ドライブに役立つ交通情報

VICS 情報を受信して、渋滞や規制など、さまざまな交通情報をアイコンや音声でお知らせします。(➜ P.111)

● VICS 情報（地図表示）

● VICS 詳細情報

音楽や映像を楽しむ

いろいろなメディアで音楽や映像をお楽しみいただけます。

 iPod (➜ P.94)

 TUNER (➜ P.71)

 USB (➜ P.87)

 DISC (➜ P.81)

 SD (➜ P.87)

 AV-IN (➜ P.105)

 BT AUDIO (➜ P.152)

 地デジ (➜ P.74)

本機の情報の確認と設定の変更

情報・設定メニューでは、本機の周辺機器からの情報や、接続状態を確認できます。
また、本機のさまざまな設定をお好みにあわせて設定し直すことができます。

● ナビゲーション設定

地図に表示する情報や、案内の方法などを設定します。(➜ P.120)

● サウンド設定

車内の音響効果や音質などを設定します。(➜ P.124)

● Bluetooth 設定

Bluetooth の設定をします。(➜ P.142)

● システム設定

車両やシステム全般の設定を行います。(➜ P.130)

■ **情報・設定メニュー** (➜ P.110)

- C9K4 V6 650

- C9K3 V6 650/A9K3 V6 650

本書の読みかた

この取扱説明書の構成と、表記方法について説明します。

本書の構成

はじめに	安全上のご注意や使用上のご注意など、はじめにお読みいただきたいことが記載されています。(➜ P.10)
基本操作	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作方法を説明しています。(➜ P.18)
ナビゲーション	地図の表示や操作、行き先の探しかたやルート案内など、カーナビゲーション(以降、「ナビ」)の操作方法について説明しています。(➜ P.30)
オーディオ・ビジュアル	オーディオ・ビジュアル(以降、「AV」)および音楽の操作方法について説明しています。(➜ P.67)
情報・設定	VICS 情報、ECO 情報などの情報について、および本機のシステム設定、サウンド設定などについて説明しています。(➜ P.110)
Bluetooth	携帯電話やスマートフォン、オーディオプレーヤーを Bluetooth で接続したときの操作について説明しています。(➜ P.139)
オプション	ETC 車載器(C9K4 V6 650 のみ)やカメラなどの別売品を接続したときの操作方法について説明しています。(➜ P.153)
付録	関連する資料や用語解説、トラブルシューティングについて説明しています。(➜ P.162)

- 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。
- 本書では、主に C9K4 V6 650 の画面で説明しています。そのため、ご使用の機種によっては表示されないボタンや画面が説明の中に出てくることがあります。

本書の表記

ボタン名
本書では、文字のあるボタンを次のように表記しています。
 → [登録]
文字が記載されていないボタンは、本機で表示されるアイコンを掲載しています。

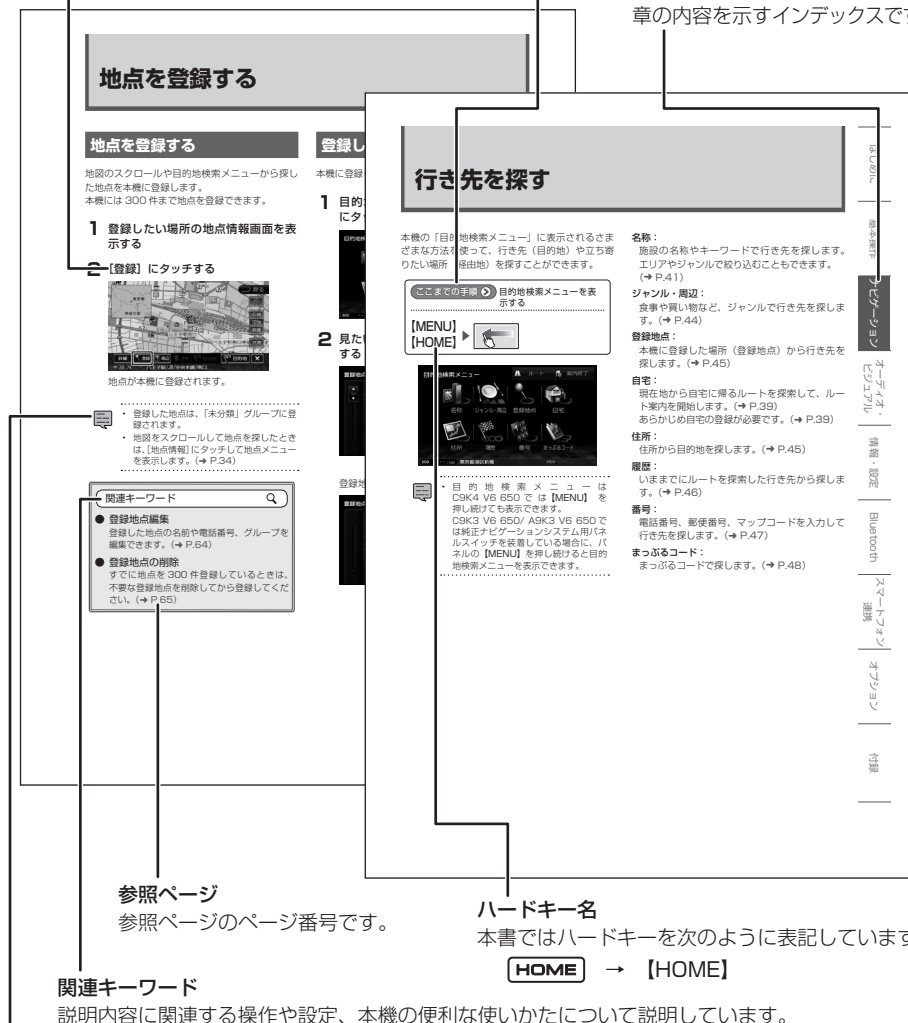
ここまでの手順
下で説明する操作の前に、ここに記載されている操作を行います。

本機の画面上でのドラッグまたはフリック操作を表しています。

インデックス
章の内容を示すインデックスです。

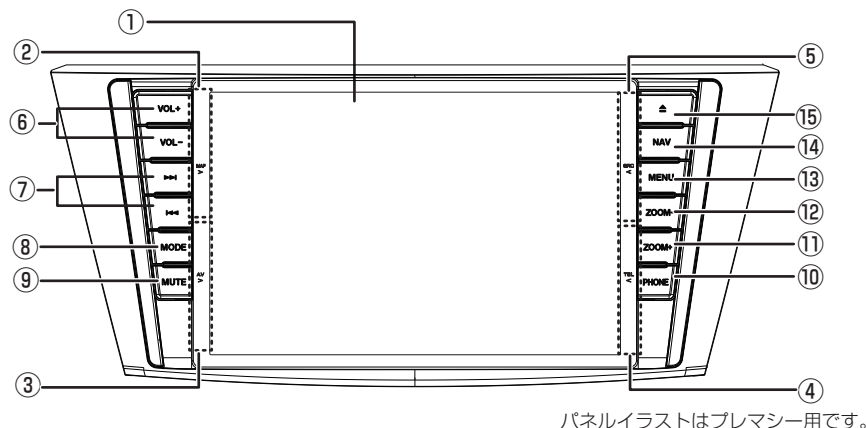
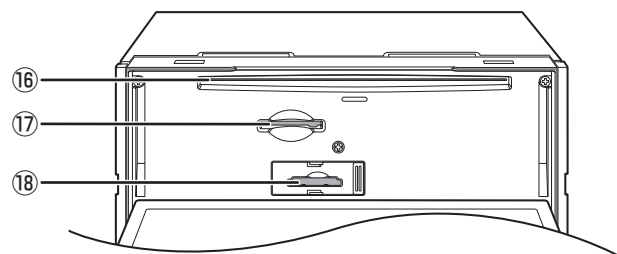
参照ページ
参照ページのページ番号です。

ハードキー名
本書ではハードキーを次のように表記しています。
HOME → 【HOME】

関連キーワード
説明内容に関連する操作や設定、本機の便利な使いかたについて説明しています。

補足
手順の補足説明や制限事項などについて説明しています。

※ 上記はサンプルページです。本書の実際のページとは異なる場合があります。

各部の名称とはたらき

C9K4 V6 650

パネルイラストはプレマシー用です。

パネルオープン時

① 画面

② [MAP]（地図）
現在地図画面でここから画面中央にドラッグまたはフリックして、地図小、中画面を表示します。(➜ P.32)

③ [AV]（オーディオ・ビジュアル）
現在地図画面でここから画面中央にドラッグまたはフリックして、AV 小、中、全画面を表示します。(➜ P.33)

④ [TEL]（電話）
ここから画面中央にドラッグまたはフリックして、電話メニューを表示します。
(➜ P.145)

⑤ [SRC]（ソース）
ここから画面中央にドラッグまたはフリックして、オーディオソース切替画面を表示します。(➜ P.67)

⑥【VOL+/VOL ー】キー
- AV の音量を調整 (0 ～ 40) します。
- ハンズフリー通話時の受話音量 (0 ～ 40) を調整します。

- [VOL+] を押し続けると、連続して音量値が 25 まで上がります。

⑦ スキップ / サーチキー
- ラジオ、地デジ：
  放送局を切り替えます。
  押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
- 音楽 / ビデオ再生：
  前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。
  押し続けると、早送り / 早戻しします。

⑧【MODE】キー
押すたびに AV ソースを切り替えます。
[iPod] → [USB] → [SD] →
[BT AUDIO] → [地デジ] → [TUNER] →
[DISC] → [AV-IN] の順で切り替わります。
機器が接続されていない場合など、選択できないソースはスキップします。
押し続けると、選択している AV ソースの AV 画面を表示します。

⑨【MUTE】キー
AV、ハンズフリー通話の音量を下げます。もう一度押すと音が出るようになります。

⑩【PHONE】キー
- 着信時：
  電話を受けることができます。
  押し続けると、着信を拒否します。
- 通話中：
  押し続けると、電話を切ります。

⑪【ZOOM+】キー
押すたびに地図を詳細表示します。
押し続けると、連続して詳細表示になります。

⑫【ZOOM ー】キー
押すたびに地図を広域表示します。
押し続けると、連続して広域表示になります。

⑬【MENU】キー
HOME 画面を表示します。(➜ P.28)
押し続けると、目的地検索メニューを表示します。(➜ P.40)

⑭【NAV】キー
- 現在地図画面を表示します。(➜ P.30)
- 押し続けると、画面の表示をオフにします。(➜ P.25)

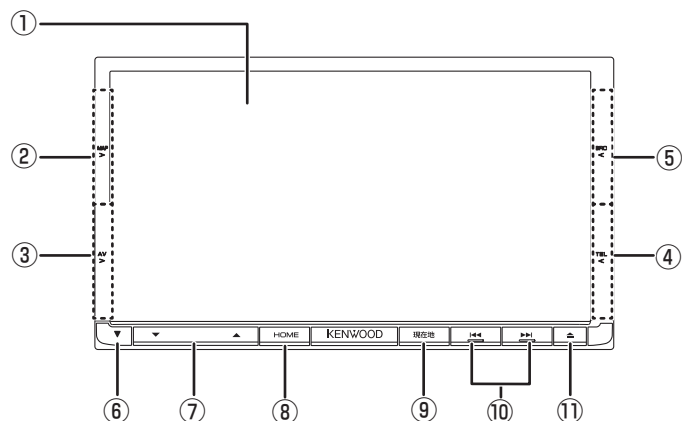
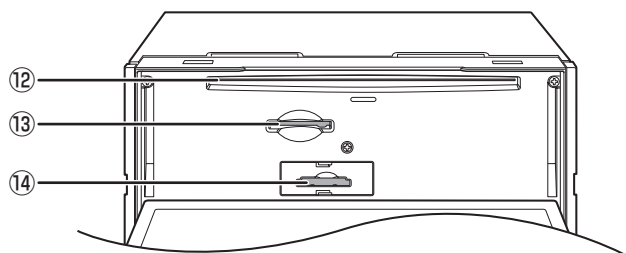
⑮ オープンキー
フロントパネルの角度調整（➜ P.22）やディスク、SD カードの出し入れを行うためのメニューを表示します。

⑯ ディスク挿入口
ディスクを挿入する場所です。

⑰ SD カード挿入口
SD カードを挿入する場所です。

⑱ miniB-CAS カード挿入口
miniB-CAS カードを挿入する場所です。

- miniB-CAS カード挿入方法については 74 ページをご覧ください。
- miniB-CAS カードを差し込むときに IC（集積回路）接触端子に触れないようにしてください。汚れなどでカードが機能しないことがあります。

C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650

パネルオープン時

① **画面**

② **[MAP]（地図）**
現在地図画面でここから画面中央にドラッグまたはフリックして、地図小、中画面を表示します。(➜ P.32)

③ **[AV]（オーディオ・ビジュアル）**
現在地図画面でここから画面中央にドラッグまたはフリックして、AV 小、中、全画面を表示します。(➜ P.33)

④ **[TEL]（電話）**
ここから画面中央にドラッグまたはフリックして、電話メニューを表示します。
(➜ P.145)

⑤ **[SRC]（ソース）**
ここから画面中央にドラッグまたはフリックして、オーディオソース切替画面を表示します。(➜ P.67)

⑥ **セキュリティインジケーター**
セキュリティインジケーターを ON に設定している場合、電源オフ時に点滅します。
(➜ P.131)

⑦ **音量キー**
- AV の音量を調整 (0 ～ 40) します。
- ハンズフリー通話時の受話音量 (0 ～ 40) を調整します。

- ［▲］を押し続けると、連続して音量値が 25 まで上がります。

⑧ **【HOME】**
ホーム画面を表示します。(➜ P.28)
押し続けると、AV をオフ（STANDBY）にします。(➜ P.68)

⑨ **【現在地】**
- 現在地図画面を表示します。(➜ P.30)
- 押し続けると、画面の表示をオフにします。(➜ P.25)

⑩ **スキップ / サーチキー**
- ラジオ、地デジ：
  放送局を切り替えます。
  押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
- 音楽 / ビデオ再生：
  前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。
  押し続けると、早送り / 早戻しします。

⑪ **オープンキー**
フロントパネルの角度調整（➜ P.22）やディスク、SD カードの出し入れを行うためのメニューを表示します。

⑫ **ディスク挿入口**
ディスクを挿入する場所です。

⑬ **SD カード挿入口**
SD カードを挿入する場所です。

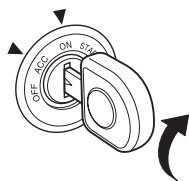
⑭ **miniB-CAS カード挿入口**
miniB-CAS カードを挿入する場所です。

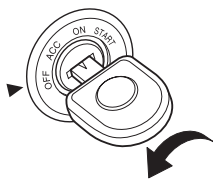
- miniB-CAS カード挿入方法については 74 ページをご覧ください。
- miniB-CAS カードを差し込むときに IC（集積回路）接触端子に触れないようにしてください。汚れなどでカードが機能しないことがあります。

基本操作

電源を入れる / 切る

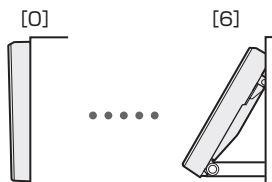
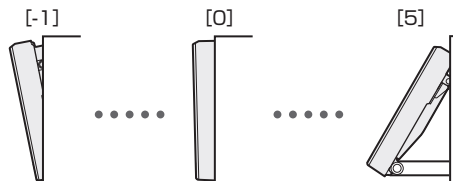
電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。

電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。

- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合などには、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。2 回目以降はすぐに表示されます。
- 使用状況や電源電圧の変動などによって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消えません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。

フロントパネルの角度を調整する

光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドライビングポジションから見やすいようにフロントパネルの角度と画面の明るさを調整できます。
角度を調整しても見づらい場合は視野角を調整してください。

■ C9K4 V6 650

■ C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650

1 ⏏ を押す

2 角度にタッチする

- フロントパネルの角度が“0”以外に設定されていても、電源オフ時には“0”の位置に戻ります。再度電源をオンにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。

視野角を調整する

フロントパネルの角度を調整しても画面が見えにくい場合は、視野角にタッチして調整します。マイナスの値に設定するほど、画面がより白みがかって見えます。

ナビ音量を調整する

ルート案内など、ナビゲーション音量（1 ～ 20）を調整します。

1 画面上部から中央に向かってドラッグする

2 ［ナビ音量］の 🔈 または 🔊 にタッチする

- ナビ音量は、ナビ設定メニューから調整することもできます。（➜ P.121）

画面 / リストの操作

■ 前の画面に戻る

［戻る］にタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。

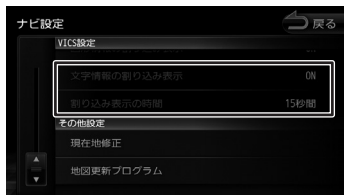
■ リスト / メニュー操作

リストは上下にスクロールして見たい項目を表示させます。
リストのスクロールには、次の 2 つの方法があります。

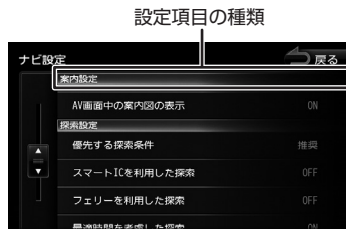
・ **スライドバーにタッチして上下にドラッグする。**
ドラッグした方向にリストがスクロールします。

・ **スクロールしたい方向にリストをドラッグまたはフリックする。**
ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。
フリックしたときは、スクロール中のリストにタッチすると、スクロールを止めることができます。

■ 項目が無効のとき

選択できない項目は、タッチしても操作することはできません。

■ 設定メニュー

設定メニューは、設定項目の種類ごとにまとめてリストで表示されます。
リストをスクロールして目的の設定の種類を探し、項目にタッチして決定します。なお、リストをスクロールすると、設定項目の種類のタイトルが常に先頭に表示されます。

設定項目の種類

本書では、設定メニューをスクロールして設定の種類を探し、項目をタッチする操作を以下のように記載しています。

例： 設定メニューをスクロールして「表示設定」を探し、［映像画面 / 消灯画面の時計表示］をタッチする場合

"「表示設定」の［映像画面 / 消灯画面の時計表示］にタッチする"

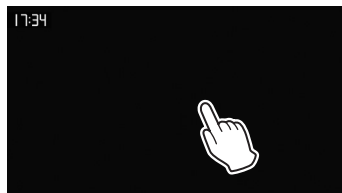
画面表示のオン / オフ

本機を使用しないときなどに、画面の表示を消します。

画面表示をオフにする

1 **C9K4 V6 650 は【現在地】、C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650 は【NAV】を押し続ける**
画面表示が消えます。

画面表示をオンにする

1 **画面表示のオフ中に画面にタッチする**

画面表示をオフにする前の画面に戻ります。

- 画面表示のオフは、画面コントロールメニューの［画面オフ］からもできます。(➜ P.29)
- 画面表示のオフ中に本機の電源をオフにすると、次に電源をオンにしたときには、画面表示はオンになります。
- リアビューカメラが接続されている場合は、画面表示のオフ中にシフトレバーを「R」に入れると、リアビューカメラの画面が表示されます。

関連キーワード

● 画面の時計表示
画面オフのときに時計を表示しないようにすることもできます。(➜ P.131)

画面の明るさを調整する

本機の画面の明るさ（-5 ～ +5）を調整します。

1 **画面上部から中央に向かってドラッグする**

2 **［明るさ］の − または ＋ にタッチする**

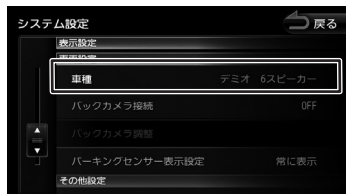
関連キーワード

● 画質調整
DVD ビデオや地上デジタル TV 放送の映像の明るさは、AV 画面の［画質］で調整します。(➜ P.69)

車種を設定する

車種を設定しておくと、有料道路の通行料金を車種に合わせて表示することができます。また車種に合わせたDTA（Digital Time Alignment）と音質（車種別イコライザーなど）が設定されます。

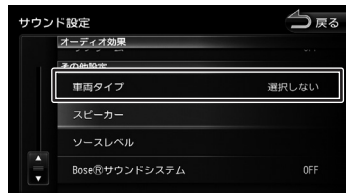
- Bose® サウンドシステム装備車の場合は［車種名　その他］に設定してください。車種がリストにない場合は、［選択しない：（車両ナンバーの分類番号）］を選んでください。その場合車両タイプの設定（右記）も行ってください。
- Bose® サウンドシステムを装着していない場合で、選択する車種がリストにない場合は［選択しない：（車両ナンバーの分類番号）］を選び、車両タイプの設定を行ってください。
  また、選択する車種があり、スピーカー数があてはまらない場合は、［車種名　その他］を選び、サウンド設定のスピーカー構成の設定を行ってください。(➜ P.125)
- DTAとは、実際のリスニングポジションから各スピーカーまでの距離が等しくなるように、スピーカーの仮想位置を調整する機能です。

1 「車両設定」の［車種］にタッチする

2 車種とスピーカーを選んでタッチする

車両タイプの設定をする

左記の車種設定で［選択しない：（車両ナンバーの分類番号）］を選択した場合の車両タイプ設定を行います。
車両タイプに合わせたDTAが設定されます。

- 車種を設定した場合は車両タイプの設定は必要ありません。

1 「その他設定」の［車両タイプ］にタッチする

2 タイプを選んでタッチする

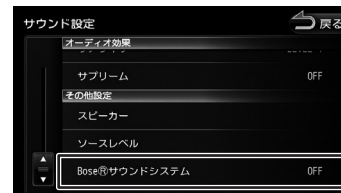
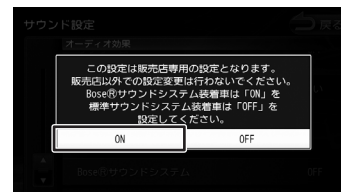
- DTAや音質については詳細に設定することができます。「サウンドの設定をする」(➜ P.124) をご覧ください。
- Bose® サウンドシステムを装着しているときは、一部のサウンド設定のみ操作できます。(➜ P.124)

Bose® サウンドシステムを設定する

本機にBose® サウンドシステムを装着している場合に設定します。
この設定は販売店専用の設定です。販売店以外での設定変更は行わないでください。

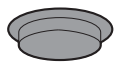
- Bose® サウンドシステムを設定するときはAVソースが「STANDBY」のときに設定してください。(➜ P.68)
- Bose® サウンドシステム設定を"ON"にすると、サウンド設定の各項目は初期化されます。
- Bose® サウンドシステムはマツダ純正Bose® システムを装備している場合に設定できます。

Bose® サウンドシステムをご使用になる場合は、事前に車種を設定しておいてください。
(➜ P.26)

1 「その他設定」の［Bose® サウンドシステム］にタッチする

2 ［ON］にタッチする

- Bose® サウンドシステム設定を"OFF"にするときも手順1、2と同様の操作を行ってください。

AUDIOPILOT™ について (Bose® サウンドシステム装着車)

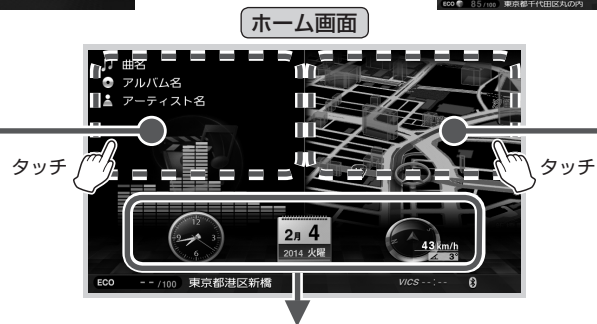
AUDIOPILOT™は、走行時の車内の騒音量に応じて、自動的にオーディオの音量/音質が変化する機能です。
AUDIOPILOT™をONにしておくと、騒音によって聞こえにくくなる音を、最適な状態で聞こえるよう自動的に補正することができます。

AUDIOPILOT™ のON/OFFスイッチは、ステアリング下のアンダーカバーにあります。

- AUDIOPILOT™はBose コーポレーションの登録商標です。

画面の構成

ホーム画面の切り替え

ホーム画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。
ホーム画面は C9K4 V6 650 では【MENU】、C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650 では【HOME】を押すと、いつでも表示できます。

ホーム画面から各画面を表示する

カレンダー、時計、時速 / 車両勾配を表示します。
時計、カレンダーは、タッチするとデザインを切り替えることができます。時速 / 車両勾配は、タッチすると GPS の位置表示（緑：受信中で測位に使用 / 赤：受信中 / グレー：未受信）に切り替わります。

- ルート案内中は、ホーム画面での地図は案内中の次の案内ポイントの交差点名、進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。
- 時速 / 車両勾配は、センサー学習が終了するまでは正しく表示されないことがあります。(➜ P.135)
- 車両勾配は C9K4 V6 650 のみ表示されます。

情報・設定メニュー / 目的地検索メニューを表示する

情報・設定メニューと目的地検索メニューは、ホーム画面を左右にドラッグして表示します。

情報・設定メニュー
(➜ P.110)

目的地検索メニュー
(➜ P.40)

現在地図画面での操作

現在地図画面の上および左右の端から画面中央に向かってドラッグまたはフリックすると、下図の画面が表示されます。

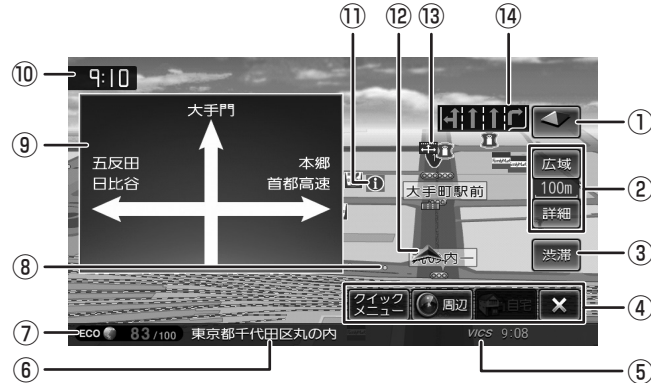
地図 2 画面表示*1 (➜ P.32)
現在地図画面に小または中画面の地図を重ねて表示します。

ソース切替画面表示*2 (➜ P.67)
AV ソースを切り替える画面を表示します。

*1：現在地図画面でのみ表示できます。
*2：現在地図画面だけでなく、どの画面でも表示できます。

地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

本機のホーム画面で地図のエリアにタッチする、またはC9K4 V6 650は【現在地】、C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650は【NAV】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。

① （コンパスボタン）
地図の方位が表示されます。
タッチすると、地図の向きを切り替えることができます。（➜ P.32）

② ［広域］/［詳細］
タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。（➜ P.31）
ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。

③ ［渋滞］
タッチすると、VICS 情報画面が表示されます。（➜ P.114）

④ ショートカットボタン
タッチすると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。（➜ P.36）

⑤ VICS 情報提供時刻
VICS 情報の提供時刻が表示されます。

⑥ 現在地情報
現在の自車位置の情報が表示されます。

⑦ エコドライブ評価（➜ P.118）

⑧ 走行軌跡
これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。走行軌跡は表示をしないように設定できます。（➜ P.123）
また、走行軌跡のデータを消去することもできます。（➜ P.123）

⑨ 方面看板
方面看板情報がある交差点に近づくと表示されます。タッチすると表示を消します。

⑩ 時計
現在の時刻が 24 時間表記で表示されます。本機は GPS 電波を利用して自動で時刻を調整します。

⑪ ランドマーク
目印となる施設がマークで地図上に表示されます。

⑫ 自車マーク

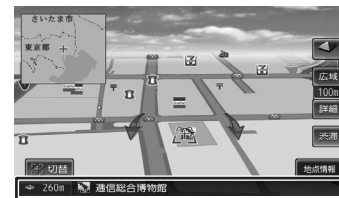
⑬ 案内地点
：方面看板の案内地点が表示されます。
：レーン情報の案内地点が表示されます。

⑭ レーン情報
次の交差点のレーン情報が表示されます。

- 細街路（幅員 5.5 m 未満の道路）は、駐停車中または細街路の走行中に表示されます。市街地図の表示中は、常に細街路が表示されます。
- ⑨、⑭は表示しないように設定できます。（➜ P.121）

ランドマークの情報を見る

1 情報を表示したいランドマークのアイコンにタッチする

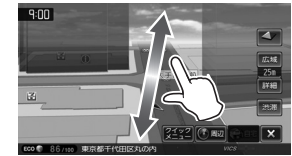
▼

施設名と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。
さらに詳細な情報を見るには、［地点情報］にタッチします。詳細情報については、34 ページをご覧ください。

- 複数のランドマークが重なっている場合は、 にタッチすると、表示するランドマークの情報を切り替えることができます。
- ランドマークは 200m 以下のスケールで表示されます

地図の縮尺を変える

1 ［広域］または［詳細］にタッチする

それぞれのボタンにタッチし続けると、連続して拡大または縮小されます。

地図を直接操作することもできます。
（C9K4 V6 650 のみ）
2 本の指でタッチして、指の間を開くまたは閉じます（ピンチ）。

市街地図について

市街地図は、50m 以下で表示されます。「100m 縮尺での市街地図表示」を「ON」にすると、100m 以下で表示できます。設定については 120 ページをご覧ください。

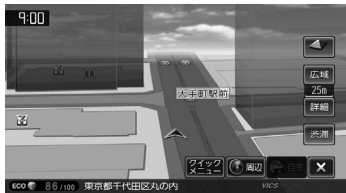
- 市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては自車マークが道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地の地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面（➜ P.33）で縮尺を変えても、現在地の地図画面に戻ったときは、直前の現在地の地図画面と同じ縮尺で表示されます。
- 走行中は、連続スクロールと、画面を直接タッチして拡大 / 縮小する（C9K4 V6 650 のみ）ことはできません。

地図の向きと 2D/3D 表示を切り替える

地図の表示方法（向き、2D/3D 表示）を切り替えることができます。表示方法は「3D ビュー」、「2D ノースアップ」、「2D ヘディングアップ」の 3 つがあります。

1 地図画面のコンパスボタンにタッチする

タッチするごとに地図の表示方法が切り替わります。

（3D ビュー）
進行方向が画面の上方向になる向きで、3D 地図が表示されます。
市街地図（➜ P.31）では、スケールを 50m 以下にしていると、周囲の建物を再現した詳細なバーチャル 3D マップが表示されます。

（2D ノースアップ）
地図の北が画面の上方向になるように表示されます。

（2D ヘディングアップ）
進行方向が画面の上方向になるように表示されます。

- 地図の向きは、ナビ設定メニューで切り替えることもできます。（➜ P.120）
- 地域によっては、バーチャル 3D マップを表示できない場所があります。

地図を 2 画面表示する

現在地図画面の上に地図を表示できます（地図 2 画面表示）。

1 画面左上から中央に向かってドラッグまたはフリックする

ドラッグまたはフリックする長さによって、小画面と中画面の 2 種類を表示できます。

小画面（ドラッグする距離が短い）

中画面（ドラッグする距離が長い）

小、中どちらの画面でも地図の向き、縮尺、2D/3D 表示を切り替えることができます。

- 地図 2 画面表示中も、背景の現在地図画面は、地図の縮尺の変更やスクロールなどの操作ができます。
- 小画面、中画面の地図では、スクロールはできません。
- 引き出した地図画面を画面の左に向かってドラッグまたはフリックすると、地図 2 画面表示が解除されます。

地図に AV 画面を表示する

現在地図画面に選択しているソースの AV 画面を表示します。

1 画面左下から中央に向かってドラッグまたはフリックする

ドラッグまたはフリックする長さによって、小画面、中画面または全画面の 3 種類を表示できます。

小画面（ドラッグする距離が短い）

中画面（ドラッグする距離が長い）

全画面（画面右端までドラッグする）

- 地図小画面または中画面と AV 小、中画面は同時に表示できません。
- 背景の現在地図画面は、地図の縮尺の変更やスクロールなどの操作ができます。

地図をスクロールする

地図のスクロールには、次の方法があります。

■ ドラッグスクロール

指の動きに合わせて地図がスクロールします。

■ フリックスクロール

フリックした方向に地図がスクロールします。

■ ポイントスクロール

地図にタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。
タッチし続けると、タッチしている方向に連続してスクロールします。

スクロールした後に C9K4 V6 650 では【現在地】、C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650 では【NAV】を押すと、現在地図画面に戻ります。

- 走行中は、連続スクロール、ドラッグスクロールはできません。

スクロールしたときの地図表示

① **フライビューマップ：**
スクロールした地点を広域地図で表示します。フライビューマップは表示しないようにすることもできます。(➜ P.120)

② [cursor]（カーソル）：
地図画面の中心点に表示されます。

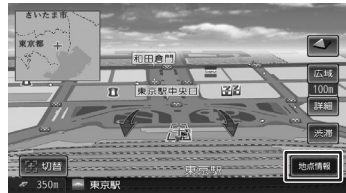
③ **［地点情報］：**
カーソルの位置の地点情報メニューを表示します。(➜ P.34)

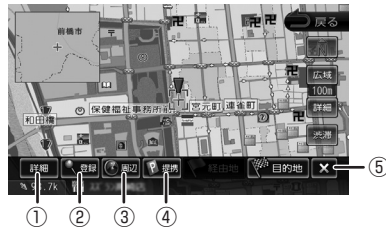
④ **地点情報：**
カーソルの位置の地点情報（住所や名称など）と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

⑤ [切替]
同じ地点に複数の地点情報がある場合に表示されます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。

⑥ **地図回転ボタン**
3D ビュー表示のスクロール時には、回転ボタンが表示されます。回転ボタンにタッチすると、カーソルを中心に地図が回転します。

地点情報メニュー

1 ［地点情報］にタッチする

地点情報メニューが表示されます。

地点情報メニューを使う

① **［詳細］：**
カーソルのある地点の詳細情報を表示します。

A QR コード（2 次元バーコード）：
カーソルのある地点の地点情報を QR コード（2 次元バーコード）に変換して表示します。携帯電話またはスマートフォンで読み取ると、携帯電話またはスマートフォンで地図を見ることができます。詳しくは、35 ページをご覧ください。

B [電話]：
携帯電話またはスマートフォンが本機と Bluetooth 接続されていると、電話をかけることができます。(➜ P.151)

② **［登録］：**
カーソルのある地点を地点登録します。(➜ P.63)

③ **［周辺］：**
周辺を検索します。(➜ P.36)

④ **［提携］：**
カーソルのある施設に提携駐車場があるときに表示されます。提携駐車場を行き先に設定する場合は、52 ページをご覧ください。

⑤ ：
地点情報メニューを消します。

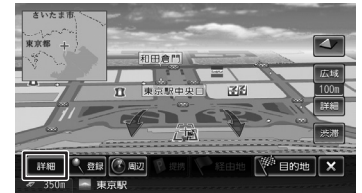
- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 詳細情報がすべて表示されていないときは画面をスクロールすると表示できます。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。

マップクリップを利用する

マップクリップは、地点情報を QR コード（2 次元バーコード）に変換し携帯電話またはスマートフォンで読み取ると、携帯電話またはスマートフォンで地図を見ることができるサービスです。

- 「マップクリップ」は、ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話またはスマートフォンでご利用いただけます。
- 携帯電話の機種によっては、QR コードの読み取りに対応していないものもあります。また、スマートフォンの場合は QR コードを読み取るアプリケーションが必要です。
- 携帯電話での QR コードの読み取り操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 読み取った地図 1 画面のみの閲覧は無料です。スマートフォンの場合、1 画面の閲覧と地図の縮尺変更まで無料です。（通信料、パケット料はお客様負担となります。）
- ケータイ MapFan またはスマートフォン向け MapFan の会員の方は、地図の縮尺変更（スマートフォンは可能）や移動など、1 画面を超える範囲を見ることができます。
また、表示した地図周辺のさまざまなスポットを検索することもできます。
- ケータイ MapFan、スマートフォン向け MapFan サービスは月額 300 円(税抜き)です。
- 「マッククリップ」のサービスは、予告なく変更、中断、中止される場合があります。

ここまでの手順 ➜ 地点を検索する

1 地点情報メニュー（➜ P.34）を表示して、［詳細］にタッチする

2 QR コードを表示して、携帯電話またはスマートフォンで読み取る

[地点地図]（地点地図）：
カーソルのある地点の位置を QR コードで表示します。

[地点地図+現在地]（地点地図＋現在地）：
カーソルのある地点と現在地の位置を QR コードで表示します。

（地点地図＋目的地）：
カーソルのある地点と目的地の位置を QR コードで表示します。

▼

QR コードを読み取ると MapFan のサイトに接続し、検索した地点の地図が表示されます。

ショートカットボタンを使う

地図に表示されるショートカットボタンには、[自宅]、[周辺]、[クイックメニュー] が割り当てられています。

自宅へ帰るルートを探索する

自宅へ帰るルートを探索して表示します。あらかじめ本機に自宅の場所を地点登録しておく必要があります。(➜ P.39)

1 [自宅] にタッチする

周辺検索

現在地の周辺にある施設を検索します。
検索した施設を目的地に設定することもできます。

1 [周辺] にタッチする

2 検索したいジャンルにタッチする

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

[全て検索]：
選択したジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。

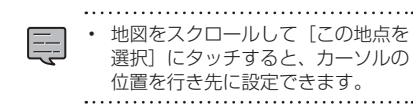
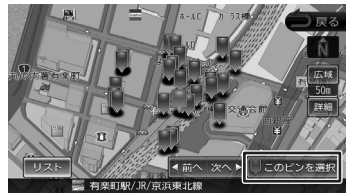
3 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。
施設が 1 件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順4に進んでください。

[リスト]：
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報メニューが表示され、行き先に設定することができます。(➜ P.50)

• 地図をスクロールして [この地点を選択] にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

4 [このピンを選択] にタッチする

▼

[目的地] にタッチすると、ルートの探索がはじまります。(➜ P.50)

ショートカットボタンを消す

ショートカットボタンの表示を消します。

1 ✕ にタッチする

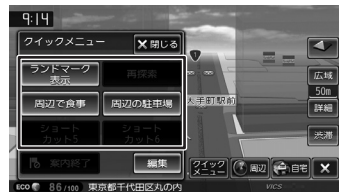
ショートカットボタンが消え、[表示] が表示されます。
[表示] にタッチすると、ショートカットボタンが表示されます。

クイックメニューを使う

クイックメニューには、機能ショートカットボタンが割り当てられています。タッチして機能を呼び出すほか、ショートカットボタンの機能を変更することもできます。

1 [クイックメニュー] にタッチする

クイックメニューが表示されます。

2 実行したい機能にタッチする

■ 割り当てる機能を変更する

クイックメニューに割り当てられている機能を変更します。

1 クイックメニューで [編集] にタッチする

2 変更したいショートカットボタンにタッチする

3 機能一覧から割り当てたい機能にタッチする

ナビゲーションの流れ

行き先を探す

目的地検索メニューから

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。(➜ P.40)

地図画面から

地図をスクロールして行きたい場所を探し(➜ P.33)、[地点情報]にタッチします。

行き先に設定する

[目的地]にタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルートが探索されます。(➜ P.50)

- 経由地は、目的地を設定した後に設定することができます。(➜ P.58)

ルートを設定する

ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。(➜ P.58)

[推奨]/[距離]/[高速]/[一般]/[高速/距離]:
指定した条件でルートを探索します。(➜ P.51)

[ルート情報]:
選択したルートの情報を確認します。(➜ P.61)

[入 神田橋]/[出 八王子]:
利用するインターチェンジを変更します。(➜ P.60)
有料道路を使用するときに表示されます。

案内を開始する

[案内開始]にタッチする

ルート案内がはじまります。

ルート案内を開始した後は

- **経由地の設定・入れ替え**
途中で立ち寄りたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。(➜ P.58)
- **案内終了**
ルート案内を中止します。(➜ P.62)

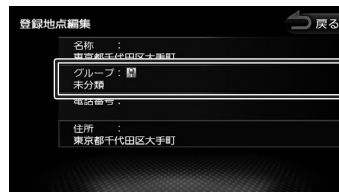
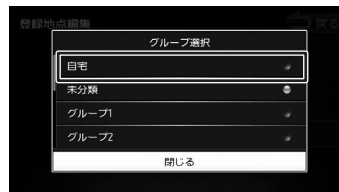
自宅を登録する/自宅に帰る

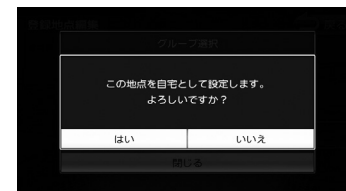
自宅を登録する

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単にはじめることができます。

1 自宅の場所にカーソルを合わせて、[地点情報]にタッチする

2 [登録]にタッチする

3 [グループ:未分類]にタッチする

4 [自宅]にタッチする

自宅を変更する

すでに自宅が登録されているときに、新しく自宅を登録すると、確認メッセージが表示されます。

[はい]にタッチすると自宅が変更されます。
先に自宅として登録されていた地点は、[未分類]グループに変更されます。

自宅へ帰る

本機に登録した自宅までのルート案内を開始します。

1 現在地図画面で[自宅]にタッチする

自宅へのルート案内が開始されます。(➜ P.50)

- 目的地検索メニューの[自宅]にタッチして、ルート案内を開始することもできます。(➜ P.40)

行き先を探す

本機の「目的地検索メニュー」に表示されるさまざまな方法を使って、行き先（目的地）や立ち寄りたい場所（経由地）を探すことができます。

ここまでの手順 ❯ 目的地検索メニューを表示する

【MENU】
【HOME】 ▶

- 目的地検索メニューはC9K4 V6 650では【MENU】を押し続けても表示できます。
  C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650では純正ナビゲーションシステム用パネルスイッチを装着している場合に、パネルの【MENU】を押し続けると目的地検索メニューを表示できます。

名称：
施設の名称やキーワードで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。（➜ P.41）

ジャンル・周辺：
食事や買い物など、ジャンルで行き先を探します。（➜ P.44）

登録地点：
本機に登録した場所（登録地点）から行き先を探します。（➜ P.45）

自宅：
現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。（➜ P.39）
あらかじめ自宅の登録が必要です。（➜ P.39）

住所：
住所から目的地を探します。（➜ P.45）

履歴：
いままでにルートを探索した行き先から探します。（➜ P.46）

番号：
電話番号、郵便番号、マップコードを入力して行き先を探します。（➜ P.47）

まっぷるコード：
まっぷるコードで探します。（➜ P.48）

名称から探す

会社や店舗などの施設名（読みがな）から行き先を探します。

1 ［名称］にタッチする

2 施設の名前を入力して、［検索］にタッチする

- 施設名の入力時に、「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）は省略できます。清音で入力してください。また、「っ」（促音）や「ゃ」「ゅ」「ょ」など（拗音）は、通常の文字で入力してください。
- 文字を入力するたびに、「完全一致」または「部分一致」に該当する件数が表示されます。部分一致件数が5件以下になると、自動的に手順3の画面が表示されます。

3 行き先にタッチする

［ジャンルで絞り込む］：
さらにジャンルで絞り込みます。（➜ P.43）

［エリア指定］：
さらに指定したエリアで検索します。（➜ P.42）

［名称順］：
検索結果を名称順で表示します。

［距離順］：
検索結果を距離順で表示します。

4 ［このピンを選択］にタッチする

［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.50）

- ピンは手順3で指定した行き先を含めて50件まで表示します。指定する施設を変更したい場合は、[前へ] または [次へ] にタッチするかピンを直接タッチすると、施設を切り替えることができます。
- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

エリアを指定して検索する

検索結果を指定したエリアでさらに検索することができます。

1 検索結果画面（41 ページの手順 3）で［エリア指定］にタッチする

2 指定したいエリアにタッチする

［住所指定］：
住所を入力して検索します。（➜ P.45）

［地図から指定］：
地図をスクロールして場所を指定します。

［現在地周辺］／［目的地周辺］／
［経由地（1 ～ 4）周辺］：
指定した地点の周辺地図が表示されます。

3 ［前へ］／［次へ］にタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］／［次へ］にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

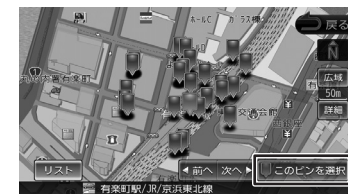
施設が 1 件のときは、［前へ］／［次へ］は表示されません。手順 4 に進んでください。

［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報メニューが表示され、行き先に設定することができます。
（➜ P.50）

- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

4 ［このピンを選択］にタッチする

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.50）

- 手順 2 の［目的地周辺］/［経由地（1 ～ 4）周辺］は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

ジャンルで絞り込む

検索結果を指定したジャンル（施設の種類）でさらに絞り込むことができます。

1 検索結果画面（41 ページの手順 3）で［ジャンルで絞り込む］にタッチする

2 ジャンルにタッチする

さらもジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

［全て検索］：
選択ジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。

3 目的の施設を選ぶ

［エリア指定］：
さらに指定したエリアで検索します。
（➜ P.42）

［名称順］：
検索結果を名称順で表示します。

［距離順］：
検索結果を距離順で表示します。

4 ［前へ］／［次へ］にタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］／［次へ］にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、［前へ］／［次へ］は表示されません。手順 5 に進んでください。

［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報メニューが表示され、行き先に設定することができます。
（➜ P.50）

- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 ［このピンを選択］にタッチする

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.50）

ジャンル・周辺から探す

食事や買い物など、目的のジャンルから行き先を探します。

1 ［ジャンル・周辺］にタッチする

2 ジャンルにタッチする

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

［全て検索］：
選択したジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。

3 指定したいエリアにタッチする

［住所指定］：
住所を入力して検索します。（➜ P.45）

［地図から指定］：
地図をスクロールして場所を指定します。

［ルート沿い］：
ルート前方にある施設を表示します。

［現在地周辺］／［目的地周辺］／［経由地（1 ～ 4）周辺］：
指定した地点の周辺地図が表示されます。

4 ［前へ］／［次へ］にタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］／［次へ］にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、［前へ］／［次へ］は表示されません。手順 5 に進んでください。

［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報メニューが表示され、行き先に設定することができます。（➜ P.50）

- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 ［このピンを選択］にタッチする

▼

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.50）

- 手順3の［ルート沿い］は現在地周辺の半径 10km 以内でルート前方両側にある施設を検索します。（最大 50 件）
  その他は指定した地点を中心とした半径 50km 以内で検索します。（最大 50 件）
- ［ルート沿い］検索をしたときに、一般道のルート周辺に高速道路、有料道路の施設が表示されることがあります。
- 手順3の［目的地周辺］／［ルート沿い］／［経由地（1 ～ 4）周辺］は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

登録地点から探す

ナビに登録した地点から行き先を探します。

- 事前に本機に地点を登録してください。地点の登録方法は 63 ページをご覧ください。
- 登録地点の編集については、64 ページをご覧ください。

1 ［登録地点］にタッチする

2 グループにタッチする

3 登録地点にタッチする

▼

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.50）

住所から探す

住所から行き先を探します。

1 ［住所］にタッチする

2 都道府県にタッチする

リストの最初に現在地周辺の都道府県が４つまで表示されています。

3 市区町村にタッチする

4 画面に従って、地名を選択して番地などを入力する

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.50）

- 番地の入力画面では、丁目、番、号は、"-" でつないで一度に入力することができます。
- ［あ］～［わ］にタッチすると都道府県名、市区町村名、地名を頭だしします。
- ［代表地点］にタッチするとそれぞれの代表地点を地図で表示します。
- ［番地を入力］にタッチすると、番地の入力画面が表示され、番地（丁目、番、号など）をテンキーで入力できます。

履歴から探す

いままでにルートを探索した行き先から探します。

1 ［履歴］にタッチする

2 検索履歴にタッチする

▼

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.50）

- 目的地または経由地として設定した場所が履歴に保存されます。
- 検索履歴は 50 か所まで保存されます。50 か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。

履歴を削除する

履歴地点を削除します。

- 削除した履歴地点は元に戻せません。削除する履歴を間違えないように操作してください。

1 検索履歴画面で［削除］にタッチする

2 削除する履歴地点にタッチする

履歴は複数選択することもできます。選択した項目はチェックがつきます。

［全て選択］：
リスト内のすべての地点を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

3 ［削除］にタッチして、［はい］にタッチする

電話番号・郵便番号・マップコードで探す

電話番号、郵便番号、マップコードの番号から行き先から探します。

1 ［番号］にタッチする

2 検索に使用する番号の種類にタッチする

3 番号を入力して、［検索］にタッチする

：
カーソルの前にある文字を消去します。

▼

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.50）

- ハイフンは入力しません。
- 電話番号および郵便番号は、全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。［検索］にタッチする必要はありません。
- 電話番号検索で指定した番号に該当する施設がない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。
  局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。付近の地図を表示します。」というメッセージが表示されます。
- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して [検索] にタッチします。
- 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。
- 指定した番号に該当する施設がない場合は、メッセージが表示されます。
- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ（http://www.e-mapcode.com/）をご覧ください。

まっぷるコードで探す

まっぷるコードを入力して、観光地などを探します。

1 ［まっぷるコード検索］にタッチする

2 まっぷるコードを入力して［検索］にタッチする

：
カーソルの前にある文字を消去します。

▼

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。(➜ P.50)

・ まっぷるコードに関する情報は、昭文社のホームページ（http://www.mapple.co.jp/）をご覧ください。

スマートフォンアプリ「NaviCon」との連携

NaviCon でできること

「NaviCon」は、地点や店舗を検索して登録しておくことができます。登録した地点を「NaviCon」から本機に送信することができます。
また、NaviCon には次の機能があります。

- NaviCon は、他のスマートフォンアプリと連携することができ、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報を NaviCon に取り込むことができます。
  連携できるアプリの種類や詳細については下記の URL をご覧ください。
  http://navicon.denso.co.jp/user/support/
- スマートフォンの連絡先等に登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、地点情報を NaviCon で目的地に設定できます。
- 他の NaviCon ユーザーに、地点情報をメールまたは SMS で送信することができます。
- 他の NaviCon ユーザーからの地点情報を受信することができます。

NaviCon から本機で目的地を設定する

NaviCon で検索した地点の情報を本機に転送して、行き先として設定することができます。

1 App Store または Google Play からアプリケーション「NaviCon」をダウンロードする

2 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネット接続されていることを確認しておいてください。

・iPhone/ iPod touch をお使いの場合
iPhone/ iPod touch を本機に接続する方法は USB 接続と Bluetooth 接続があります。接続については 94 ページをご覧ください。
Bluetooth 接続ができる iPod/ iPhone は iPod touch 5th generation、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone5、iPhone4s、iPhone4 です。

・Android 搭載スマートフォンをお使いの場合
Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。(➜ P.139)

3 「NaviCon」を起動する

4 「NaviCon」から本機に地点情報を転送する

転送方法については「NaviCon」の操作方法をご覧ください。

転送された場所が本機に表示されます。

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。(➜ P.50)

NaviCon からナビの地図表示を操作する

NaviCon の画面に表示している場所と同じ場所の地図を本機に表示することができます。
また、NaviCon 側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。また、地図を拡大 / 縮小すると、本機の地図も拡大 / 縮小されます。本機から NaviCon の地図表示を変えることはできません。

ルートの探索と案内

ルートの探索と案内を開始する

検索した場所を行き先（目的地）に設定して、ルートの探索と案内を開始します。距離や高速道路優先など、探索条件を指定することもできます。

目的地に設定してルートを探索する

ここまでの手順 ➡ 行き先を検索して、地点情報メニューを表示する

1 ［目的地］にタッチする

表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索がはじまります。

すでに目的地が設定されているときは、以前の目的地が削除され、新しい目的地に変更されます。

- ルート探索時にスマート IC またはフェリーを使用するように設定することができます（➜ P.121）
- ［提携］が表示されたときは 52 ページをご覧ください。
- 経由地を設定する場合は 58 ページをご覧ください。
- 「一般道に目的地（経由地）を設定します。よろしいですか？」と表示されたときは、
  - ［はい］：　一般道を目的地（経由地）に設定します。
  - ［いいえ］：高速・有料道路を目的地（経由地）に設定します。
- 「この施設には複数の到着地点情報があります。到着時点を選択しますか？」と表示されたときは、52 ページをご覧ください。

ルートの探索条件を選択して案内を開始する

1 ルートの探索条件にタッチする

目的地までの所要時間と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金、および最初と最後の IC 名が表示されます。

［推奨］：
本機が推奨するルートです。

［距離］：
走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。

［高速］：
高速道路（有料道路）を優先的に通るルートです。

［一般］：
一般道路を優先的に通るルートです。
一般道だけで目的地に到達できない場合は、高速道路 (有料道路) を通るルートになることがあります。

［高速 / 距離］：
高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

［全行程］：
すべての条件でルートを探索します。各条件のルートを比較することができます。全行程を表示すると、ルートの中でエコ（燃費が経済的）なルートに が表示されます。

［ルート情報］：
選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

入 神田橋 / 出 八王子：
利用するインターチェンジを変更します。（➜ P.60）
有料道路を使用するときに表示されます。

2 ［案内開始］にタッチする

ルート案内が開始されます。（➜ P.53）

- 表示される料金には、ETC 割引などの各種割引は考慮されていません。
- 料金は、地図データベース作成時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「〜円以上」または「不明」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

VICS によるルート探索

■ 規制考慮探索

- VICS 規制情報 (通行止めなど) を受信している場合、規制を考慮したルートを探索します。
- ルート案内中に規制のある箇所に近づいたら、自動的に規制箇所を回避するルートが探索されます。

■ 渋滞考慮探索 (最適時間考慮探索)

- ルート案内中に渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。(最適時間考慮探索)
- 最適時間を考慮した探索をするには、VICS ビーコンユニット (C9K2 V6 620 別売）による VICS 情報取得が必要です。

提携駐車場を行き先に設定する

検索した施設に提携駐車場がある場合は、［提携］が表示されます。提携駐車場を目的地に変更することができます。

1 ［提携］にタッチする

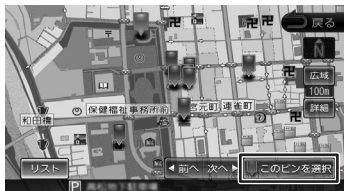
2 ［前へ］/［次へ］にタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順 3 に進んでください。

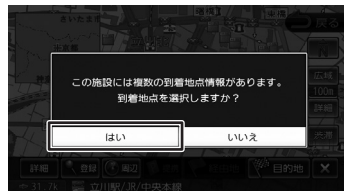
［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報メニューが表示され、行き先に設定することができます。
（➜ P.50）

3 ［このピンを選択］にタッチする

▼

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.50）

複数の到着地点情報があったとき

検索した施設に複数の到着地点情報がある場合は、到着地点を選ぶことができます。

1 ［はい］にタッチする

2 ［前へ］/［次へ］にタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報メニューが表示され、行き先に設定することができます。
（➜ P.50）

- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

3 ［このピンを選択］にタッチする

▼

選択した地点が目的地に設定され、ルートの探索がはじまります。（➜ P.50）

ルート案内画面について

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。

① **到着予想時刻と距離**
対象の行き先（次の経由地または目的地）への到着予想時刻と距離が表示されます。
このボタンにタッチするたびに、対象の行き先が切り替わります。

② **案内ポイント**

③ **案内ルート**
目的地または経由地までのルートです。
道路の種類(一般道 / 高速道路 / 細街路)によって色分けして表示されます。

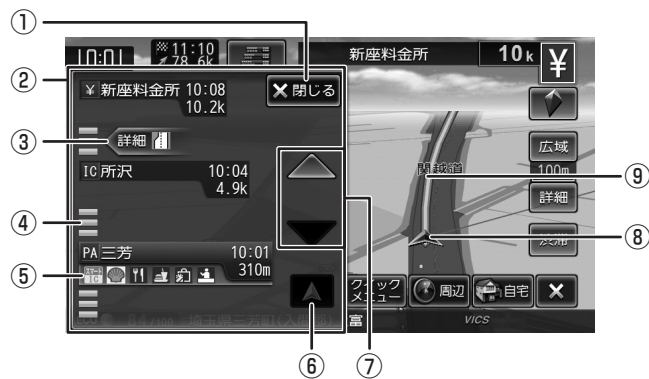
④ **自車位置マーク**

⑤ **次案内ポイント情報**
次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

⑥ **次々案内ポイント情報**
さらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

⑦ **レーン情報表示**
（白色矢印）：案内レーン
（水色矢印）：推奨通過レーン

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。

① **ハイウェイモード（閉じる）ボタン**
　ハイウェイモード画面を閉じます。

② **ハイウェイモード画面**
　高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。

③ **規制情報表示**
　車線規制などの情報（VICS 情報規制表示）が4件までマークで表示されます。（➜ P.112）
　マークにタッチすると詳細情報を表示します。
　情報が複数あるときはリストが表示されます。見たい情報にタッチすると詳細情報を表示します。

④ **交通情報表示**
　施設間の交通情報が表示されます。
　橙色：混雑
　赤色：渋滞

⑤ **施設名称 / 施設案内表示**
　進行方向にあるインターチェンジ（IC）/ ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。
　SA・PA の場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。
　施設情報（⑤）に表示される設備のマークは、最大 6 個です。

⑥ **現在地復帰ボタン**
　施設情報をスクロールしているときに表示されます。タッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

⑦ **スクロールボタン**
　ハイウェイモード画面内の施設情報表示をスクロールします。

⑧ **自車マーク**

⑨ **案内ルート**

- ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中に表示されます。ただし、高速道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。
- ハイウェイモード画面を閉じても、本機の電源をオフにした後に再びオンにしたときには再度表示されます。

■ ハイウェイモード画面を表示する

［閉じる］でハイウェイモード画面を閉じた場合は にタッチします。

案内ポイントでの割り込み表示

案内ポイントに近づくと交差点案内図が表示されます。割り込み表示は現在地図画面と AV 全画面のときに表示されます。
割り込み表示は表示しないように設定することができます。（➜ P.121）
割り込み表示は案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、交差点案内図の表示にタッチしてください。
消した割り込み表示は、C9K4 V6 650 では**【現在地】**、C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650 では【NAV】を押すともう一度表示できます。

交差点案内図の表示

■ 交差点拡大図

約 200m（高速道路は約 800m）手前に近づくと表示されます。

■ リアル交差点イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。

■ 側道分岐イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。

高速道分岐イラストの表示

高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。
場所によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。

■ 高速入口

都市高速道路入口の約 300m 手前で表示されます。

■ 分岐

出口やジャンクションの約 1km 手前で表示されます。

場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。

■ 出口後分岐

出口分岐を通過後、約 1km 手前に近づくと表示されます。

■ 料金所後分岐

料金所を通過後に分岐がある場合に表示されます。

ETC レーン表示

出口または本線料金所に近づくと、料金所ゲートの ETC レーンが表示されます。

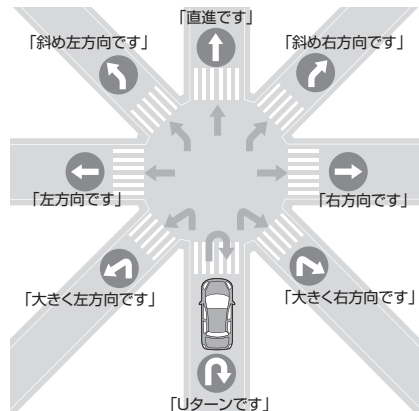
ETC レーンは、ルート案内していないときにも表示されます。場所によっては ETC レーン情報がない場合があります。その場合は表示されません。

音声案内について

本機はルート案内情報、および走行状況に応じた道路情報の音声案内を行います。

- 音声案内の前には"ジャーン"と案内警告音が鳴ります。案内警告音は鳴らないように設定することができます。(➜ P.121)
- 音声案内の音量調整は 23 ページをご覧ください。
- 音声案内はフロントスピーカーのみ出力します。
- 音声案内時の AV 音量を設定することができます。(➜ P.130)
- ルート案内ポイントの直前では"ポンポン"と音が鳴ります。

進行方向の音声案内

交差点での進行方向は、次のように案内します。

- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

■ 規制考慮探索

規制を回避したルートを再探索したときは、「交通規制があります。新しいルートで案内します。」と案内します。

■ 渋滞考慮探索 (最適時間考慮探索)

最適時間を考慮してルートを再探索したときは、「交通情報が変わりました。新しいルートで案内します。」と案内します。

■ 合流 / 踏切 / 車線の音声案内

走行中の合流、踏切、車線状況に応じて、以下の音声案内を行います (ルート案内中以外でも音声案内を行います)。これらの音声出力の設定は変更することができます。(➜ P.121)

案内の種類	音声
合流案内	この先、左からの合流があります。
	この先、右からの合流があります。
	この先、合流があります。
踏切案内	この先、踏切です。
車線案内	この先、走行するレーンにご注意ください。
	この先、走行するレーンにご注意ください。左へお寄りください。*
	この先、走行するレーンにご注意ください。右へお寄りください。*

(* ルート案内時のみ)

- 合流案内は首都高速などの都市高速のみで音声案内します。入口ランプから本線に合流する地点では音声案内をしません。
- 車線案内は、車線変更が必要なときに行います。道路情報によっては音声案内しない場合もあります。

■ VICS 渋滞 /VICS 車線規制の音声案内

前方に VICS 渋滞情報、VICS 車線規制情報がある場合、状況に応じて、音声案内を行います (ルート案内中以外でも音声案内を行います)。

案内の種類	音声
VICS 渋滞案内	およそ〇〇 km/m 先、(交差点名) を先頭に、〇〇 km/m 渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、(交差点名) を先頭に、渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、〇〇 km/m 渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先,渋滞しています。
VICS 車線規制	およそ〇〇 km/m 先、車線規制があります。
	およそ〇〇 km/m 先、車線規制があります。 左へお寄りください。

ルートを再探索する

現在地から、探索条件 (推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離) を変更して、ルートを再探索します。

1 [ルート] にタッチする

2 [再探索] にタッチする

3 探索条件を選んで [案内開始] にタッチする

選択したルートでルート案内が開始されます。

- 乗降 IC を指定しているときは、ルートの種類を変更することができません。ルートの種類を変更して再探索したいときは乗降 IC の指定を解除してください。

ルートを編集する

経由地の追加や順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

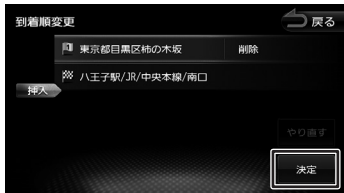
経由地を追加する

ルートの途中に立ち寄る地点（経由地）を追加します。経由地は 4 か所まで追加できます。

- 目的地が設定されていないときは経由地を設定できません。

ここまでの手順 ▶ 行き先を検索する

1 ［経由地］にタッチする

2 経由地の挿入位置を確認し、［決定］にタッチする

ルートの探索がはじまります。

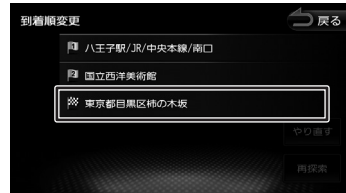
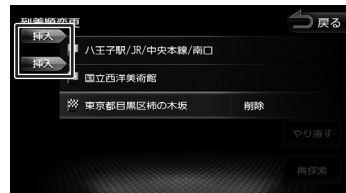
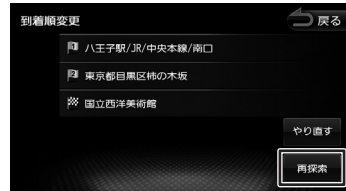
3 探索条件を選んで［案内開始］にタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地の順番を入れ替える

行き先（目的地・経由地）の順番を変更します。目的地と経由地が設定されているときに順番を変更できます。

1 ルートメニューの［到着順変更］にタッチする

2 順番を変更する行き先にタッチする

3 移動先の［挿入］にタッチする

4 ［再探索］にタッチする

［やり直す］：
到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

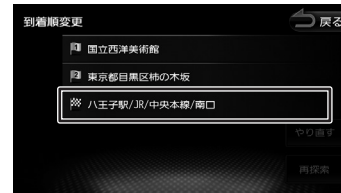
5 探索条件を選んで［案内開始］にタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

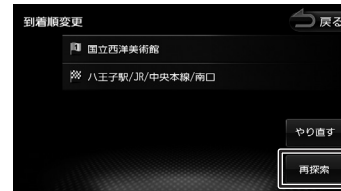
目的地・経由地を削除する

- 削除した地点は元に戻せません。間違えのないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。

1 ルートメニューの［到着順変更］にタッチする

2 削除する行き先にタッチする

3 ［削除］にタッチする

選択した行き先が削除されます。

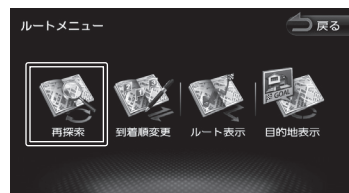
4 ［再探索］にタッチする

5 探索条件を選んで［案内開始］にタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

利用するインターチェンジを変更する

探索された入口または出口 IC（インターチェンジ）以外の IC を利用するように指定できます。

・ 経由地を設定しているときにインターチェンジを変更することはできません。

1 ルートメニューの［再探索］にタッチする

2 変更したい入口または出口 IC にタッチする

3 入口または出口に指定する IC 名を地図に直接タッチして選ぶ

［切替］：
タッチした地点に複数の情報があった場合に表示されます。タッチするたびに情報が切り替わり、このボタンで選択することもできます。

・ 変更したい IC を中心とした半径 40km 以内にある IC(最大 36 件まで) を選ぶことができます。

4 ［この IC に変更］にタッチする

指定した IC を通過するルートが探索されます。

5 ［案内開始］にタッチする

［IC変更を解除］：
タッチすると IC 変更を解除します。

・ 手順 4 で違う路線または進行方向と逆方向の IC を選択していると、確認メッセージが表示されます。
・ 経由地を設定しているときに、乗降 IC を指定しようとすると、確認メッセージが表示され、［はい］にタッチすると経由地が解除されます。
・ 乗降 IC を指定しているときに、経由地を設定しようとすると確認メッセージが表示され、［はい］にタッチすると乗降 IC の指定が解除されます。
・ 現在地と指定した IC の位置によっては、指定した IC が入口 / 出口にならないルートを探索する場合があります。
・ 指定した IC 付近で本機の電源をオフ / オンした場合、IC の指定が解除される場合があります。

変更したインターチェンジを元に戻す

1 ルートメニューの［再探索］にタッチする

2 ［IC 指定解除］にタッチする

変更する前のインターチェンジを利用するルートで再探索します。

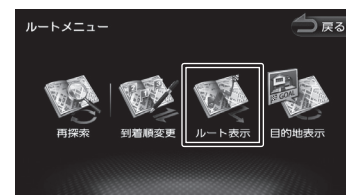
3 ［案内開始］にタッチする

走行中のルートを表示する

現在案内中のルートの全体地図や、ルート情報を表示します。また、ルートを走行したときのシミュレーションを確認できます。

ルート全体を表示する

ルート全体を地図画面で表示します。

1 ルートメニューの［ルート表示］にタッチする

［ルート情報］：ルート上にあるインターチェンジ、ジャンクションや道路の名称、距離などの情報を表示します。

［デモ走行］：地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。

［×1］/［×2］/［×3］：
デモ走行のスピードを変更できます。

［デモ終了］：デモ走行を終了します。

・ デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に地図の縮尺や向きなどを変えることができます。

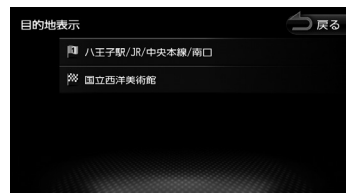
目的地を表示する

目的地、経由地付近の地図画面を表示できます。

1 ルートメニューの［目的地表示］にタッチする

2 表示する目的地または経由地にタッチする

経由地が設定されていないときは、リストは表示されません。

▼

ルート案内を終了する

ルート案内を途中で終了します。

1 目的地検索メニューの［案内終了］にタッチし、［はい］にタッチする

ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。

- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。
  旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。
- クイックメニューから案内を終了することもできます。（➜ P.37）

ルートから外れたときは

案内中のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。

▼

地点を登録する

地点を登録する

地図のスクロールや目的地検索メニューから探した地点を本機に登録します。
本機には 300 件まで地点を登録できます。

1 登録したい場所の地点情報画面を表示する

2 ［登録］にタッチする

地点が本機に登録されます。

- 登録した地点は、「未分類」グループに登録されます。
- 地図をスクロールして地点を探したときは、［地点情報］にタッチして地点メニューを表示します。（➜ P.34）

関連キーワード

● **登録地点編集**
登録した地点の名前や電話番号、グループを編集できます。（➜ P.64）

● **登録地点の削除**
すでに地点を 300 件登録しているときは、不要な登録地点を削除してから登録してください。（➜ P.65）

登録した地点をリストで見る

本機に登録した場所をリストで確認します。

1 目的地検索メニューの［登録地点］にタッチする

2 見たい地点情報のグループにタッチする

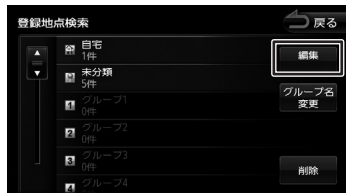
▼

登録地点がリストで表示されます。

登録地点を編集する

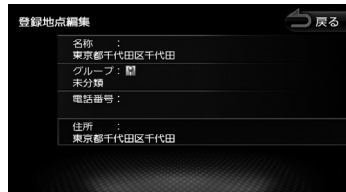
本機に登録した地点の名称や電話番号、グループを編集できます。

1 目的地検索メニューの［登録地点］にタッチする

2 ［編集］にタッチする

3 編集したい地点のグループにタッチする

4 編集したい地点にタッチする

登録地点編集画面が表示されます。

5 編集したい項目にタッチして編集する

● 名前を編集する
名前欄にタッチして名前入力して［決定］にタッチします。

● 電話番号を設定する
電話番号欄にタッチして電話番号を入力して［決定］にタッチします。

● グループを変更する
グループ欄にタッチして設定したいグループにタッチします。

● グループ名を編集する
登録地点検索画面で［グループ名変更］にタッチします。

編集したいグループにタッチしてグループ名を入力して［決定］にタッチします。

- 登録地点の住所は編集できません。
- 文字の入力方法については 66 ページをご覧ください
- 電話番号は 15 文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「－」は省略することもできます。
- グループ名変更で、すでに自宅が登録されているときに、自宅とは別の地点を［自宅］に設定すると、確認メッセージが表示されます。（➜ P.39）
- グループ名、名称は、漢字、ひらがな / カタカナ、英字、数字 / 記号で 48 文字まで入力できます。

登録地点を削除する

- 削除した登録地点を元に戻す方法はありません。間違えのないように、慎重に操作してください。

1 「登録地点を編集する」の手順2の画面を表示して［削除］にタッチする

2 削除したい地点のあるグループにタッチする

3 削除したい地点を選ぶ

複数の地点を選択することもできます。

［全て選択］：
リスト内のすべての地点を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

4 ［削除］にタッチする

5 ［はい］にタッチする

選択した登録地点が削除されます。

文字入力のしかた

文字の種類を切り替える

入力する文字の種類（ひらがな、カタカナ、アルファベット、記号）を切り替えます。

1 切り替える文字の種類にタッチする

［切替］：
タッチするたびにかな（ひらがな）/ カナ（カタカナ）/ 英数 / 記号に切り替えることができます。

［小文字］：
ひらがなまたはカタカナ入力時には拗音（「ゃ」、「ゅ」、「ょ」など）や促音（「っ」）などを入力します。
アルファベットの入力時には小文字を入力します。

［半角］：
半角英数文字または記号を入力します。

文字を入力する

キーボードを使って文字を入力します。ひらがな、カタカナ入力の場合は、漢字に変換することもできます。

1 文字を選んでタッチする

2 変換する場合は、［変換］にタッチする

［無変換］：
文字を変換せず、入力した状態で確定します。

3 変換候補リストから単語を選んでタッチする

文字の変換結果が確定されます。

4 ［決定］にタッチする

文字の入力が確定されます。

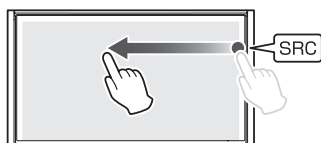
- ◀ または ▶ にタッチして消去したい文字の後ろにカーソルを移動して BS にタッチすると文字を消すことができます。
- BS を長押しすると、入力した文字列が全消去されます。

AVの基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。ソースを切り替えると音声のみ切り替わります。

- ソース切替画面は、ホーム画面、地図画面、AV 画面以外でも表示できます。
- ソースを切り替えても、AV 画面は表示されません。AV 画面を表示する方法については、68 ページをご覧ください。

1 画面の右上から中央に向かってドラッグまたはフリックする

ソース切替画面が表示されます。

2 切り替えたいソースにタッチする

iPod：

iPod のオーディオ / ビデオファイルを再生します。（➜ P.94）

USB：

USB 機器のオーディオ / ビデオファイルを再生します。（➜ P.87）

SD：

SD カードのオーディオ / ビデオファイルを再生します。（➜ P.87）

BT AUDIO：

本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。（➜ P.152）

地デジ：

地上デジタル TV 放送を受信します。（➜ P.74）

TUNER：

ラジオ放送を受信します。（➜ P.71）

DISC：

CD や DVD、オーディオファイルを保存した CD-R などのディスクを再生します。（➜ P.81、P.84）

AV-IN：

本機に接続した外部機器のソースに切り替えます。（➜ P.105）

- DISC ソース以外は機器を接続したり、SD カードを挿入してもソースは自動で切り替わりません。

AV 画面を表示する

現在選択されているソースの AV 画面を表示します。

ホーム画面から AV 画面を表示する

1 【MENU】/【HOME】 を 押 し て、AV エリアにタッチする

AV 画面が全画面表示されます。

現在地図画面から AV 画面を表示する

- AV 画面を引き出して表示する操作は、現在地図画面でのみ行えます。
- AV 画面を表示しているときは、ソースを切り替えると AV 画面もソースに応じて切り替わります。

1 画面左下から右端までドラッグする

AV 画面が全画面表示されます。

AV 画面から現在地図画面を表示する

C9K4 V6 650 では【現在地】、C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650 では【NAV】を押すと現在地図画面を表示します。

の部分をタッチしても現在地図画面を表示できます。

AV をオフ（STANDBY）にする

1 ソース切替画面で［STANDBY］にタッチする

- AV 機能をオンにするには、ソース切替画面でソースを選択します。
  C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650 は、【HOME】を押し続けても、AV 機能のオンとオフを切り替えることができます。

画質を調整する

画面に表示する映像の画質を調整します。

- 地図画面の画質は調整できません。

1 調整する映像ソース画面を表示する

2 ［調整］にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

3 ［+］/［−］(-4 〜 0 〜 +4）にタッチして各項目を調整する

明るさ：
明るさを調整します。
- ［+］：明るくなります。
- ［−］：暗くなります。

コントラスト：
コントラストを調整します。
- ［+］：コントラストが強くなります。
- ［−］：コントラストが弱くなります。

色の濃さ：
色の濃淡を調整します。
- ［+］：色が濃くなります。
- ［−］：色が淡くなります。

- ［非表示］にタッチすると、操作ボタンを消すことができます。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。

- カメラ映像、地上デジタル TV の映像では調整できません。

1 サイズを変更する映像ソース画面を表示する

2 ［調整］にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

3 「アスペクト」の ◀ / ▶ にタッチして、サイズを調整する

レギュラー：
4:3 の比率で表示します。

フル：
画面いっぱいに表示します。

オリジナル：
映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっぱいに表示します。

オート（DVD 再生時のみ）：
16：9 の映像はフルで、4：3 の映像はレギュラーで表示します。

つづく➔

■ **映像サイズイメージ**

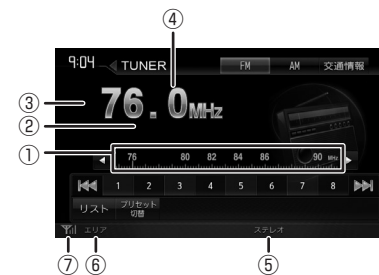
	16：9 画像	4：3 画像	その他	
アスペクト設定				
レギュラー				
フル				
オリジナル				
オート（DVD 再生時のみ）	4:3 画像はレギュラーに、16:9 画像はフルに自動的に切り替えます。			

・「オリジナル」は USB、SD ソースで設定できます。

ラジオを聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを TUNER に切り替えて（➜ P.67）、AV 画面を表示する（➜ P.68）

① 周波数バー

② 受信中の放送局

③ プリセット番号

④ 周波数

⑤ ステレオ受信表示

⑥ プリセットモード

⑦ 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[FM] / [AM]	受信するバンドを切り替えます。
[交通情報]	交通情報の画面に切り替わり、交通情報を受信します。(➜ P.73)
◀ / ▶	放送局を選択します。 タッチするたびに、1 ステップずつ周波数を変えて選局します（マニュアル選局）。 タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
⏮ / ⏭	プリセット局を番号順に受信します。 「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します（オート選局）。 もう一度タッチすると、オート選局を中止します。
[1] ～ [8]（プリセットボタン）	プリセットされている放送局を受信します。 タッチするとプリセットされている放送局名と周波数が表示されます。
[リスト]	エリアモード時に、登録データから取得した放送局をリストで表示します。(➜ P.72)
[プリセット切替]	プリセットモード（エリア / お気に入り 1/ お気に入り 2）を切り替えます。(➜ P.72)

プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアモード」と「お気に入りモード」があります。

■ エリアモード

本機の登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が表示されます。
エリアモードのプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局（コミュニティ FM 局を除く）が周波数の低い順に最大 8 局まで自動的に登録されます。
エリアモードで選択できる放送局は、［リスト］にタッチすると表示できます。（➜ P.72）

■ お気に入りモード

手動でお好みの放送局をお気に入り 1 またはお気に入り 2 にそれぞれ 8 局まで登録できます。
（➜ P.73）

1 ［プリセット切替］にタッチする

タッチするたびに、エリア→お気に入り 1 →お気に入り 2 →エリアの順で切り替わります。

エリアモードの放送局をリストから選局する

エリアモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

1 ［プリセット切替］にタッチして、エリアモードに切り替える

2 ［リスト］にタッチする

3 受信する放送局にタッチする

1 ～ 8 :
プリセットボタンにプリセットされている放送局

 :
コミュニティ FM 局

・「コミュニティ」FM 局とは、市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

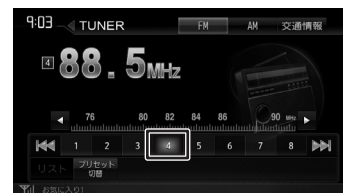
放送局を登録（プリセット）する

お気に入りモードのプリセットボタンに手動で放送局を登録（プリセット）します。

1 登録する放送局を受信する

マニュアル選局またはオート選局などで、登録する放送局を受信します。（➜ P.71）

2 ［プリセット切替］にタッチして、「お気に入り 1」または「お気に入り 2」に切り替える

3 登録先のプリセットボタンを 2 秒以上タッチし続ける

受信中の放送局がプリセットボタンに登録されます。

登録した放送局は、お気に入りモード（1 または 2）で該当するプリセットボタンにタッチすると受信できます。

交通情報を受信する

交通情報（1620kHz または 1629kHz）を受信します。交通情報に切り替えると、受信状態が良いほうが自動的に受信されます。

1 ［交通情報］にタッチする

手動で切り替えるには、［1620kHz］または［1629kHz］にタッチします。

・ 交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

地デジを視聴する

地デジの準備をする

miniB-CAS カードをセットする

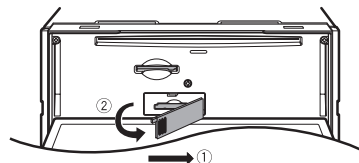
地デジを視聴するには、miniB-CAS カードが正しくセットされている必要があります。

- miniB-CAS カード挿入口に miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- miniB-CAS カードを差し込むときに IC（集積回路）接触端子に触れないようにしてください。汚れなどでカードが機能しないことがあります。

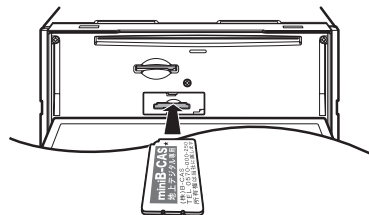
1 ⏏（オープンキー）を押す

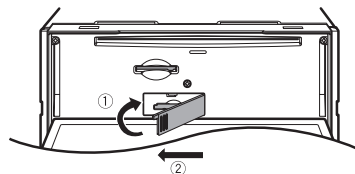
2 ［フルオープン］にタッチする

3 C9K4 V6 650：
カバーを右にスライドする

C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650：
カバーを右にスライドし（①）、カバーの左端を手前に引いて（②）取り外す

⏏（オープンキー）に触れないように注意してください。触れるとフロントパネルが閉じてしまいます。

4 IC（集積回路）接触端子のある面を下にして、miniB-CAS カードを差し込む

miniB-CAS カードは、突き当たるまで、奥までしっかりと差し込んでください。

5 C9K4 V6 650：
カバーを左にスライドする

C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650：
カバーの右端を突き当ててカバーを付け（①）、左にスライドして（②）取り付ける

6 ⏏（オープンキー）を押す

フロントパネルが閉じます。

- miniB-CAS カードは、正しい向きで差し込んでください。向きが間違っていると、カードが機能しません。
- フルオープンの状態から閉じるときにフロントパネルに触れると、安全装置がはたらき、再度フロントパネルが開きます。
- フルオープンのままで電源をオフ（ACC オフ）にすると、フロントパネルが開いたままの状態で電源が切れます。

miniB-CAS カードを取り出す

1 C9K4 V6 650：
カバーを右にスライドして取り出す

C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650：
「miniB-CAS カードをセットする」（➜ P.74）の手順 1 ～ 3 を行って、フロントパネルを開いてカバーを取り外す

2 miniB-CAS カードをいったん押し込んでから引き抜く

3 C9K4 V6 650：
カバーを左にスライドして閉じる

C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650：
「miniB-CAS カードをセットする」（➜ P.74）の手順 5、6 を行って、カバーを取り付けてフロントパネルを閉じる

- miniB-CAS カードを抜き差ししたときは、約 3 秒以上待ってから、B-CAS カードテスト（IC カードテスト）を実行してください。

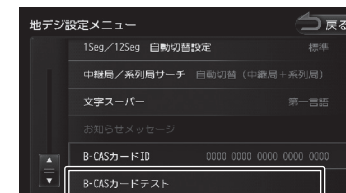
miniB-CAS カードのテストをする

初めて地デジを視聴するときや miniB-CAS カードを抜き差しした後は、miniB-CAS カードが正常に機能するかテストします。テストを実行する前に miniB-CAS カードが正しい向きでセットされていることを確認してください。

ここまでの手順
ソースを地デジに切り替えて（➜ P.67）、AV 画面を表示する（➜ P.68）

1 ［設定］にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

2 ［B-CAS カードテスト］にタッチする

テストが開始されます。

テストが終了すると、結果が表示されます。「B-CAS カードは正常に動作しています。」と表示されていることを確認して、［閉じる］にタッチします。

▼

初めてご使用になるときは、放送局を登録（プリセット）してください。（➜ P.78）

- テスト結果が「B-CAS カードが正常に動作していません。B-CAS カードをご確認ください。」と表示されたときは、miniB-CAS カードの IC（集積回路）接触端子に汚れがないか確認し、miniB-CAS カードを再度差し込んでください。

画面の見かたと操作

ここまでの手順
ソースを地デジに切り替えて（➜ P.67）、
AV 画面を表示する（➜ P.68）

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

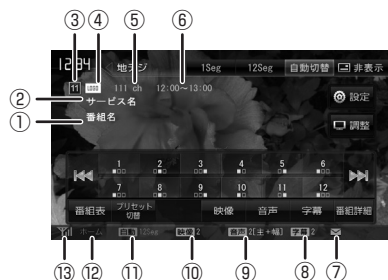
操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき
表示されるボタンのはたらきは以下のとおりです。

ボタン	説明
［1Seg］	ワンセグ固定モードに切り替えます。
［12Seg］	12 セグ固定モードに切り替えます。
［自動切替］	自動受信モード（ワンセグまたは 12 セグ）に切り替えます。
［非表示］	操作ボタンを消します。
［設定］	地デジ設定メニューを表示します。（➜ P.80）
［調整］	映像の画質を調整します。（➜ P.69）
/	前または次のプリセット局を選局します。 「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。
［1］～［12］（プリセットチャンネルボタン）	プリセットされている放送局に切り替えます。
	番組にサービスがあるときに表示します。サービスの数で■の表示数が変わります。 複数ある場合は、プリセットチャンネルボタンにタッチするたびにサービスの内容が切り替わります。
［番組表］	番組表を表示します。（➜ P.79）
［プリセット切替］	プリセットモード（ホーム / お出かけ / エリア）を切り替えます。（➜ P.77）
［映像］	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
［音声］	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。 なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
［字幕］	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
［番組詳細］	視聴中の番組の詳細情報を表示します。

- 画面に表示される地デジ受信情報やアイコンについては、77 ページをご覧ください。
- 12 セグとワンセグの切り替え時に、放送によっては音量が変わったり、映像 / 音声のつながりが途切れる場合があります。
- 放送局によっては、12 セグとワンセグで番組が異なる場合があります。

再生情報について

地デジ画面に表示されるバナーとアイコンについて説明します。

① 番組名

② サービス名

③ プリセット番号

④ サービスのロゴ

⑤ チャンネル番号

⑥ 放送時間

⑦ メールアイコン
未読のお知らせメッセージがあるときに表示されます。

⑧ 字幕の種類

⑨ 音声の種類
複数の音声 / 二重音声があるときに出力している音声の番号が表示されます。

⑩ 映像の種類
複数の映像があるときに視聴中の映像の番号が表示されます。

⑪ 受信モード

⑫ プリセットモード

⑬ 電波の強さ

- 本機は 5.1ch サラウンドには対応しておりません。音声は 2ch で出力されます。

プリセットモードを切り替える

プリセットには、「ホーム」、「お出かけ」、「エリア」の 3 つのモードがあります。

■ ホーム / お出かけ
ホームとお出かけは、それぞれにプリセットが登録できます。自宅周辺では ホーム、ドライブ先ではお出かけと使い分けると便利です。

■ エリア
エリアでは自車の移動先の地域のものに自動的に切り替わります。移動中に放送局を手早く選択するときに便利です。

1 ［プリセット切替］にタッチする
操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

タッチするたびに、ホーム→お出かけ→エリア→ホームの順に切り替わります。

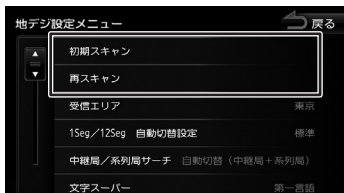
放送局を登録（プリセット）する

初めてご使用になる場合は、放送局が登録されていないため、［初期スキャン］で放送局を登録してください。スキャンをしなおす場合は［再スキャン］をご使用ください。
放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。

1 ［プリセット切替］にタッチして、「ホーム」または「お出かけ」に切り替える

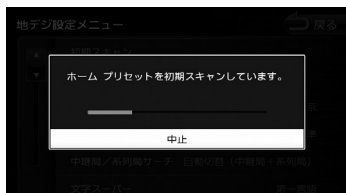
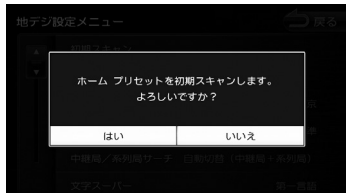
操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

2 設定 にタッチする

3 ［初期スキャン］または［再スキャン］にタッチする

［初期スキャン］：
現在受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。初期スキャン前に登録されていた内容は削除されます。

［再スキャン］：
現在登録されている放送局のほかに、新たに受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。再スキャン前に登録されていた内容は残ります。

4 ［はい］にタッチする

▼

［中止］：
チャンネルスキャンを中止します。

［閉じる］にタッチします。

- エリアモードでは、チャンネルスキャンはできません。
- 送信チャンネルが変更になった場合は、初期スキャンを行ってください。

番組表を見る

最大 8 日分の番組表を表示できます。また、表示した番組表から放送局を選局することもできます。

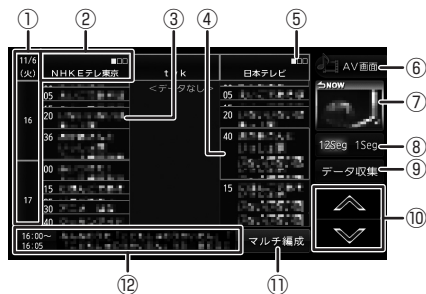
1 ［番組表］にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

番組表が表示されます。

- すでに放送時間がすぎた番組の番組表は表示できません。
- 番組表データは、電源をオフにしてオンにすると消去されます。
- 受信したチャンネルは番組表データを自動で収集し表示します。受信していないチャンネルの番組表を表示したいときは［データ収集］にタッチしてデータを取得してください。
- ワンセグ番組表では、最大 10 番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。
- サービスの選局直後は、番組表から選局できない場合があります。

番組表の見かたと操作

番組表はフリックまたはドラッグすることで、上下左右にスクロールできます。

① **日時：**
タッチすると、表示する番組表の日付を選択できます。

② **放送局：**
タッチするとその放送局を受信します。

③ **現在視聴中の番組**

④ **フォーカス：**

⑤ **マルチ編成表示：**
マルチ編成の時間帯は緑のアミがかかって表示されます。

⑥ **［AV 画面］：**
番組表を消して、AV 画面に戻ります。

⑦ **視聴中番組：**
タッチすると現在視聴している番組にフォーカスを移動します。

⑧ 12Seg 1Seg **：**
タッチすると 12 セグ番組表とワンセグ番組表を切り替えます。

⑨ **［データ収集］：**
プリセットされている放送局の現在時刻から 24 時間先までの番組表データを収集します。

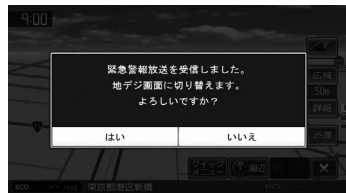
⑩ ︿ / ﹀ **：**
フォーカスを移動します。

⑪ **［マルチ編成］：**
フォーカスされている番組がマルチ編成の時間帯の場合に表示されます。タッチすると、マルチ編成のさらに詳細な情報が表示されます。

⑫ **番組詳細：**
フォーカスされている番組の情報を表示します。タッチすると、番組の詳細情報が表示されます。

緊急放送を表示する

緊急警報放送を受信すると、自動的に緊急警報放送に切り替わります。

地図画面などが表示されているときに緊急警報放送を受信すると、メッセージが表示されます。

［はい］：
緊急警報放送に切り替わります。

- 緊急警報放送は、AV ソースが地デジのときのみ表示されます。

中継局 / 系列局をサーチする

受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局 / 系列局を探して切り替えることができます（中継局サーチ）。

中継局 / 系列局の自動切り替え条件は、「地デジ設定メニュー」の［中継局 / 系列局サーチ］で設定できます。
［中継局 / 系列局サーチ］を“自動切替 (中継局)”に設定している場合は、中継局のみがサーチされます。

- 系列局に切り替わった場合、元のサービスと番組が異なる場合があります。
- 受信条件によっては、サーチに数分以上かかる場合があります。
- 系列局のない放送局の場合は、中継局のみがサーチされます。

地デジの設定をする

地デジの設定を変更します。

1 ［設定］にタッチする
操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

設定できる項目は以下のとおりです。
(*：お買い上げ時の設定です。)

項目	説明
初期スキャン	プリセットチャンネルのスキャンを行います。(➜ P.78)
再スキャン	プリセットチャンネルを再スキャンします。(➜ P.78)
受信エリア	受信する都道府県を設定します。
1Seg/12Seg 自動切替設定	受信モードを［自動切替］に設定している場合に、優先させる内容を設定します。 ・標準 */12Seg を優先 /12Seg を最優先 / 切替頻度低減を優先 / 切替頻度低減を最優先
中継局 / 系列局サーチ	中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。 ・自動切替（中継局）/ 自動切替（中継局＋系列局）*/ 切替しない
文字スーパー	表示する文字スーパーを設定します。 ・第一言語 */ 第二言語 / 表示しない
お知らせメッセージ	放送局からのお知らせメッセージ（メール）を表示します。メッセージタイトルにタッチすると、詳細内容を確認できます。
B-CAS カード ID	miniB-CAS カードの情報を表示します。
B-CAS カードテスト	miniB-CAS カードを抜き差ししたときは B-CAS カードテストを行ってください。 テストが完了すると結果が表示されます。

CD・オーディオファイルディスクを再生する

ディスクを入れる / 出す

1 ⏏（オープンキー）を押す

2 ［DISC］にタッチする

3 ディスクを挿入口に入れる

フロントパネルが自動的に閉じます。
AV のソースが「DISC」に切り替わります。

- ディスクを挿入すると、フロントパネルは自動的に設定されている角度に戻ります。

ディスクを取り出す

1 ⏏（オープンキー）を押す

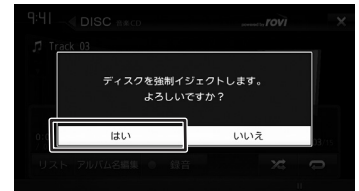
2 ［DISC］にタッチする
フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

- ディスクがイジェクトされた後、ディスクを取り出さないと、約 15 秒後に自動的に引き込まれます。
- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。

ディスクを取り出せないときは

1 メッセージが表示されるまで ⏏（オープンキー）を押し続ける

2 [はい] にタッチする

フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

- ディスクを強制イジェクトした場合は、約 15 秒たってもディスクは引き込まれません。そのままにしておくと落下することもありますので、必ずディスクを取り出してください。

画面の見かたと操作

音楽 CD またはオーディオファイルディスクを再生します。

ここまでの手順
ソースを DISC に切り替えて（➜ P.67）、AV 画面を表示する（➜ P.68）

音楽 CD

オーディオファイルディスク

① トラック番号 / 総曲数（ファイル番号）
② アーティスト名
③ アルバム名（フォルダ名）
④ 曲名（ファイル名）
⑤ ディスクの種類
⑥ ジャンルの画像（音楽 CD のみ）
⑦ シークバー
⑧ 演奏時間 / 総演奏時間
⑨ リピート再生モード
⑩ ランダム再生モード
⑪ ファイル形式（オーディオファイルディスクのみ）

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
⏮ / ⏭	前または次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
− / ＋ （オーディオファイルディスクのみ）	前 / 次のフォルダを先頭の曲から再生します。
[リスト]	再生中の曲またはファイルの再生リストを表示します。 ・[トップ]（オーディオファイルディスクのみ）： 一番上の層のフォルダに移動します。 ・[一つ上]（オーディオファイルディスクのみ）： 一つ上の層のフォルダに移動します。
[タイトル変更] （音楽 CD のみ）	「KENWOOD Music Info.」（➜ P.106）で使用します。 （C9K4 V6 650 のみ）
[録音] （音楽 CD のみ）	現在の音楽 CD を SD カードに録音します。（➜ P.99） [録音停止] にタッチすると、録音を停止します。
🔁	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・🔁1曲： 再生中の曲をくり返し再生します。 ・🔁フォルダ： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。 （オーディオファイルディスクのみ） ・表示なし： リピート再生モードを解除します。
🔀	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ・🔀： アルバム内の曲をランダムに再生します。（音楽 CD のみ） ・🔀フォルダ： フォルダ内の曲をランダムに再生します。（オーディオファイルディスクのみ） ・表示なし： ランダム再生をしません。

- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- ジャンルの画像は、ディスクによっては表示されない場合があります。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

関連キーワード

● 録音する
本機では、音楽 CD を再生しながら、SD カードに 4 倍速で録音することができます。
（➜ P.99）

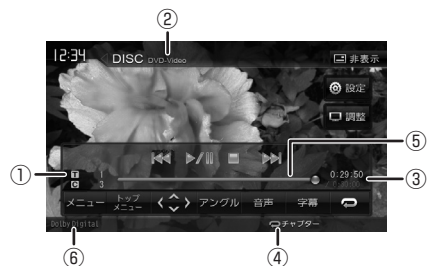
DVDを再生する

画面の見かたと操作 (DVD ビデオ /DVD-VR)

DVD を再生します。
ディスクの出し入れについては、81 ページをご覧ください。

ここまでの手順
ソースを DISC に切り替えて（➜ P.67）、AV 画面を表示する（➜ P.68）

DVD ビデオを再生する

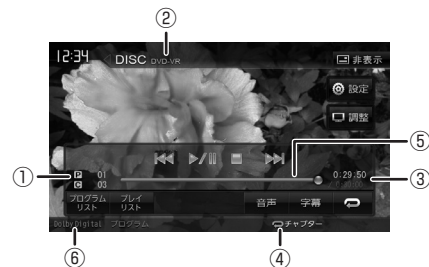
画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① タイトル番号 / チャプター番号
② ディスクの種類
③ 再生時間 / 総再生時間
④ リピート再生モード
⑤ シークバー
⑥ 音声形式

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［非表示］	操作ボタンを消します。
［設定］	DVD の設定画面を表示します。（➜ P.86）このボタンにタッチすると、再生中のビデオは停止します。
［調整］	映像の画質を調整します。（➜ P.69）
▶/ll	再生または一時停止（ポーズ）します。
■	再生を停止します。
⏮ / ⏭	前または次のチャプターを再生します（スキップ）。タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
［メニュー］	ディスクのメニューを表示します。
［トップメニュー］	ディスクのトップメニューを表示します。
‹ ^ ›	カーソルを表示します。（➜ P.85）
［アングル］	アングルを切り替えます。
［音声］	音声の言語を切り替えます。
［字幕］	字幕の言語を切り替えます。
リピート	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・チャプター：再生中のチャプターをくり返し再生します。 ・タイトル：再生中のタイトルをくり返し再生します。 ・表示なし：リピート再生モードを解除します。

DVD-VR を再生する

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① プログラム番号 / チャプター番号
② ディスクの種類
③ 再生時間 / 総再生時間
④ リピート再生モード
⑤ シークバー
⑥ 音声形式

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［非表示］	操作ボタンを消します。
［設定］	DVD の設定画面を表示します。（➜ P.86）
［調整］	映像の画質を調整します。（➜ P.69）
▶/ll	再生または一時停止（ポーズ）します。
■	再生を停止します。
⏮ / ⏭	前または次のチャプターを再生します（スキップ）。タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
［プレイリスト］	プレイリストを表示します。
［プログラムリスト］	プログラムリストを表示します。
［音声］	音声の言語を切り替えます。
［字幕］	字幕の言語を切り替えます。
リピート	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・チャプター：再生中のチャプターをくり返し再生します。 ・プログラム：再生中のプログラムをくり返し再生します。 ・表示なし：リピート再生モードを解除します。

DVD ディスクメニューを操作する

DVD ビデオに収録されているメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

カーソルで操作する

1 ディスクメニュー表示中に画面にタッチする

2 ［表示］にタッチする

3 ‹ ^ › にタッチする

4 各ボタンにタッチして操作する

［非表示］：
操作ボタンを消します。

 / / / ：
タッチした方向にメニューのカーソルを移動します。

［リターン］：
ディスクメニューの 1 階層上の項目を表示します。

［決定］：
選択中の項目を実行します。

- 表示されるディスクメニューおよび操作できる項目は、DVD によって異なります。

ディスクメニューを直接操作する

ディスクメニューを表示しているときは、ディスクメニューの項目に直接タッチして操作できます。

DVD の設定をする

DVD に関する設定を行います。

1 設定 にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

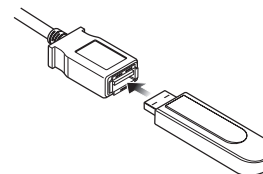
2 各項目を設定する

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
メニュー言語	DVD ビデオのメニュー / トップメニューの表示優先言語を設定します。
音声言語	DVD ビデオの音声出力の優先言語を設定します。
字幕言語	DVD ビデオの字幕表示の優先言語を設定します。
ダイナミックレンジコントロール	DVD 音声のダイナミックレンジを設定します。 ワイド＞ノーマル＞ダイアログの順にダイナミックレンジは狭くなりますが、映画のセリフなどは明確に聞き取れるようになります。

- 設定した優先言語が再生する DVD に収録されていない場合は、収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語に変わらない場合があります。

USB機器/SDカードのファイルを再生する

USB 機器を接続する

- 本機で再生できる USB 機器は 178 ページをご覧ください。「USB 機器使用上のご注意」もお読みください。
- 本機では USB ケーブルに USB ハブを接続して複数の USB 機器を接続することができます。USB ハブをご使用になる場合は 179 ページの「USB ハブの使用について」を必ずお読みください。
- 複数の USB 機器を接続した場合は、USB の AV 画面で再生する USB 機器を切り替えることができます。（➜ P.88、P.89）

- USB ケーブルは本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

USB 機器を取り外す

ソースを USB 以外に切り替えてから、USB 機器を取り外します。
USB ソースのまま取り外すと、USB 機器内のデータが破損する場合があります。

SD カードを入れる / 出す

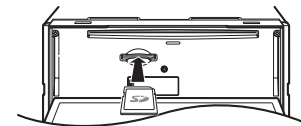
- フルオープンの状態で SD カードを挿入しても、フロントパネルは自動的に閉じません。
- フルオープンのままで電源をオフ（ACC オフ）にすると、フロントパネルが開いたままの状態で電源が切れます。

1 ⏏（オープンキー）を押す

2 ［フルオープン］にタッチする

フロントパネルが開きます。

3 SD カードを挿入口に入れる

SD カードは、突き当たるまで奥に差し込んでください。

4 ⏏（オープンキー）を押す

フロントパネルが閉じます。

- 本機で再生できる SD カードは 178 ページをご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。

SD カードを取り出す

1 SD 以外のソースに切り替えて⏏（オープンキー）を押す

2 ［フルオープン］にタッチする

3 SD カードを取り出す

SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。

4 ⏏（オープンキー）を押す

画面の見かたと操作

USB 機器または SD カードに保存されているオーディオファイル / ビデオファイルを再生します。KENWOOD Music Editor-VX4 を使って同期した USB 機器または SD カードを再生するときは、91 ページをご覧ください。

ここまでの手順

ソースを USB または SD に切り替えて（➜ P.67）、AV 画面を表示する（➜ P.68）

オーディオファイルの AV 画面

USB

SD

① ファイル番号

② アーティスト名

③ アルバム名（フォルダ名）

④ 曲名（ファイル名）

⑤ アルバムアート画像

⑥ シークバー

⑦ 演奏時間 / 総演奏時間

⑧ リピート再生モード

⑨ ランダム再生モード

⑩ ファイル形式

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替]（USB のみ）	複数の USB 機器を接続しているときに、再生する USB 機器を切り替えます。 接続した機器の最初のファイルから再生されます。
[モード切替]（SD カードのみ）	再生モード（パソコンで保存したファイルの再生 / 本機で録音したオーディオファイルの再生）を切り替えます。切り替えたモードの最初のファイルから再生されます。 モードを切り替えると、画面のソース表示も切り替わります。 ・パソコンで保存したファイルの再生：SD ・本機で録音したオーディオファイルの再生：SD 録音データ
▶/Ⅱ	再生または一時停止（ポーズ）します。
⏮ / ⏭	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
− / +	前 / 次のフォルダを先頭のファイルから再生します。
[リスト]	再生中のファイルの再生リストを表示します。 ・[トップ]：一番上の層のフォルダに移動します。 ・[一つ上]：一つ上の層のフォルダに移動します。
↻	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・↻ 1 曲：再生中のファイルをくり返し再生します。 ・↻ フォルダ：再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。 ・表示なし：リピート再生モードを解除します。
⤮	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ・⤮ フォルダ：フォルダ内のファイルをランダムに再生します。 ・表示なし：ランダム再生をしません。

- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

ビデオファイルの AV 画面

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

USB

SD

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① ファイル番号

② フォルダ名

③ ファイル名

④ 再生時間 / 総再生時間

⑤ リピート再生モード

⑥ ランダム再生モード

⑦ 映像形式

⑧ 音声形式

⑨ シークバー

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替]（USB のみ）	複数の USB 機器を接続しているときに、再生する USB 機器を切り替えます。
[モード切替]（SD カードのみ）	再生モード（パソコンで保存したファイルの再生 / 本機で録音したオーディオファイルの再生）を切り替えます。切り替えたモードの最初のファイルから再生されます。 モードを切り替えると、画面の表示も切り替わります。 ・パソコンで保存したファイルの再生：SD ・本機で録音したオーディオファイルの再生：SD 録音データ
[非表示]	操作ボタンを消します。
▶/Ⅱ	再生または一時停止（ポーズ）します。
⏮ / ⏭	前 / 次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
− / +	前 / 次のフォルダを先頭のファイルから再生します。
[リスト]	再生中のビデオの再生リストを表示します。 ・[トップ]：一番上の層のフォルダに移動します。 ・[一つ上]：一つ上の層のフォルダに移動します。
↻	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・↻ 1 曲：再生中のファイルをくり返し再生します。 ・↻ フォルダ：再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。 ・表示なし：リピート再生モードを解除します。
⤮	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ・⤮ フォルダ：フォルダ内のファイルをランダムに再生します。 ・表示なし：ランダム再生をしません。
[調整]	映像の画質を調整します。

- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- 走行中は、ビデオファイルの映像は映りません。

楽曲データ管理ソフト KENWOOD Music Editor-VX4 を使う

楽曲データ管理ソフトKENWOOD Music Editor-VX4（以降 KME-VX4）は、パソコンに保存されている曲 / 動画のライブラリを管理します。
管理している曲や動画を、KME-VX4 で USB 機器または SD カードに転送（同期）し、本機で再生できるようにします。

楽曲情報の編集方法や USB 機器、SD カードへの同期方法については KME-VX4 のヘルプをご覧ください。

KME-VX4 を使うとこんなことができます

■ ライブラリの管理

パソコンに保存されている曲や動画を、KME-VX4 のライブラリで管理できます。

■ オーディオ / ビデオファイルの転送 / 同期

KME-VX4 ライブラリのオーディオファイルやビデオファイルを USB 機器 /SD カードに転送（同期）して本機で再生できるようにします。

■ 楽曲情報の編集と更新

KME-VX4 ライブラリの曲の楽曲情報（曲名､アーティスト、アルバムなど）を Rovi 音楽データサーバーの楽曲情報データベースから取得します。取得した楽曲情報は、本機の表示用に編集することもできます。
また、本機の楽曲情報データベースに収録されていない曲の楽曲情報を、インターネット上にある最新の楽曲情報データベースから KME-VX4 で取得して本機に書き戻し、本機で楽曲情報を表示することができます（楽曲データベース都度更新）。楽曲データベース都度更新の方法については 106 ページをご覧ください。

■ サビ SCAN 再生

KME-VX4 でサビ SCAN モードを設定したオーディオファイルは、同期した USB 機器 /SD カードを本機で再生するときに、サビ SCAN 再生ができます。

■ 曲調解析

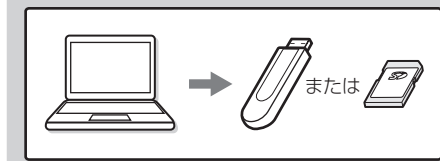
KME-VX4 では、曲調を解析して 13 の曲調に分類することができます。
分類された曲を本機で曲調ごとに再生することができます。曲調からさらにアーティスト、アルバム、ジャンルなどを絞り込んで再生する（Music Link）こともできます。

KME-VX4 使用の流れ

「KENWOOD Music Editor-VX4」をパソコンにインストールする

http://www2.jvckenwood.com/products/oem/mazda/

からインストーラーをダウンロードし、パソコンにインストールします。

オーディオ / ビデオファイルを KME-VX4 を使って、パソコンから USB 機器 /SD カードに書き出す（同期）

USB 機器 /SD カードを本機に挿入して､オーディオ / ビデオファイルを再生する （➜ P.91）

KME-VX4 で同期した USB 機器または SD カードを本機で再生する

オーディオファイルの AV 画面

USB

SD

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[サビ SCAN]	サビ SCAN をオン / オフします。オンに設定すると、画面の下部に サビSCAN と表示され、各曲のサビ部分が順番に再生されます。
[スライドショー]	スライドショーに登録した画像がある場合に、再生します。（➜ P.92）
[Music Link]	Music Link で曲を選びます。（➜ P.93）

- KME で同期した USB 機器または SD カードを再生するときにソース名の横に「KENWOOD Music Editor」と表示されます。
- KME-VX4 で同期した USB 機器または SD カードでは、KME-VX4 で同期したオーディオ / ビデオファイル以外のファイルは再生できません。
- 上記以外のボタンのはたらきおよび AV 画面については、88 ページをご覧ください。
- ソースを変更した場合または本機の電源を入れなおした場合、サビ SCAN は解除されます。

ビデオファイルの AV 画面

USB

SD

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

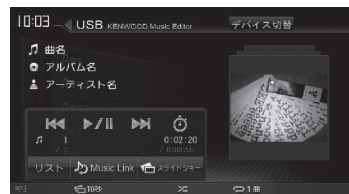
▼

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

- ビデオファイル再生時の AV 画面、操作画面に表示されるボタンの説明については、89 ページをご覧ください。
- KME-VX4 で同期した USB 機器または SD カードでは、KME-VX4 で同期したオーディオ / ビデオファイル以外のファイルは再生できません。

スライドショー再生

KME-VX4 でスライドショーに登録した画像を本機で再生します。

1 [スライドショー]にタッチする

■ **スライドショーの切替時間を設定する**

 にタッチします。

タッチするたびに 3 秒→ 5 秒→ 10 秒と切り替わります。

■ **スライドショーを停止する**

スライドショー再生中に[スライドショー]にタッチします。

曲調解析した曲を再生する

KME-VX4 で曲調解析した曲をリストから選択して再生します。
次の２つの選択方法があります。

- 分類された曲調で再生したい場合は[リスト]で選びます。
- 分類された曲調のリストをアーティスト、アルバム、ジャンルなどでさらに絞り込んで選びたい場合は[Music Link]で選びます。

■ **[リスト]で選ぶ**

1 [リスト]にタッチする

ミュージックリストが表示されます。

2 [曲調]にタッチする

3 再生したい曲調にタッチする

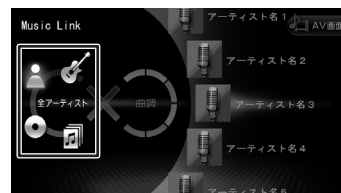
4 さらに詳細な曲調にタッチする

5 再生したい曲にタッチする

選択した曲調の曲を再生します。

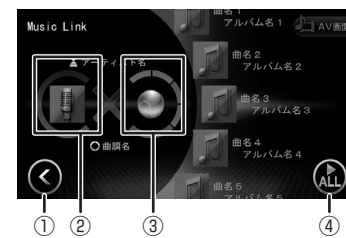
■ **[Music Link]で選ぶ**

1 [Music Link]にタッチする

2 選択方法(アーティスト / アルバム / ジャンル / 全曲)を選んでタッチする

アーティスト、アルバム、ジャンルをタッチしたときは、右側のリストでさらに選択します。

3 曲調を選ぶ

4 再生したい曲にタッチする

■ **曲調や選択方法を選び直す**

① :
一つ前の選択に戻ります。

② **選択方法:**
タッチすると、曲の選択方法(アーティスト / アルバム / ジャンル / 全曲)を選び直すことができます。

③ **曲調:**
タッチすると、曲調を選び直すことができます。

④ :
再生リストの一曲目から再生します。

iPodを再生する

iPod を接続する

本機の iPod ソースで iPod を再生するときの接続方法は USB 接続と Bluetooth 接続（➜ P.94）です。

USB 接続する

iPod の USB 接続には iPod 接続ケーブルが必要です。
iPod の接続については 183 ページをご覧ください。

- 本機では USB ケーブルに USB ハブを接続して複数の iPod を接続することができます。USB ハブをご使用になる場合は 179 ページの「USB ハブの使用について」を必ずお読みください。
- 複数の iPod を接続した場合は、iPod の AV 画面の［デバイス切替］にタッチして、再生する iPod を切り替えることができます。（➜ P.96）

- iPod 接続ケーブルを接続する USB ケーブルは、本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。
- iPod/iPhone に付属のケーブルを使用するときは車内に放置しないでください。

■ iPod を取り外す

ソースを iPod 以外に切り替えてから、iPod を取り外します。
iPod ソースのまま取り外すと、iPod 内のデータが破損する場合があります。

Bluetooth 接続する

Bluetooth で接続する場合は [iPhone との接続方法] を設定をしてから接続してください。
この機能が使用できる iPod/iPhone は
iPod touch 5th generation、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone5、iPhone4s、iPhone4 です。

- この操作を行う前に、本機に USB 接続している機器がある場合は取り外してください。また本機に Bluetooth 接続している機器がある場合も接続を解除してください。

- iPhone4s、iPhone4 でビデオを見る場合は USB 接続でご使用ください。「iPhone との接続方法」は "USB" に設定してください。
- iPod/iPhone に付属のケーブルを使用するときは車内に放置しないでください。

■ 接続方法を設定する

1 ［AV 設定］の［iPhone との接続方法］にタッチする

2 接続する方法にタッチする

USB :
USB を選択すると USB ケーブルで接続する設定になります。

Bluetooth :
iPod ソースで音楽を聴くときに設定します。

3 接続する iPhone または iPod touch を本機に登録（ペアリング）する

登録 (ペアリング) は 139 ページの方法でおこなってください。オートペアリング機能での登録はできません。

画面の見かたと操作

iPod の曲やビデオを再生します。

ここまでの手順

ソースを iPod に切り替えて（➜ P.67）、
AV 画面を表示する（➜ P.68）

曲を再生する

① 曲番号 / 全曲数
② アーティスト名
③ アルバム名
④ 曲名
⑤ iPod モード表示
⑥ アルバムアート画像
⑦ シークバー
⑧ 再生時間 / 総再生時間
⑨ リピート再生モード
⑩ シャッフル再生モード
⑪ オーディオブック速度

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[モード切替]	タッチすると iPod の操作モードが切り替わります。(➜ P.98)
[デバイス切替]	再生する iPod を切り替えます。
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
⏮ / ⏭	前 / 次の曲を再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生リストを表示します。(➜ P.98)
[オーディオブック速度]	オーディオブックの読み上げ速度を切り替えます。 • 1/2x : 遅い • 1x : 標準 • 2x : 速い
🔁	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • 🔁1曲 : 再生中の曲をくり返し再生します。 • 表示なし : リピート再生モードを解除します。
🔀	タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。 • 🔀 : リスト内の曲をシャッフル再生します。 • 🔀アルバム順 : アルバムをシャッフル再生します。アルバム内の曲は曲順どおりに再生されます。

- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

ビデオを再生する

iPod ビデオを再生するときは、リストから選んでください。（➜ P.98）

- ビデオの再生中に本機の電源をオフにすると、次に電源をオンにしたときには iPod ビデオは再生されません。iPod の先頭の曲から再生されます。

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の ［非表示］でも消すことができます。

① ファイル番号 / 全ファイル数
② アーティスト名
③ アルバム名
④ ファイル名
⑤ iPod モード表示
⑥ シークバー
⑦ 再生時間 / 総再生時間
⑧ リピート再生モード
⑨ シャッフル再生モード
⑩ オーディオブック速度

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[モード切替]	タッチすると iPod の操作モードが切り替わります。(➜ P.98)
[デバイス切替]	再生する iPod を切り替えます。
[非表示]	操作ボタンを消します。
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
⏮ / ⏭	前 / 次のビデオを再生します(スキップ)。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[調整]	映像の画質を調整します。(➜ P.69)
[リスト]	再生リストを表示します。(➜ P.98)
[オーディオブック速度]	オーディオブックの読み上げ速度を切り替えます。 • 1/2x : 遅い • 1x : 標準 • 2x : 速い
🔁	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • 🔁1曲 : 再生中のビデオをくり返し再生します。 • 表示なし : リピート再生モードを解除します。
🔀	タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。 • 🔀 : リスト内のビデオをシャッフル再生します。 • 🔀アルバム順 : アルバムをシャッフル再生します。アルバム内のビデオは順番どおりに再生されます。

iPod のモード切り替えについて

本機では、［モード切替］にタッチして、iPod の操作方法を切り替えることができます。

■ Head モード（Head mode）：

本機の画面で iPod の操作ができます。

■ Hand モード（Hand mode）：

iPod 本体で操作します。本機の画面では、再生操作はできなくなります。

■ External モード（External mode）：

iPhone アプリで音声や映像を再生する場合に使用します。

再生操作は iPhone 本体で行います。本機の画面では、操作できません。

リストから曲またはビデオを選択する

iPod 本体での操作と同様に、再生する曲やビデオを本機から選択できます。

1 ［リスト］にタッチする

2 （ビデオリスト）または （ミュージックリスト）を選ぶ

3 再生するカテゴリー、曲またはビデオにタッチする

［トップ］：
一番上の層のリストに移動します。

［一つ上］：
一つ上の層のリストに移動します。

：
該当するフォルダまたはリストの先頭のファイルから再生されます。

- iPod touch (5th generation)、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone5 はビデオリストを表示しようとすると「ビデオリストがありません」と表示されます。iPod touch または iPhone からビデオ操作をおこなってください。
- 手順 2 以降で表示されるカテゴリーは、ミュージックリストとビデオリストで異なります。

SDカードに録音する

録音について

- 録音中は、地デジと SD ソースは選択できません。
- 録音中にナビの画面に切り替えても、録音は継続されます。
- 録音中は、画面に以下のアイコンが表示されます。

- 本機は SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しており、デジタル録音された複製ディスク内の曲を SD カードに録音することはできません。
- SD カードの容量がいっぱいで録音できない場合はメッセージが表示されます。不要なデータを削除してから録音してください。(➜ P.104)
- 録音する音楽 CD のアルバム情報がないときには、次のように名前が付けられます。
  - タイトル名: “Track” + Track 番号+年（西暦）+月日+時刻（24 時間制）
  - アルバム名：“Album” ＋年（西暦）＋月日+時刻（24 時間制）
  - アーティスト名：“Artist” ＋年（西暦）＋月日+時刻（24 時間制）

  なお、年、月、時刻は、その音楽 CD が初めて録音されたときの開始時のものです。
- 楽曲情報は本機で編集することができます。(➜ P.102)
- 録音中は、システム設定の「楽曲データ管理」、「録音音質」は設定できません。
- 本機で再生できる SD カードについては、178 ページをご覧ください。

■ 録音可能曲数について

録音可能曲数は、録音品質によって異なります。
- SD カード（1GB の場合）：
  標準音質 … 約 250 曲
  高音質 … 約 125 曲

■ 録音可能アルバム数について

最大 999 枚録音できます。

録音音質を設定する

音楽 CD から録音するときの録音音質（標準 / 高音質）を設定します。

1 「AV 設定」の［録音音質］にタッチする

［標準］：
標準の音質で録音します。

［高音質］：
高音質で録音します。

録音する

音楽CDを再生しながら、SDカードに4倍速で録音できます。

- SDカードへの録音中にエンジンを切ったり、スタートしないでください。ファイルが消えてしまったり、SDカードが破損するおそれがあります。
- エンジンを切ったりスタートさせたいときは、録音を中止してください。

1 ソースをDISCに切り替えて、録音したい音楽CDを再生する

2 ［録音］にタッチする

3 録音する曲を選択する

：録音していない曲

：録音済みの曲

表示されているリストでは、すべての曲が選択されています。録音しない曲にタッチすると、選択が解除されます。

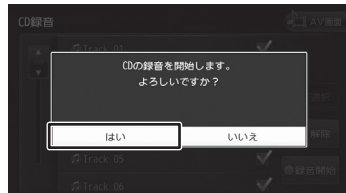
［全て選択］：
すべての曲を選択します。

［全て解除］：
すべての曲の選択を解除します。

4 ［録音開始］にタッチする

確認のメッセージが表示されます。

5 ［はい］にタッチする

▼

録音が開始されます。

録音中の画面では、録音の状況を確認できます。また、録音済／録音予定の曲数が表示されます。

：
SDカードに録音中です。

［録音停止］：
録音を停止して、ディスクの1曲目から再生します。

▼

すべての録音が終了すると、［録音モード終了］が表示されます。［録音モード終了］にタッチして［はい］にタッチすると、ディスクの1曲目から再生されます。

- 手順3で、すでに録音されている曲を選択すると、メッセージが表示され、録音データが上書きされます。
- 録音中に［リスト］にタッチすると、録音状況が次のアイコンで表示されます。
  - ：録音済みの曲
  - ：録音中の曲（赤）
  - ：録音予定の曲（エンジ）
  - ：録音予定がない曲（グレー）
  - ：エラーが発生して録音されなかった曲
- 録音中はシークバーを操作できません。

関連キーワード

● SDカード初期化
SDカードに録音できない場合は、SDカード初期化を行ってください。（➜ P.130）

録音したデータを再生する

ソース切替画面でSDを選択すると、録音したデータを再生できます。

ここまでの手順

ソースをSDに切り替えて（➜ P.67）、AV画面を表示する（➜ P.68）

① ファイル番号
② アーティスト名
③ アルバム名
④ 曲名
⑤ ジャンルの画像
⑥ シークバー
⑦ 再生時間／総再生時間
⑧ リピート再生モード
⑨ ランダム再生モード

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［モード切替］（SDカードのみ）	再生モード（パソコンで保存したファイルの再生／本機で録音したオーディオファイルの再生）を切り替えます。切り替えたモードの最初のファイルから再生されます。 モードを切り替えると、画面のソース表示も切り替わります。 ・パソコンで保存したファイルの再生：SD ・本機で録音したオーディオファイルの再生：SD 録音データ
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。

つづく➜

ボタン	説明
⏮ / ⏭	前 / 次のファイルを再生します（スキップ）。タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
− / ＋	前 / 次のフォルダを先頭のファイルから再生します。
[リスト]	再生中のファイルの再生リストを表示します。 ・[一つ上]：一つ上の層のフォルダに移動します。
[録音データ編集]	録音データの編集をします。
リピート	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・1曲：再生中のファイルをくり返し再生します。 ・フォルダ：再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。 ・表示なし：リピート再生モードを解除します。
ランダム	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ・ランダム：フォルダ内のファイルをランダムに再生します。 ・表示なし：ランダム再生をしません。

- ジャンルの画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。

録音データのタイトルを編集する

SD カードに録音したデータのタイトル (曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル) を編集することができます。

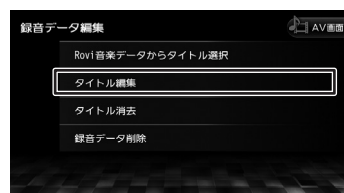
ここまでの手順

ソースを SD に切り替えて（➜ P.67）、
AV 画面を表示する（➜ P.68）

録音データを編集する場合は、SD カードの再生モードを本機で録音したオーディオファイルの再生に切り替えておいてください。(➜ P.88)

1 編集したい曲を再生する

2 [録音データ編集] にタッチする

3 [タイトル編集] にタッチする

再生中の曲リストが表示されます。

4 編集する曲にタッチする

5 編集したい項目にタッチする

曲名：
文字入力の画面が表示されます。

アルバム：
アルバム名にタッチすると確認メッセージが表示されます。

[はい]：
編集するアルバム名をアルバム内全ての曲に反映します。

文字入力の画面が表示されます。

[いいえ]：
アルバム名編集を中止します。

アーティスト：
文字入力の画面が表示されます。
アーティストを編集すると確認メッセージが表示されます。

[はい]：
編集したアーティスト名をアルバム内全ての曲に反映します。

[いいえ]：
編集している曲のみに反映されます。

ジャンル：
リストから選択します。
選択すると確認メッセージが表示されます。

[はい]：
選択したジャンルをアルバム内全ての曲に反映します。

[いいえ]：
編集している曲のみに反映されます。

- 入力可能最大文字数は、曲名 / アルバム / アーティストとも 128 文字です。
- 文字入力については 66 ページをご覧ください。

タイトルを消去する

編集したアルバム内全てのタイトル（曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル）を消去することができます。

1 編集したい曲を再生する

2 [録音データ編集] にタッチする

3 [タイトル消去] にタッチする

確認メッセージが表示されます。

[はい]：
現在の曲を含むアルバム内すべてのタイトルを消去します。

[いいえ]：
消去しません。

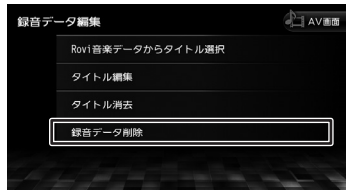
録音データを削除する

SD カードに録音したデータを削除します。

録音データを削除する場合は、事前に SD カードの再生モードを本機で録音したオーディオファイルの再生に切り替えておいてください。(➜ P.88)

ここまでの手順
ソースを SD に切り替えて（➜ P.67）、
AV 画面を表示する（➜ P.68）

1 ［録音データ編集］にタッチする

2 ［録音データ削除］にタッチする

3 削除するデータが入っているアルバムにタッチする

4 削除するデータを選んでタッチする
複数のデータを選択することもできます。

［全て選択］：
すべての曲を選択します。

［全て解除］：
すべての曲の選択を解除します。

5 ［削除］にタッチして、［はい］にタッチする

外部機器（AV-IN）の音声を聴く

この機能は、車両のコンソールボックスなどに AUX 端子が付いている車両で操作することができます。
AUX 端子に接続した外部機器の音声を聴くことができます。

外部機器を接続する

外部機器を車両のコンソールボックスなどにある AUX 端子にφ 3.5 mm ステレオミニプラグコード（市販品）で接続します。

接続した機器の音声を聴く

ここまでの手順
ソースを AV-IN に切り替えて（➜ P.67）、
AV 画面を表示する（➜ P.68）

楽曲情報を取得する

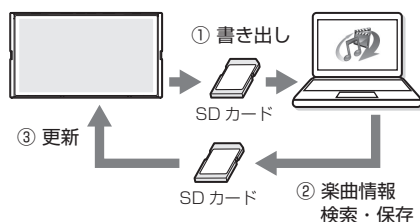
楽曲情報を取得するには

音楽 CD を再生または録音したときに、本機で楽曲情報が表示されない場合、その音楽 CD の楽曲情報を取得して本機で表示できるようにします。

■「KENWOOD Music Info.」から取得する（C9K4 V6 650 のみ）

iPhone または Android 対応のスマートフォンアプリケーション「KENWOOD Music Info.」を使ってインターネット上にある Rovi 音楽データサーバーの楽曲情報データベースにアクセスし、楽曲情報を取得できます。

■ KME-VX4 を使って楽曲情報を更新する（楽曲情報都度更新）

音楽 CD を再生または録音したときに表示されなかった楽曲情報を楽曲管理ソフト「KENWOOD Music Editor-VX4」を使って検索し、SD カードに保存します。本機で読み込んで楽曲情報を表示できるようにします。（➜ P.108）

- この方法では、本機で再生または録音したときに収録されていなかった音楽 CD の楽曲情報のみ更新されます。

KENWOOD Music Info. を使って取得する（C9K4 V6 650）

本機に接続したスマートフォン経由でインターネットから楽曲情報を取得します。

1 App Store または Google Play からアプリケーション「KENWOOD Music Info.」をダウンロードする

2 本機にスマートフォンを接続する

- iPhone/ iPod touch をお使いの場合
  iPhone/ iPod touch を本機に接続する方法は USB 接続と Bluetooth 接続があります。接続については 94 ページをご覧ください。
  Bluetooth 接続ができる iPod/ iPhone は iPod touch 5th generation、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone5、iPhone4s、iPhone4 です。
- Android 搭載スマートフォンをお使いの場合
  Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。（➜ P.139）

あらかじめ本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続していることを確認してください。

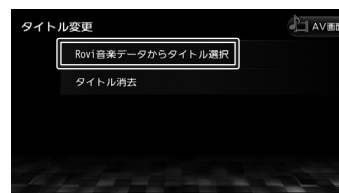
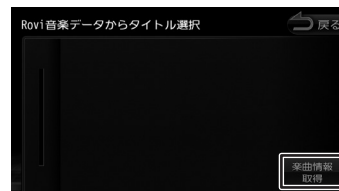
3「KENWOOD Music Info.」を起動する

4 ソースを切り替えて、AV 画面を表示する

- 音楽 CD の楽曲情報を取得するとき：
  ソースを「DISC」に切り替え、AV 画面を表示して再生します。
- 録音した曲の楽曲情報を取得したとき：
  ソースを「SD」に切り替え、AV 画面を表示して情報を取得したい曲を再生します。

5 音楽 CD のとき：
［タイトル変更］にタッチする

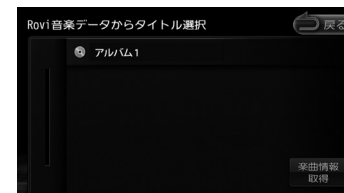
SD カードに録音したデータのとき：
［録音データ編集］にタッチする

6［Rovi 音楽データからタイトル選択］にタッチする

7［楽曲情報取得］にタッチする

確認メッセージが表示されます。

8［はい］にタッチする

確認メッセージは、本機の電源をオンにして情報を取得しようとしたときに一度だけ表示されます。

楽曲情報の取得が完了すると、アルバム名の候補が表示されます。

9 取得したい楽曲情報にタッチする

楽曲情報が変更され、AV 画面が表示されます。

- 取得した楽曲情報を消去するには
  手順 6 の画面を表示して［タイトル消去］にタッチします。

KME-VX4 を使って取得する

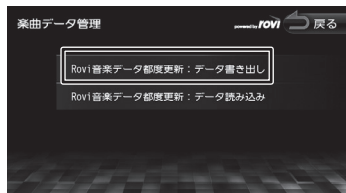
楽曲管理ソフト KME-VX4 で楽曲情報をインターネットから取得して SD カードに書き出し、本機で読み込みます。
KME-VX4 については 90 ページをご覧ください。

楽曲情報書き出し用の SD カードを作成する

本機で情報を表示できなかった音楽 CD の情報を SD カードに保存します。

1 SD カードを本機に挿入する
(➜ P.87)

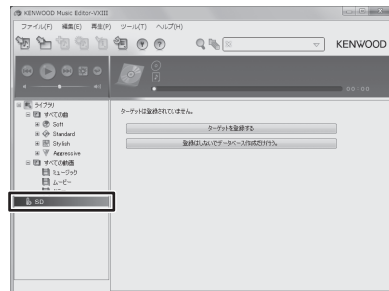
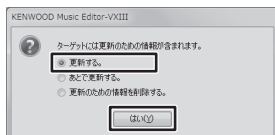
2 「AV 設定」の［楽曲データ管理］にタッチする

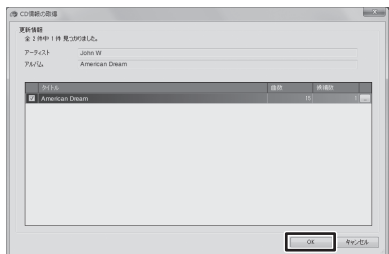
3 ［Rovi 音楽データ都度更新：データ書き出し］にタッチして、［はい］にタッチする

楽曲情報の更新に必要なデータが SD カードに書き出されます。

4 SD カードを本機から取り出す

KME-VX4 で SD カードに楽曲情報を保存する

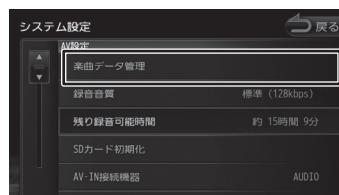
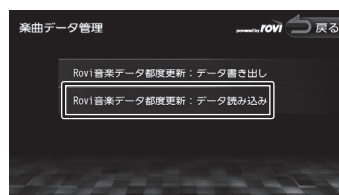
1 楽曲情報書き出し用の SD カードをパソコンにセットし、KME-VX4 を起動する

2 ツリービューに表示された SD カードのアイコンをクリックする

3 「更新する」をチェックし、[はい] をクリックする

インターネット上の Rovi 音楽データサーバーにアクセスして、最新のデータベースから楽曲情報が取得されます。取得が完了すると、CD 情報の取得ダイアログが表示されます。

4 採用する楽曲データにチェックを付け、[OK] をクリックする

5 SD カードをパソコンから取り出す

本機で楽曲情報を読み込む

1 楽曲情報を保存した SD カードを本機に挿入する
(➜ P.87)

2 「AV 設定」の［楽曲データ管理］にタッチする

3 ［Rovi 音楽データ都度更新：データ読み込み］にタッチして、［はい］にタッチする

楽曲情報が本機に読み込まれます。

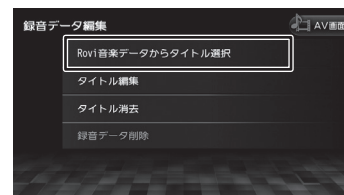
音楽 CD の楽曲情報を取得したときは、楽曲情報を取得した音楽 CD を再生すると楽曲情報が表示されるようになります。

録音した曲の楽曲情報を取得したときは手順 4 ～手順 8 を行ってください。

4 ソースを「SD」に切り替えて AV 画面を表示する

5 楽曲情報を取得したい曲を再生する

6 ［録音データ編集］にタッチする

7 ［Rovi 音楽データからタイトルテキスト選択］にタッチする

8 アルバム情報にタッチする

- 表示されているアルバム名が同じでも、内容が異なる場合があります。

情報・設定メニューについて

情報·設定メニューでは、交通情報、ETC 情報（C9K4 V6 650 のみ）などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

ここまでの手順 情報・設定メニューを表示する 【MENU】【HOME】▶

C9K4 V6 650

C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650

VICS 情報：
FM VICS 情報やビーコン VICS 情報を表示します。（➜ P.111）

接続情報：
本機に接続されている機器の接続状態や GPS の受信状態などを表示します。（➜ P.135）

バージョン情報：
本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。（➜ P.136）

ETC 情報（C9K4 V6 650 のみ）
本機に接続されている ETC 機器の履歴や情報を表示します。（➜ P.153）

ECO 情報：
車のエコドライブ情報を表示します。
（➜ P.118）

ナビ設定
ナビゲーションに関する設定を行います。
（➜ P.120）

サウンド設定
サウンドに関する設定を行います。（➜ P.124）

システム設定
システムに関する設定を行います。（➜ P.130）

Bluetooth 設定：
Bluetooth に関する設定を行います。
（➜ P.142）

VICS情報を見る

VICS 情報とは

VICS（Vehicle Information and Communication System）は、一般財団法人日本道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

VICS 情報の内容と種類

渋滞情報、交通障害情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供される VICS 情報は次の 3 つのレベル（種類）があります。

- **レベル 1（文字型情報）**
  情報が文字で表示されます。
- **レベル 2（簡易図形型情報）**
  情報が進路地図の模式図で表示されます。
- **レベル 3（地図表示型情報）**
  情報がナビゲーション画面の地図上に表示されます。

VICS 情報の提供方法

本機は、FM 多重放送（NHK-FM）、電波ビーコン（2.4GHz）、光ビーコンを通じて、VICS の情報を受信することができます。

- 電波ビーコン（2.4GHz）/ 光ビーコンで送られる VICS 情報を受信するには、VICS ビーコンユニット (C9K2 V6 620 別売）が必要です。

VICS 情報利用上のご注意

以下の点に注意してご利用ください。

■ FM 多重放送

- 各 FM 放送局のサービスエリア内で受信できます。
- サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所（雑音、マルチパスなどによる）では、受信困難になることがあります。
- 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります（情報によっては最大 5 分周期でデータを更新する場合があります）。
- FM 放送時間外は利用できません。

■ 電波ビーコン (2.4GHz)

- 電波ビーコンの発信器は主に高速道路に設置されています。
- 高速道路の高架下の一般道を走行中に、電波ビーコンを受信してしまうことがあります。
- 以下の場合は受信が困難になります。
  - 通信エリア外や外来雑音、大型車並走等で走行環境が良くない
  - ビーコンアンテナ付近に電波を遮断するものがある
  - 法定速度以上で走行している
- 低速で走行中は、反対車線の電波ビーコンを受信してしまうことがあります。

■ 光ビーコン

- 光ビーコンの発信器は主に一般道に設置されています。
- 以下の場合は受信が困難になることがあります。
  - 通信エリア外
  - 雨や雪の影響がある
  - 大型車両の並走などでビーコン発信器の光が遮られた
  - ビーコンアンテナ付近に光ビーコンを遮るものがある
  - アンテナ受光面が汚れている
  - 直射日光がアンテナ受光面に当たっている

■ VICS ビーコン（2.4GHz）情報提供について

VICS ビーコン（2.4GHz）情報提供は、新サービスの開始や路側機の老朽化などに伴い、今後、ITS スポットによる情報提供に移行します。
VICS ビーコン（2.4GHz）によって行われていた情報提供は、より広域な情報及び安全運転を支援する情報が加わり、ITS スポットによって情報提供されます。高速道路においてはすでに ITS スポットが全線に設置されており、平成 24 年 4 月以降に開通する高速道路においては、ITS スポットが設置されます。

地図に表示される VICS 情報

地図表示型（レベル 3）情報の表示

VICS 情報を受信すると、地図画面に表示されます。

① 駐車場情報
赤色：満車
橙色：混雑
青色：空車
黒色：不明

② 渋滞情報
赤色：渋滞
橙色：混雑
水色：順調

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは以下のとおりです。

事故	通行止め閉鎖	大型通行止め	障害物路上障害	チェーン規制	故障車	入口閉鎖	入口制限	イベント	出口制限	火災
凍結	車線規制	車線規制：右側	進入禁止	片側交互通行	駐車場閉鎖	駐車場混雑	駐車場空き	駐車場満車	駐車場不明	SA・PA閉鎖
						背景橙色	背景青色	背景赤色	背景黒色	
SA・PA混雑	SA・PA空き	SA・PA満車	SA・PA不明	その他の規制	工事	徐行	速度規制	対面通行	作業	
背景橙色	背景青色	背景赤色	背景黒色							

- VICS のマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ（http://www.vics.or.jp/）をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM 多重放送による VICS 情報の受信・表示ができない場合があります。
- 地図に表示する VICS 情報は設定することができます。（➜ P.117）
- 地図表示型（レベル 3）情報を表示できる地図の縮尺は 10m ～ 1km です（一般道では 10m ～ 500m です。また、駐車場情報は 10m ～ 200m で表示します）。

地図上の VICS 情報を見る

地図画面に表示された VICS の規制 / 障害情報マークから、詳しい情報を確認します。

1 規制 / 障害マークにタッチする

地点情報表示に規制情報が表示されます。

[切替]：
複数の VICS 情報やランドマークが重なっている場合に表示されます。タッチすると、表示する情報が切り替わります。

2 ［地点情報］にタッチする

3 ［詳細］にタッチする

VICS の詳しい情報が表示されます。

簡易図形型（レベル 2）/ 文字型（レベル 1）情報の割り込み表示

受信した簡易図形型（レベル 2）/ 文字型（レベル 1）情報は、地図画面に割り込み表示されます。

［閉じる］：
割り込み情報表示を閉じます。

：
表示ページを切り替えます。

［図形］/［文字］：
文字型（レベル 1）情報と簡易図形型（レベル 2）情報の表示を切り替えます。

- 文字型情報または簡易図形型情報は、地図以外の画面（メニュー画面や AV 画面など）が表示されているときには、割り込み表示されません。
- FM 多重放送で受信した文字情報および簡易図形情報は、地図画面の［渋滞］にタッチするか、または情報・設定メニュー（➜ P.114）からご覧ください。
- 文字情報、簡易図形情報が割り込み表示しないように設定できます。（➜ P.117）
- 割り込み時間は設定できます。
- 交差点案内図、高速分岐イラストを表示中は割り込み表示しません。

緊急情報の割り込み表示

緊急情報や注意警戒情報は、本機のすべての画面に割り込み表示されます。

［閉じる］：
割り込み情報表示を閉じます。

- VICS 図形情報や文字情報の割り込み表示をオフに設定している場合でも表示されます。
- 緊急情報表示は［閉じる］にタッチするまで表示されます。
- 注意警戒情報表示は、約 15 秒経過すると自動的に消えます。

VICS 図形 / 文字情報を見る

本機で受信した VICS 情報（文字型情報 / 簡易図形型情報）を表示します。

1 表示したい情報にタッチする

［FM 図形情報］/
［FM 文字情報］：
FM-VICS 情報から受信した図形 / 文字情報を表示します。

［ビーコン図形情報］/
［ビーコン文字情報］：
ビーコン VICS 情報から受信した図形 / 文字情報を表示します。

FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示

右側の番号をタッチすると、図形 / 文字情報の詳細情報表示が切り替わります。

■ 図形情報

：
一つ前 / 次の情報に切り替えます。

■ 文字情報

：
一つ前 / 次の情報に切り替えます。

ビーコン VICS 図形情報 / 文字情報の表示

■ 図形情報

：
一つ前 / 次の情報に切り替えます。

■ 文字情報

：
一つ前 / 次の情報に切り替えます。

VICS 局の選局方法を切り替える

FM VICS 局の選局方法（自動選局 / 手動選局）を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

■ 自動選局と手動選局について

- 自動選局
  現在地の都道府県に合わせて、FM VICS 局が自動的に選局されます。広域移動する場合には自動選局のほうが便利です。
- 手動選局
  FM VICS の受信周波数を設定します。設定した周波数以外では VICS 情報を受信できなくなります。
  県境付近を走行中で FM VICS 局を自動変更されたくない場合などに便利です。

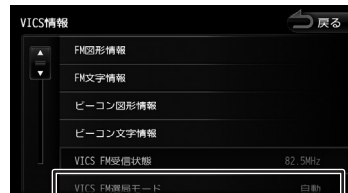
自動選局に設定する

1 [VICS FM 選局モード］にタッチする

2 [自動］にタッチする

［自動］にチェックが付いているときは、自動選局が選択されています。

手動で選局する

1 [VICS FM 選局モード］にタッチする

2 ［自動］にタッチしてチェックを外す

3 ◀ または ▶ にタッチして、受信周波数を設定する

受信する周波数が設定されます。

VICS 情報の表示設定をする

1 「VICS 設定」の設定する項目にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
VICS 情報表示	–	VICS 情報の表示内容について設定します。
図形情報の割り込み表示	ON*/OFF	ビーコンで受信した簡易図形型（レベル 2）情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
文字情報の割り込み表示	ON*/OFF	ビーコンで受信した文字型（レベル 1）情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
割り込み表示の時間	5 秒間 / 10 秒間 / 15 秒間 *	ビーコンで受信した情報の割り込み表示の時間を設定します。

（*：お買い上げ時の設定です。）

- 「図形情報の割り込み表示」、「文字情報の割り込み表示」、「割り込み表示の時間」の設定は、VICSビーコンユニット（C9K2 V6 620 別売）が接続されているときに設定できます。

地図上の VICS 表示方法を設定する

地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

1 「VICS 設定」の［VICS 情報表示］にタッチする

2 表示する項目にタッチする

表示されているリストでは、すべての項目が選択されています。表示しない項目にタッチすると、選択が解除されます。

- ［表示オフ］にタッチするとすべての VICS 情報が表示されなくなります。

● 表示設定項目

項目	説明
渋滞 / 混雑線の表示：高速道	高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線の表示：一般道	一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：高速道	高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：一般道	一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
規制情報の表示	交通規制情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
駐車場情報の表示	駐車場情報を地図上に表示するかどうかを設定します。

ECO情報を確認する

ECO 情報を見る

ホーム画面、現在地図画面でエコドライブ情報を見ることができます。

ECO ドライブ評点

ECO ドライブ評点は、少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100 点満点で表示されます。
e スタート、急加速、急減速および経済速度を判定したときもここに表示されます。

詳細情報を見る

走行状態やアイドリング時間などの運転履歴に基づいて、ECO 度判定や総合評価グラフが表示されます。

1

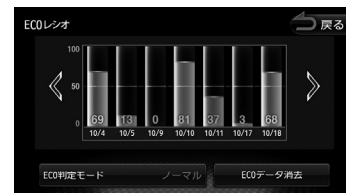
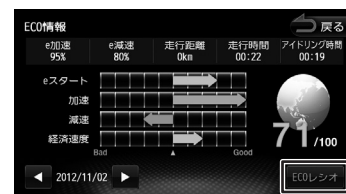
◀ / ▶ ：
現在表示されている情報の 1 日前 /1 日後の情報を表示します。

[ECO レシオ]：
燃費度合グラフを表示します。

評価グラフの各項目の内容は次のとおりです。

- **e スタート**：
  停車状態からのスタートの評価です。急発進の回数が少ないと、高評価となります。
- **加速**：
  加速状態の評価です。急加速の回数が少ないと、高評価となります。
- **減速**：
  減速状態の評価です。急減速の回数が少ないと、高評価となります。
- **経済速度**：
  一定スピード（経済速度）での走行状態の評価です。経済速度を維持して走行すると、高評価となります。

ECO レシオについて

ECO 情報画面で［ECO レシオ］にタッチすると、燃費度合グラフが表示されます。

《 / 》：
グラフ表示を 1 日分スクロールします

[ECO 判定モード]：
ECO 度の判定のモード(ソフト / ノーマル / ハード）を設定します。
ソフト、ノーマル、ハードの順に判定が厳しくなります。（お買い上げ時は「ノーマル」に設定されています)

[ECO データ消去]：
過去の ECO データを消去します。
確認のメッセージで［はい］にタッチすると、ECO データが削除されます。

- ECO 情報で表示される内容は、あくまで目安です。

ナビゲーションの設定をする

本機のナビゲーションに関する項目を設定します。

1 設定する項目にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。
*：お買い上げ時の設定です。

- 「ぬけみちの表示」とは、本機のデータベースに収録されている情報からぬけみちを表示する機能です。
- ぬけみちは、300m 未満のスケールで紫色で表示されます。また、市街地図では表示されません。
- 最適時間を考慮した探索をするには、VICS ビーコンユニット (C9K2 V6 620 別売）が必要です。
- 「ETC 料金の表示」は、別売の対応 ETC 車載器が接続されている場合に設定できます。(C9K4 V6 650 のみ)

● 地図設定

項目	設定	説明
地図色 / 文字サイズ	文字サイズ：小 / 中 */ 大 地図色昼夜切替： 自動 */ 昼色に固定 / 夜色に固定	地図の文字サイズと地図表示の設定をします。(➜ P.122)
ランドマーク表示	―	地図に表示するランドマークを設定します。(➜ P.123)
登録地点表示	―	地図に表示する登録地点を設定します。表示したい登録地点のカテゴリーにタッチします。 もう一度タッチすると選択を解除します。 [表示オフ] にタッチするとすべて表示しません。
自車マーク	*/ /	自車マークのデザインを設定します。
ぬけみちの表示	ON*/OFF	ぬけみちを表示するかどうかを設定します。
走行軌跡の表示	ON*/OFF	走行軌跡を表示するかどうかを設定します。(➜ P.123)
走行軌跡を消去	―	記憶されている走行軌跡を消去します。(➜ P.123)
地図の向き	ヘディングアップ / ノースアップ / 3D ビュー *	地図の向きを設定します。
地図の向き (小画面)	ヘディングアップ / ノースアップ / 3D ビュー *	小画面での地図の向きを設定します。
フライビューマップ表示	ON*/OFF	フライビューマップを表示するかどうかを設定します。
100m 縮尺での市街地図表示	ON*/OFF	100m 縮尺で市街地図を表示するかどうかを設定します。OFF にすると 50m 以下で市街地図が表示されます。

● 案内設定

項目	設定	説明
ナビ案内の音量	1 ～ 10* ～ 20	ナビ案内時の音声の音量を設定します。
ナビ音量の車速連動	ON*/OFF	ナビ音量設定と車速に応じて、ナビ音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF	案内警告音を出力するかどうかを設定します。
ルート案内の音声出力	ON*/OFF	ルート案内時の案内音声を出力するかどうかを設定します。
合流 / 踏切 / 車線案内の音声出力	［常に OFF］: 音声を出力しません。 ［ルート案内時のみ ON］: ルート案内時のみ、音声を出力します。 ［常に ON］*: 音声を出力します。	
ETC 料金の表示 (C9K4 V6 650 のみ)	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 通行料金を地図画面に表示するかどうかを設定します。
レーン情報の表示	ON*/OFF	レーン情報を表示するかどうかを設定します。(➜ P.30)
方面看板の表示	ON*/OFF	方面看板を表示するかどうかを設定します (➜ P.30)
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF	高速道分岐イラストを表示するかどうかを設定します。(➜ P.55)
交差点案内図の表示	ON*/OFF	交差点案内図を表示するかどうかを設定します。(➜ P.55)
ETC レーンの表示	ON*/OFF	料金所に近づいたときに ETC レーン案内を表示するかどうかを設定します。(➜ P.56)
AV 画面中の案内図の表示	ON*/OFF	オーディオ画面中に案内図を表示するかどうかを設定します。

● 探索設定

項目	設定	説明
優先する探索条件	推奨 *、距離、高速、一般、高速 / 距離	優先する探索条件を設定します。(➜ P.51)
スマート IC を利用した探索	ON/OFF*	スマート IC を利用した探索を行うかどうかを設定します。
フェリーを利用した探索	ON/OFF*	フェリーを利用した探索を行うかどうかを設定します。
最適時間を考慮した探索	ON*/OFF	最適時間を考慮した探索を行うかどうかを設定します。 最適時間を考慮した探索をするには、VICS ビーコンユニット (C9K2 V6 620 別売）が必要です。

- **スマート IC では、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。**

● VICS 設定

この設定については、「VICS 情報の表示設定をする」(➜ P.117) をご覧ください。

● その他設定

項目	説明
現在地修正	自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。(➜ P.122)
地図更新プログラム	地図の更新用の SD カードを作成します。(➜ P.137)

地図表示を設定する

地図の文字サイズや地図色など地図表示の設定をします。

1 「地図設定」の［地図色 / 文字サイズ］にタッチする

2 設定したい項目にタッチする

文字サイズ：
小、中、大から文字サイズを設定します。

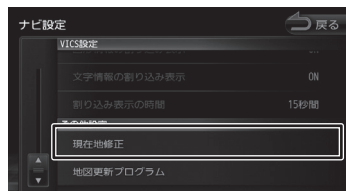
地図色昼夜切替：

- ［自動］：
  車両のライトスイッチに連動して自動的に地図色を切り替えます。(ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色)
- ［昼色に固定］：
  常に昼色の地図を画面に表示します（昼画面）。
- ［夜色に固定］：
  常に夜色の地図を画面に表示します（夜画面）。

- HOME 画面で表示される地図は、昼色 / 夜色の地図色切替がありません。

自車の現在位置を修正する

地図の表示が実際の自車の位置や向きとずれたときに、地図の自車位置と向きを修正します。

1 「その他設定」の［現在地修正］にタッチする

地図が表示されます。

2 地図をスクロールして、自車マークを実際の位置に合わせる（位置を修正）

3 ［向きを修正］にタッチする

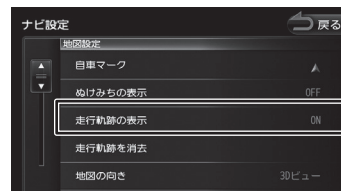
4 または にタッチして、自車の向きを設定する（向きを修正）

5 ［決定］にタッチする

- 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。
- 手順 5 で［決定］にタッチする前なら、［位置を修正］または［向きを修正］にタッチして、何度でも自車位置や向きを修正しなおすことができます。
- 手順 5 で［決定］にタッチする前に［戻る］にタッチすると、修正した自車位置や向きは破棄されて、ナビ設定メニューに戻ります。

走行軌跡表示を設定する

地図画面に走行軌跡を表示するかどうかを設定します。走行軌跡は消去することもできます。

1 「地図設定」の［走行軌跡の表示］にタッチする

［ON］：
走行軌跡を表示します。

［OFF］：
走行軌跡を表示しません。

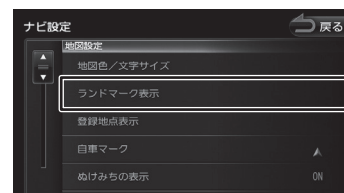
走行軌跡を消去する

1 「地図設定」の［走行軌跡を消去］にタッチして、［はい］にタッチする

- 走行軌跡は、現在地より過去 100km の軌跡が保存されています。100km を超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。
- 「走行軌跡の表示」を“OFF”に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。

地図に表示するランドマークを設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。ランドマークは、200m 以下のスケールで表示されます。

1 「地図設定」の［ランドマーク表示］にタッチする

2 設定するパターンにタッチする

3 表示するランドマークのジャンルにタッチする

タッチするとチェックマークが付きます。もう一度タッチすると、選択が解除されます。

さらにジャンルの分類を選択する場合は、ジャンル名にタッチすると分類が表示されます。設定したい項目にタッチします。

表示させたいパターン（1 ～ 3）にタッチすると、地図上に選択したパターンのランドマークが表示されます。

- ［表示オフ］にタッチするとすべてのランドマークが表示されなくなります。

サウンドの設定をする

音響効果や音質、オーディオ効果など、本機のサウンドに関する項目を設定します。

- Bose® サウンドシステムを「ON」に設定しているときは、次の項目のみ設定できます。
  - サウンドチューニング
    イコライザー
    バランスフェーダー
  - その他設定
    車両タイプ（「システム設定」の「車種」を［選択しない：(車両ナンバーの分類番号)］に設定したときのみ（➜ P.26））
- サウンドの設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ（STANDBY）のときは、サウンドの設定はできません。
- ハンズフリー電話の通話中や発信、着信中はサウンドの設定はできません。

1 設定する項目にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。
*：お買い上げ時の設定です。

● サウンドチューニング

項目	設定	説明
リスニングポジション	–	リスニングポジションを設定します。(➜ P.127)
イコライザー	–	音質を設定します。(➜ P.128)
バランス／フェーダー	–	◀ または ▶ にタッチして左右のバランスを、▲ または ▼ にタッチして前後のバランスを調整することもできます。［センターに戻す］：左右／前後ともに中央になります。

● オーディオ効果

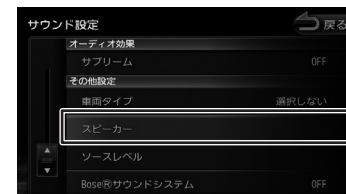
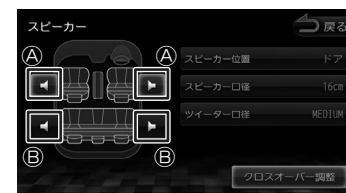
項目	設定	説明
バスブースト	OFF/ LEVEL1*/ LEVEL2/ LEVEL3	低音を増強するレベルを設定します。
スペースエンハンサー	OFF*/ SMALL/ MEDIUM/ LARGE	実際の車室よりも広い仮想空間での音響効果を作り出します。ここでは、仮想空間の広さを設定します。ソースが"TUNER"のときは設定できません。
ラウドネス	OFF*/ LOW/ HIGH	小音量時に不足する低音と高音を補います。ここでは、そのレベルを設定します。
Drive Equalizer +	ON/OFF*	車速と AV 音量に応じて音質を自動で調整します。
エレベーション	OFF*/ LOW/ MIDDLE/ HIGH	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置（高さ）を設定します。
リアライザー	OFF/ LEVEL1*/ LEVEL2/ LEVEL3	ぼけた音をはっきりさせて、よりリアリティ感のある音にします。ここではそのレベルを設定します。圧縮された音楽に効果的です。
サプリーム	ON/OFF*	音声を圧縮したことで失われた情報や変化した波形を元に戻すことで、自然な音を再現します。圧縮された音楽に効果的です。

● その他設定

項目	設定	説明
車両タイプ	–	「システム設定」の［車種］設定を［選択しない：(車両ナンバーの分類番号)］に設定したときに、この項目が表示されます。(➜ P.26)
スピーカー	–	スピーカーの構成を設定します。(➜ P.125)
ソースレベル	–	各 AV ソースの音量をそろえます。(➜ P.129)
Bose® サウンドシステム	ON/OFF*	Bose® 装備車は"ON"に設定します。(➜ P.27)

スピーカー構成を設定する

車両のスピーカー構成を設定します。

1 「その他設定」の［スピーカー］にタッチする

2 設定するスピーカーにタッチする

Ⓐ：フロントスピーカー
Ⓑ：リアスピーカー

3 各項目にタッチして設定する

［スピーカー位置］：
スピーカーの位置を設定します。

［スピーカー口径］：
スピーカーの口径を設定します。フロントスピーカーの口径を設定するときは"なし"には設定できません。

［ツイーター口径］：
ツイーターの口径を設定します。（フロントスピーカーのみ）

- リアスピーカーのスピーカー口径を"なし"に設定している場合は、それぞれのクロスオーバーは調整できません。

スピーカーのクロスオーバー周波数を変更する

フロント / リアスピーカーのクロスオーバー周波数とスロープ（減衰率）、スピーカーレベルを設定します。

1 スピーカー設定画面で、［クロスオーバー調整］にタッチする

2 クロスオーバー周波数を変更するスピーカーにタッチする

3 ◀ または ▶ にタッチして、各項目を設定する

［カットオフ周波数］：
カットする周波数の値を設定します。
"スルー" にすると、機能がオフになります。

［スロープ］：
カットオフ周波数で設定した帯域の音をカットするときの減衰率を設定します。
1 オクターブ（oct）あたりの減衰率を dB で設定します。

［スピーカーレベル］：
スピーカーレベルを設定します。

［ツイーターレベル］：
ツイーターレベルを設定します。
スピーカー設定（➜ P.125）でフロントスピーカーにツイーターの口径が設定されている場合のみ設定できます。

- カットオフ周波数は、指定した周波数よりも低い成分をカットする周波数です。この機能により、低域成分が出力されないようにできます。
- 各スピーカーやツイーターの出力レベルを変えると、トーンカーブ全体が上下に動きます。各スピーカーの出力レベルがそろうように調整します。

リスニングポジションを設定する

車に乗っている人にとってより良い音場になるように、リスニングポジションを選択します。
リスニングポジションを選択すると、最適な DTA（Digital Time Alignment）が設定されます。DTA の値は微調整することもできます。

- ここでの設定を行う前に、車種を設定してください。（➜ P.26）
- DTA とは、実際のリスニングポジションから各スピーカーまでの距離が等しくなるように、スピーカーの仮想位置を調整する機能です。

1 「サウンドチューニング」の［リスニングポジション］にタッチする

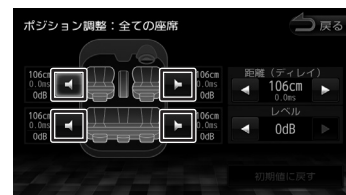
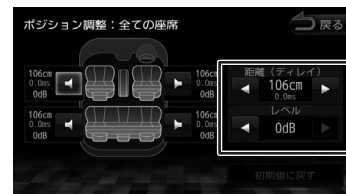
2 設定するリスニングポジションにタッチする

選択したリスニングポジションに合った DTA（Digital Time Alignment）が設定されます。DTA 値は微調整することもできます。

リスニングポジションの DTA を微調整する

実際のリスニングポジションに合わせて、DTA を微調整します。

1 リスニングポジション画面で［ポジション調整］にタッチする

2 調整するスピーカーにタッチする

3 「距離（ディレイ）」または「レベル」の ◀ または ▶ にタッチして調整する

［距離（ディレイ）］：
お使いの車で実際に測った距離を設定します。
リスニングポジションを「全ての座席」または「フロント両座席」に設定している場合はそれぞれの中央からの距離を測ってください。

［レベル］：
実際に音を聴きながら調整します。

［初期値に戻す］：
設定した値を初期設定に戻します。

4 手順 2 と 3 を繰り返して、すべてのスピーカーを設定する

- リアスピーカーのスピーカー口径が "なし" に設定されている場合は、当該スピーカーの DTA は調整できません。（➜ P.125）

プリセットイコライザーを設定する

プリセットイコライザーをソースごとに設定します。
プリセットイコライザーのカーブを変更したり、ユーザー独自のイコライザーカーブを設定することもできます。

- プリセットイコライザーを設定する前に、設定したいソースを選んでください。

1 「サウンドチューニング」の［イコライザー］にタッチする

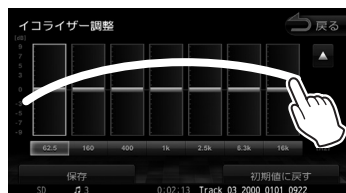
2 設定するプリセットイコライザー（ジャンル）にタッチする

ユーザーイコライザーを設定する

プリセットイコライザーのカーブの変更や、ユーザー独自のイコライザーカーブを設定できます。

1 プリセットイコライザー調整画面で、［イコライザー調整］にタッチする

2 設定したいイコライザーカーブを画面でなぞる

調整する周波数を選んでタッチし、▲ または ▼ にタッチしてレベルを設定することもできます。

［初期値に戻す］：
イコライザーの調整値を初期設定に戻します。

3 ［保存］にタッチする

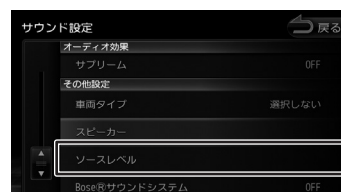
保存するプリセットイコライザーが表示されます。

4 保存先にタッチする

選択したプリセットイコライザーの設定値が変更されます。

ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

1 「その他設定」の［ソースレベル］にタッチする

2 現在のソースの ＋ または － にタッチして、音量を調整する

［初期値に戻す］：
ソースの音量レベルを初期設定に戻します。

- 「音楽 DISC」の音量レベルは固定です。
- 「[iPhone との接続方法] を "Bluetooth"」にしているときは、iPod ソースと BT AUDIO ソースの音量レベル設定は「iPod/BT AUDIO」で調整してください。

システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

1 設定する項目にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。
*：お買い上げ時の設定です。

● AV 設定

項目	設定	説明
楽曲データ管理	–	楽曲データの都度更新をします。(➜ P.106)
録音音質	標準 */ 高音質	音楽 CD から録音するときの録音音質を設定します。(➜ P.99)
残り録音可能時間	–	残りの録音可能時間を確認できます。
SD カード初期化	–	SD カードの初期化を行います。SD カード内のデータは、すべて消去されます。
AV-IN 接続機器	なし / AUDIO*/ VIDEO	なし：AV-IN ソースを使用しないとき AUDIO: 車両のコンソールボックスなどに付いている AUX 端子に接続した機器の音声を聴くときに使用します。 VIDEO: 映像機器を接続したい場合は販売店にご相談ください。
iPhone との接続方法	USB*/ Bluetooth	iPod ソースを使うときの iPhone または iPod touch の接続方法を設定します。(➜ P.94)

● 音量設定

項目	設定	説明
ナビ音声案内時の AV 音量	そのまま / 下げる */ 消音	音声案内時の AV ソースの音量を設定します。
リバース時の AV 音量ダウン	ON*/OFF	バックするときに AV ソースの音量を下げるかどうかを設定します。
スターターボリューム	動作しない */ 更新間隔：速 / 更新間隔：中 / 更新間隔：遅	電源オン時に AV の音量を一定量下げます。 電源オフ時の音量に自動で戻すまでの間隔を設定します。

● 表示設定

項目	設定	説明
画面の明るさ	イルミ OFF： -5 ～ +5* イルミ ON： -5 ～ +1* ～ +5	画面の明るさを調整します。 「イルミ OFF」は車両のライトスイッチがオフのときに、「イルミ ON」はライトスイッチがオンのときに調整してください。
映像画面 / 消灯画面の時計表示	ON*/OFF	映像画面表示中と画面オフ時に時計を表示するかどうかを設定します。 画面オフ中 / 映像表示中以外の画面（現在地図画面など）では、この設定を［OFF］にしても、時計表示を消すことはできません。

● 車両設定

項目	設定	説明
車種	車種の設定については P.26 をご覧ください。	
バックカメラ接続（A9K3 V6 650 のみ）	ON/OFF*	バックモニターカメラを接続しているときは「ON」に設定します。 (➜ P.154)
バックカメラ調整（A9K3 V6 650 のみ）	–	バックモニターカメラのガイド線を調整します。 (➜ P.155)
フロント / サイドカメラ設定（C9K3 V6 650 のみ）	フロントカメラ */ サイドカメラ	フロントまたはサイドカメラを接続しているときに設定します。 (➜ P.156)
パーキングセンサー表示設定（C9K4 V6 650/C9K3 V6 650 のみ）	常に表示 */ リバース ON 時のみ / リバース OFF 時のみ / 表示しない	パーキングセンサーの表示方法を設定します。 (➜ P.161)

- 「パーキングセンサー表示設定」はパーキングセンサーを装着しているときに表示されます。

● その他設定

項目	設定	説明
操作音の音量	0 ～ 3* ～ 5	操作音の音量を設定します。
ショートカットボタン登録	–	現在地図画面に表示されるクイックメニューに機能を割り当てます。 (➜ P.37)
暗証番号登録	–	本機の起動のための暗証番号を設定します。 (➜ P.133)
暗証番号解除	–	設定した暗証番号を解除します。 (➜ P.134)
暗証番号変更	–	設定した暗証番号を変更します。 (➜ P.133)
セキュリティインジケーター（C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650 のみ）	ON/OFF*	ナビの電源をオフにしたときにセキュリティインジケーターを点滅させるかどうかを設定します。
オープンソースライセンス	–	ライセンスを表示します。
設定データの書き出し	–	設定を SD カードに保存します。(➜ P.132)
設定データの読み込み		書き出した設定データを本機に読み込みます。 (➜ P.132)
システムの初期化	–	ユーザーが登録したデータ（登録地点、検索履歴など）を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。

システムを初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
次の項目は、設定を初期化しても削除されません。

- 暗証番号

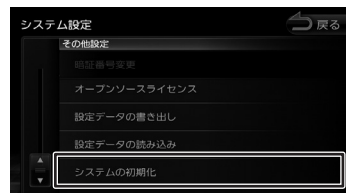
1 「その他設定」の［システムの初期化］にタッチして、［はい］にタッチする

設定を SD カードに保存する

本機の設定を SD カードに保存（書き出し）することができます。
次の項目は、SD カードに保存（書き出し）できない項目です。

- センサーの学習データ
- DVD 設定
- 録音データ
- 暗証番号
-

次の項目は設定データを読み込んだときに初期化される項目です。

- 走行軌跡データ
- ECO データ
- 目的地または経由地の検索履歴
- Bluetooth 機器の登録
- 本機のハンズフリー電話帳 / 着信履歴 / 不在着信履歴 / 発信履歴
- ナビのデバイス名 (Bluetooth)
- PIN コード (Bluetooth)

1 「その他設定」の［設定データの書き出し］にタッチして、［はい］にタッチする

SD カードに保存されると自動で再起動します。

設定データを本機に読み込む

1 「その他設定」の［設定データの読み込み］にタッチして、［はい］にタッチする

読み込みが終了すると自動で再起動します。

暗証番号を設定する

盗難防止対策のための暗証番号を設定します。

暗証番号を設定すると、本機の取り外し、または車のバッテリー交換を行った場合に、ここで設定した暗証番号の入力が必要になります。
正しい暗証番号が入力されないと、本機は起動しません。

- 暗証番号記入欄

1 「その他設定」の［暗証番号登録］にタッチする

2 設定する 4 〜 8 桁の暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

3 もう一度、同じ暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

暗証番号を変更する

暗証番号を変更します。

1 「その他設定」の［暗証番号変更］にタッチする

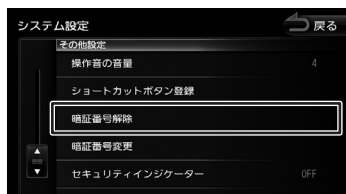
2 現在設定されている暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

3 新しく設定する 4 〜 8 桁の暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

暗証番号を解除する

暗証番号を解除します。

1 「その他設定」の［暗証番号解除］にタッチする

2 現在設定されている暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

現在の暗証番号が解除されます。

接続状態を確認する

本機に接続している各種機器の接続状態を確認します。

1 ［接続情報］にタッチする

接続情報が表示されます。

表示または設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
センサー学習	センサーの学習状態を表示します。［初期化］にタッチすると、センサーの学習を初期化します。
車速パルス	車速パルスの値を表示します。［デジタル］または［アナログ］にタッチすると、パルス入力モードを切り替えます。
GPS	GPS アンテナの接続状態を表示します。正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
リバース	リバース検出コードの接続状態を表示します。
パーキング	パーキング検出コードの接続状態を表示します。
イルミネーション	イルミネーションコードの接続状態を表示します。
ビーコンユニット	VICS ビーコンユニット（C9K2 V6 620 別売）の接続状態を表示します。
パーキングセンサー（C9K4 V6 650／ C9K3 V6 650 のみ）	パーキングセンサーの接続状態を表示します。
バックカメラ	バックモニターカメラの接続状態を表示します。
フロントカメラ	フロントモニターカメラの接続状態を表示します。
サイドカメラ	サイドモニターカメラの接続状態を表示します。
ETC 車載器（C9K4 V6 650 のみ）	ETC 車載器の接続状態を表示します。

- センサーの学習初期化は、タイヤを交換したときなどに使用してください。

■ センサーの学習について

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を元に、自車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。
一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしていますが、タイヤを交換した後、自車位置のずれが大きいようであれば、センサー学習のリセットを行ってください。
センサー学習をリセットした場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習をするには

● GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。

● 障害物 (建物、街路樹など) が少ない場所を走行してください。

- センサー学習中は、自車位置がずれる場合があります。
- GPS アンテナの接続状態や、GPS 情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます。

バージョンを確認する

地図やソフトウェアなど、本機に収録されている
データのバージョンを確認します。

1 ［バージョン情報］にタッチする

バージョン情報が表示されます。

本機の最新情報について

本機をより便利に使っていただくために、地図更新、ファームウェアのバージョンアップ情報などを下記ホームページに掲載しています。

http://www2.jvckenwood.com/products/oem/mazda/

お使いの型名をクリックすると情報が表示されます。

地図更新について

開通した道路情報を更新する

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際に本機の道路情報を更新することができます。詳細 は http://www2.jvckenwood.com/products/oem/mazda/ をご覧ください。

地図を更新する

KENWOOD MapFan Club のサービスとは

本機は MapFan に会員登録すると、地図データを無料で更新することができます。

C9K4 V6 650：
毎年１回、３年間無料で更新できます。

C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650：
３年間で１回無料で更新できます。

無償更新サービスは 2016 年３月～ 2019 年２月までを予定しています。

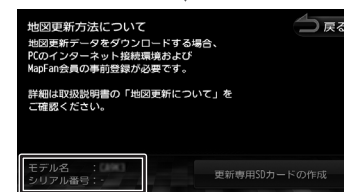
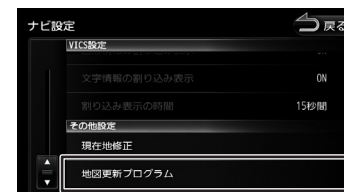
- 地図データの更新にはパソコン通信環境と SDHC カード（8 GB 以上）が別途必要です。

MapFan に登録する

MapFan の登録は Mapfan の WEB サイトから行います。登録には本機のモデル名と製造番号が必要になります。事前にご確認ください。
すでに「MapFan」に登録済みの方は、「カーナビ情報を登録する」(➜ P.138) からカーナビ情報を登録してください。

モデル名と製造番号を確認する

1 ［ナビ設定］にタッチする

2 「その他設定」の［地図更新プログラム］にタッチする

モデル名と製造番号をご確認ください。

会員登録をする

1 MapFan サイトにアクセスする
http://www.mapfan.com/mzd/

2 Step1 MapFan 会員登録のご登録の「新規会員登録（無料）」をクリックする

3 必要な情報を入力する

ここで指定したメールアドレスに、次の手順で必要になる確認メールが送られます。

4 確認メールに記載された URL にアクセスする

5 メールサービスを選択する

「MapFan 会員の登録が完了しました。」と表示されたら会員登録は完了です。

- 登録した MapFan 会員 ID とパスワードは、忘れないようメモして保管してください。

カーナビ情報を登録する

1 MapFan サイトにアクセスする
http://www.mapfan.com/mzd/

2 Step2 カーナビ情報のご登録の「カーナビ情報登録 / ダウンロード ID の確認」をクリックする

3 MapFan の会員 ID とパスワードを入力する

4 カーナビ情報を入力する

カーナビメーカーは「マツダ車ナビ」を選択してください。

モデル名（商品名）、シリアル番号（製造番号）は「モデル名と製造番号を確認する」（➜ P.137）で確認した内容を入力してください。

最初の地図更新は 2016 年 3 月を予定しています。地図更新が可能になりましたら http://www.mapfan.com/mzd/ にてお知らせします。

Bluetooth機器の登録と設定

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。

Bluetooth 接続中アイコン

ハンズフリー通話の画面や Bluetooth オーディオ画面には、Bluetooth 機器の電波の受信状態やバッテリー残量が表示されます。

バッテリー残量

電波の受信状態

- Bluetooth 機器は 5 台まで登録できます。
- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の携帯電話の表示と一致しない場合があります。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、182 ページをご覧ください。
- 本機に Bluetooth 機器を登録（ペアリング）するときに、本機で他の Bluetooth 機器を接続しているときは、接続を解除してから行ってください。

Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。
本機は Bluetooth Ver.2.1+EDR のセキュアシンプルペアリングに対応しています。

- iPhone/iPod touch を登録する場合は、141 ページをご覧ください。
- 手順 2 で Bluetooth 機器から本機を選ぶときの名前を変えることができます。（➜ P.144）

1 **登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする**

2 **Bluetooth 機器で“C9K4”または“CA9K3”を選ぶ**

Bluetooth 機器により、次のどちらかの画面が表示されます。

Bluetooth 機器側で PIN コードまたは入力画面が表示された場合

140 ページの「A」に進みます。

パスキーまたは PIN コードを確認する画面が表示された場合

140 ページの「B」に進みます。

つづく➜

A 表示された本機の PIN コードを Bluetooth 機器に入力する

初期設定は“0000”に設定されています。

Bluetooth 機器によっては、PIN コードを入力するときに、この画面が表示されていないことがあります。

その場合は、本機の PIN コードを確認してから Bluetooth 機器に入力してください。

PIN コードは、「Bluetooth 設定」から確認できます。（➜ P.142）

A2DP に対応している機器の場合は「この Bluetooth 機器と BT Audio/ アプリケーション連携接続しますか？」と表示されます。

[はい]：
ハンズフリー接続、BT AUDIO 再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

[いいえ]：
ハンズフリー接続のみとなります。

▼

登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。

関連キーワード

● A2DP
「Bluetooth について」をご覧ください。（➜ P.182）

B デバイス名とパスキーを確認し、[はい] にタッチする

Bluetooth 機器の登録がはじまります。Bluetooth 機器によっては、デバイス名またはパスキーのみが表示され、自動的に登録がはじまるものがあります。

▼

A2DP に対応している機器の場合は「この Bluetooth 機器と BT Audio/ アプリケーション連携接続しますか？」と表示されます。

[はい]：
ハンズフリー接続、BT AUDIO 再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

[いいえ]：
ハンズフリー接続のみとなります。

登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。

オートペアリング機能で登録する

iPhone または iPod touch を本機に USB 接続すると、オートペアリングの機能がはたらき、簡単に iPhone または iPod touch を登録できます。オートペアリング機能は、Bluetooth 設定でオフにすることもできます。（➜ P.142）

- iOS4 以下には対応していません。139 ページの登録方法で登録してください。
- iOS5 以上でも登録ができない場合は 139 ページの登録方法で登録してください。

1 iPhone または iPod touch の Bluetooth 設定をオンにする

2 iPhone または iPod touch を USB ケーブルで接続する

接続方法は 94 ページをご覧ください。
本機に次の画面が表示されます。

3 デバイス名とパスキーを確認し、[はい] にタッチする

▼

A2DP に対応している機器の場合は「この Bluetooth 機器と BT Audio/ アプリケーション連携接続しますか？」と表示されます。

[はい]：
ハンズフリー接続、BT AUDIO 再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

[いいえ]：
ハンズフリー接続のみとなります。

▼

登録と接続が完了すると、本機の画面に BT アイコンが表示されます。

- オートペアリング機能をオフにして本機に登録する場合は、139 ページの手順 1 から行ってください。
- オートペアリング機能を使って登録した場合は、iPhone または iPod touch で表示される本機のデバイス名は“GPS Navigation System”となります。
- システム設定の [iPhone との接続方法]（➜ P.94）が "USB" 以外に設定されているとオートペアリングでの登録はできません。

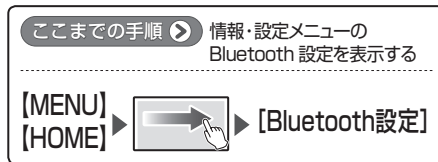
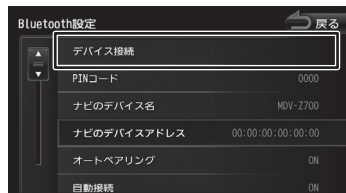
Bluetooth の設定をする

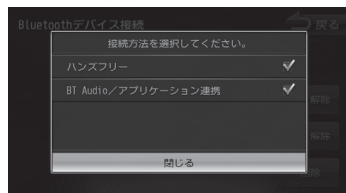
1 [Bluetooth 設定] にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。
(*：お買い上げ時の設定です。)

項目	設定	説明
デバイス接続	−	本機に Bluetooth 機器を接続します。 (➜ P.142)
PIN コード	−	現在の PIN コードが表示されます。また、本機の PIN コードを変更します。 (➜ P.144)
ナビのデバイス名	−	本機のデバイス名を変更します。(➜ P.144)
ナビのデバイスアドレス	−	本機のデバイスアドレスが表示されます。
オートペアリング	ON*/ OFF	オートペアリング機能を設定します。
自動接続	ON*/ OFF	本機の電源がオンになったときに、前回接続した Bluetooth 機器と自動的に接続します。
着信の自動応答	ON/ OFF*	着信時に、自動的に通話可能になります。 [OFF]： ユーザーが にタッチするまで通話できません。

登録した機器を接続 / 解除する

Bluetooth 機器を接続する

1 [デバイス接続] にタッチする

2 接続する Bluetooth 機器にタッチする

3 接続する種別にタッチする

ハンズフリー：

ハンズフリー電話を使用します。

BT Audio/ アプリケーション連携

BT AUDIO 再生と本機対応のスマートフォン連携アプリを Bluetooth 接続で使用します。

接続方法を選択すると機器にアイコンが表示されます。

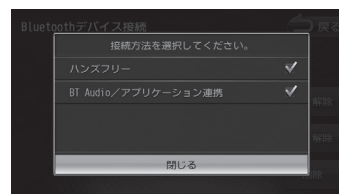
：ハンズフリー接続

：BT Audio/ アプリケーション連携接続

- Bluetooth 機器を複数登録している場合、BT Audio/ アプリケーション連携接続はそれぞれ一台まで設定できます。接続する機器を切り替えたい場合は接続したい機器の接続種別を選び直してください。

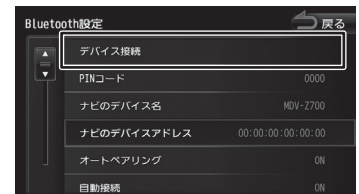
Bluetooth 機器の接続を解除する

1 「Bluetooth 機器を接続する」の手順 2 で解除したい Bluetooth 機器にタッチする

2 チェックマークにタッチする

チェックマークがすべて外れていれば、接続を解除することになります。

登録した機器を削除する

本機に登録した Bluetooth 機器を削除します。

1 [デバイス接続] にタッチする

2 [削除] にタッチする

3 削除する Bluetooth 機器を選んでタッチし、[削除] にタッチする

複数選択することもできます。

[全て選択]：
リスト内のすべての機器を選択します。

[全て解除]：
リスト内のすべての機器の選択を解除します。

4 [はい] にタッチする

選択した機器が削除されます。

PIN コードを変更する

接続する Bluetooth 機器に合わせて、本機の PIN コードを変更できます。

1 ［PIN コード］にタッチする

2 PIN コードを入力して［決定］にタッチする

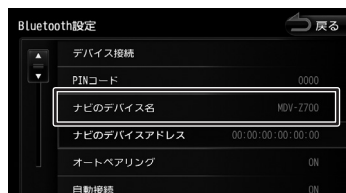
PIN コードが変更されます。

：
カーソルの前にある文字を消去します。

- 入力できる PIN コードは 4 桁です。

本機のデバイス名を変更する

本機に Bluetooth 機器を登録（ペアリング）するときに選択するデバイス名を変更することができます。
オートペアリング機能（➜ P.141）で登録する場合は名前を変更しても機器側に表示される本機のデバイス名は GPS Navigation System となります。

1 ［ナビのデバイス名］にタッチする

2 デバイス名を入力して［決定］にタッチする

デバイス名が変更されます。

［小文字］：
アルファベットの小文字を入力できます。

- デバイス名は 20 文字まで入力できます。入力できる文字はアルファベット（大文字、小文字）と数字のみです。

ハンズフリーを使う

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。

電話メニューを表示する

1 画面右下から中央に向かってドラッグまたはフリックする

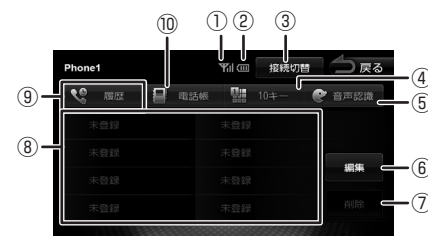
電話メニュー小画面が表示されます。

2 ［電話メニュー］にタッチする

［音声認識］：
スマートフォンの音声機能を起動します。

▼

電話メニューが表示されます。

電話メニューの見かたと操作

① **電波受信状態**
接続した Bluetooth 機器の電波受信状態が表示されます。

② **バッテリー残量**
接続した Bluetooth 機器のバッテリー残量が表示されます。

③ **［接続切替］**
Bluetooth デバイス接続画面を表示します。（➜ P.142）

④ **［10 キー］**
電話番号を入力します。（➜ P.150）

⑤ **［音声認識］**
スマートフォンの音声機能を使って電話をかけます。

⑥ **［編集］**
プリセットダイヤルに電話番号を登録します。（➜ P.147）

⑦ **［削除］**
プリセットダイヤルに登録された電話番号を削除します。（➜ P.147）

⑧ **プリセットダイヤル 1 ～ 8**
プリセットに登録された番号に発信します。（➜ P.146）

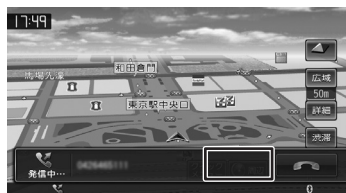
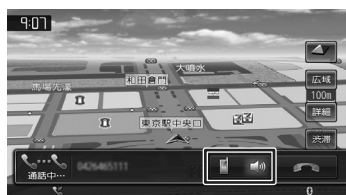
⑨ **［履歴］**
発信、着信、不在着信履歴から発信したり、履歴を削除することができます。（➜ P.148）

⑩ **［電話帳］**
電話帳を表示します。（➜ P.149）

- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の Bluetooth 機器の表示と一致しない場合があります。

ハンズフリーで電話を受ける / 切る

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

1 にタッチする

（通話終了）：
着信を拒否します。

：
プライベート通話（携帯電話）とハンズフリー通話を切り替えます。

- 着信画面が表示されているときに着信画面を右にフリックすると消すことができます。
  もう一度表示させるには画面右下から中央に向かってフリックします。

2 通話が終わったら、 にタッチする

関連キーワード

● 着信の自動応答
着信したときに自動で電話を受けるように設定できます。（➜ P.142）

● 通話音量
ハンズフリー通話時の受話音量は、AV の音量と独立して調整できます。（➜ P.19、P.21）

プリセットダイヤルを使う

プリセットダイヤルから電話をかける

プリセットダイヤルに登録された電話番号に発信します。
あらかじめプリセットダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。（➜ P.147）

1 発信するダイヤルにタッチする

選択した電話番号に発信されます。

■ **電話メニュー小画面のプリセットダイヤルを使う場合**

電話メニュー小画面に表示されるプリセットダイヤルにタッチして電話をかけることもできます。

プリセットダイヤルに電話番号を登録する

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。

1 ［編集］にタッチする

2 登録するプリセットにタッチする

3 登録方法にタッチし、電話番号を登録する

［電話帳から登録］：
登録する電話番号を電話帳から選んでタッチします。

［10 キーで登録］：
電話番号を入力し、［登録］にタッチします。

プリセットダイヤルの登録を削除する

プリセットダイヤルに登録されている電話番号を削除します。

1 ［削除］にタッチする

2 削除するプリセットダイヤルを選んでタッチし、［削除］にタッチする

複数選択することもできます。

［全て選択］：
すべてのプリセットダイヤルを選択します。

［全て解除］：
すべての選択を解除します。

3 ［はい］にタッチする

選択したプリセットダイヤルが削除されます。

履歴から電話をかける

発信、着信、不在着信履歴から電話をかけます。また、履歴を削除することもできます。

ここまでの手順 電話メニューを表示する

1 [履歴]にタッチする

2 [発信履歴]/[着信履歴]/[不在着信履歴]のいずれかにタッチする

3 発信する履歴にタッチして、[はい]にタッチする

:

PBAP 対応の機器は、機器の履歴と本機の履歴を切り替えることができます。

▼

選択した電話番号に発信されます。

PBAP 対応機器の履歴について

PBAP 対応機器の履歴は本機とハンズフリー接続を開始してから約 90 秒後に自動で本機に読み込まれます。

- [iPhone との接続方法] が“Bluetooth”に設定(➜ P.94)されていて、iPod ソースが選ばれているときは読み込みできません。
- 履歴読み込み中は iPod ソースに切り替えることができません。
- 履歴読み込み中はカーナビ連携スマホアプリケーションは切断されます。

本機の履歴を削除する

本機に登録されている発信、着信、不在着信履歴を削除します。

1 削除したい履歴画面を表示して にタッチして「履歴:ナビ」にする

2 [削除]にタッチする

3 削除する履歴にタッチし、[削除]にタッチする

[全て選択]:
すべての履歴を選択します。

[全て解除]:
すべての選択を解除します。

4 [はい]にタッチする
選択した履歴が削除されます。

電話帳から電話をかける

電話帳から電話番号を選んで発信します。

1 [電話帳]にタッチする

2 発信する相手にタッチして、[はい]にタッチする

:

PBAP 対応の機器は、機器の電話帳と本機の電話帳を切り替えることができます。

▼

選択した電話番号に発信されます。

PBAP 対応機器の電話帳について

PBAP 対応機器の電話帳は本機とハンズフリー接続を開始してから約 90 秒後に自動で本機に読み込まれます。(最大 5000 件)

- [iPhone との接続方法] が“Bluetooth”に設定(➜ P.94)されていて、iPod ソースが選ばれているときは読み込みできません。
- 電話帳読み込み中は iPod ソースに切り替えることができません。
- 電話帳読み込み中はカーナビ連携スマホアプリケーションは切断されます。

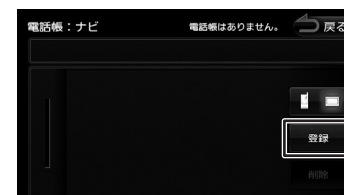
OPP 対応機器の電話帳を登録 / 削除する

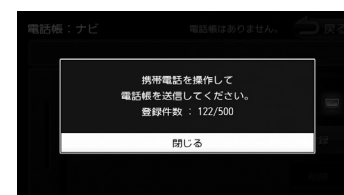
OPP 対応の携帯電話またはスマートフォンの電話帳から、本機に電話帳データを登録します。(最大 500 件)
本機に登録した電話帳は削除することもできます。

■ **電話帳を登録する**

1 [電話帳]にタッチして電話帳を表示する

2 にタッチして「電話帳:ナビ」にする

3 [登録]にタッチする

4 携帯電話またはスマートフォンを操作して、本機に登録する電話帳データを送信する
電話帳の送信方法は、お使いの携帯電話またはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

5 送信が終了したら、[閉じる]にタッチする

- 電話帳登録中はカーナビ連携スマホアプリケーションは切断されます。
- 登録中は電話の発着信はできません。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

■ **電話帳を削除する**

1 ［電話帳］にタッチして電話帳を表示する

2 にタッチして「電話帳：ナビ」にする

3 ［削除］にタッチする

4 削除する電話番号を選んでタッチし、［削除］にタッチする

複数選択することもできます。

［全て選択］：
すべての電話番号を選択します。

［全て解除］：
すべての選択を解除します。

5 ［はい］にタッチする

選択した電話番号が削除されます。

関連キーワード

● PBAP/OPP
「Bluetooth について」をご覧ください。
（➜ P.182）

ダイヤルして電話をかける

1 ［10 キー］にタッチする

2 電話番号を入力して、 にタッチする

3 ［はい］にタッチする

入力した電話番号に発信されます。

地点情報メニューから電話をかける

地点検索した場所に電話を発信します。

ここまでの手順 地点の詳細情報画面を表示する（➜ P.34）

1 にタッチして、［はい］にタッチする

電話が発信されます。

・ 地点情報に電話番号が表示されていない場合は、発信できません。

音声機能で電話をかける

スマートフォンの音声機能を使って電話をかけることができます。

1 ［音声認識］にタッチする

スマートフォンの音声機能が起動します。

2 電話番号または電話帳の名前を話す

［開始］：
音声を認識できる状態にします

［終了］：
音声機能を終了します。

・ スマートフォンが音声機能に対応していない場合は、使用できません。
・ スマートフォンの機種によっては、電話をかける動作ができない場合があります。

パネルスイッチの操作（C9K4 V6 650、C9K3 V6 650 のみ）

【MUTE】：
押し続けると音声機能を起動 / 終了します。

・ C9K3 V6 650 は純正ナビゲーションシステム用パネルスイッチを装着している場合のみ操作ができます。
・ スマートフォンの音声機能起動中に音声が認識しないときは、【MUTE】を押してください。

Bluetoothオーディオ機器を再生する

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機で再生することができます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを BT AUDIO に切り替えて（➜ P.67）、AV 画面を表示する（➜ P.68）

① ファイル番号

② アーティスト名

③ アルバム名

④ 曲名

⑤ デバイス名 / バッテリー残量

⑥ 再生時間 / 総再生時間

⑦ リピート再生モード

⑧ ランダム再生モード

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替]	接続する Bluetooth 機器を切り替えます。（➜ P.142）
▶ / ⏸	再生と一時停止（ポーズ）をします。
⏮ / ⏭	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生リストを表示します。
🔁	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
🔀	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。

- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報を表示できない場合があります。また、再生方法 (スキップ操作やランダム再生モード切替など) を操作できない場合があります。
- バッテリー残量は、実際の Bluetooth 対応機器の表示と一致しない場合があります。

関連キーワード

● 本機への登録（ペアリング）
Bluetooth 機器の登録や接続については「Bluetooth 機器を登録する」をご覧ください。（➜ P.139）

● 対応プロファイル
「Bluetooth について」をご覧ください。（➜ P.182）

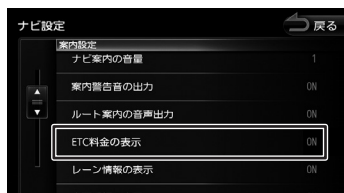
ETC車載器を使う(C9K4 V6 650のみ)

ETC 情報について

ETC（Electronic Toll Collection System）は、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過する際に発生する渋滞を緩和するためのシステムです。

・ 本機で ETC 機能をご使用になる場合は、別売品の ETC 車載器が必要です。

料金表示を設定する

1 「案内設定」の［ETC 料金の表示］にタッチする

［ON］：
ETC 料金を表示します。

［OFF］：
ETC 料金を表示しません。

ETC 履歴 / 車載器情報を見る

本機で使用した ETC の利用履歴や登録情報を確認できます。

1 ［ETC 情報］にタッチする

［車載器情報］：
車載器の情報を表示します。

・ ETC の利用履歴は、100 件まで表示されます。
・ 履歴情報は、ETC カード挿入時のみ表示されます。

バックモニターカメラを使う

本機は、別売のバックモニターカメラを接続することができます。

説明で使用している画面はイメージです。本機で実際に表示したカメラ映像とは異なります。

バックモニターカメラを設定する（A9K3 V6 650 のみ）

バックモニターカメラの設定は A9K3 V6 650 でバックモニターカメラを接続するときに設定してください。

1 「車両設定」の［バックカメラ接続］にタッチする

［ON］：
バックモニターカメラを接続します。

［OFF］：
バックモニターカメラを接続しません。

バックモニターカメラの映像を表示する

カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

- **バックカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。**

1 シフトレバーを“R”（リバース）にする

▼

バックモニターカメラの映像が表示されます。

- シフトレバーを“R”（リバース）以外にするとバックモニターカメラの表示は解除されます。
- ［サイドカメラ］はサイドモニターカメラを接続しているときに表示されます。

バックモニターカメラ操作ボタンを使う

バックモニターカメラ映像にタッチすると、バックモニターカメラ操作ボタンが表示されます。

［非表示］：
バックモニターカメラ操作ボタンを消します。

［調整］：
バックモニターカメラ映像の画質を調整します。（➜ P.69）

［サイドカメラ］：
サイドモニターカメラの映像を表示します。

［擬似バンパー］：
擬似バンパーを表示します。もう一度タッチすると擬似バンパーが消えます。

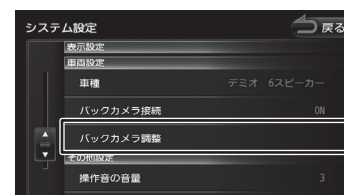
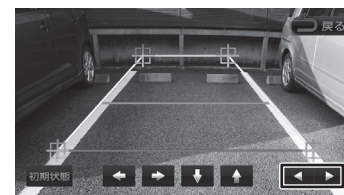
［ガイド線］：
バックモニターカメラ映像にガイド線を表示します。もう一度タッチすると、ガイド線が消えます。

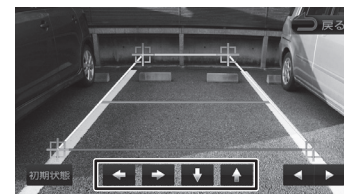
［戻る］：
バックモニターカメラの映像を表示する前の画面に戻ります。

- ［擬似バンパー］は、擬似バンパー表示機能に対応している車種のみ表示されます。
- ［サイドカメラ］はサイドモニターカメラを接続していると表示されます。

バックモニターカメラのガイド線を調整する

バックモニターカメラ映像に表示されるガイド線の位置を調整します。

1 「車両設定」の［バックカメラ調整］にタッチする

2 ◀ または ▶ にタッチして、調整するカーソル（⊕）を選択する

3 カーソル（⊕）の位置を調整する

⬅/➡/⬆/⬇ にタッチして、ガイド線の位置を調整します。

［初期状態］：
ガイド線の位置を初期状態に戻します。

フロントモニターカメラ/サイドモニターカメラを使う (C9K4 V6 650/C9K3 V6 650のみ)

本機に別売のフロントモニターカメラまたはサイドモニターカメラを接続することができます。

説明で使用している画面はイメージです。本機で実際に表示したカメラ映像とは異なります。

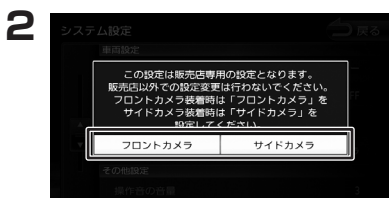
カメラを設定する（C9K3 V6 650 のみ）

カメラの設定は C9K3 V6 650 でフロントまたはサイドカメラを接続するときに設定します。この設定は販売店専用の設定です。販売店以外でこの設定変更は行わないでください。

ここまでの手順 情報・設定メニューの システム設定を表示する

【MENU】【HOME】▶ ▶［システム設定］

1 「車両設定」の［フロント / サイドカメラ設定］にタッチする

2

［フロントカメラ］：
フロントカメラを接続したときに設定します。

［サイドカメラ］：
サイドカメラを接続したときに設定します。

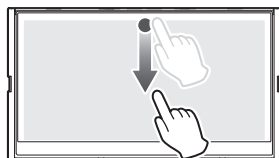
フロントモニターカメラの映像を表示する

本機に接続したフロントモニターカメラの映像を表示します。

- ［フロントカメラ］は車両が低速になると押せるようになります。
- フロントモニターカメラの映像は、車両の速度が上がると自動で解除されます。

1 画面上部から中央に向かってドラッグまたはフリックする

2 ［フロントカメラ］にタッチする

▼

フロントモニターカメラの映像が表示されます。

- ［サイドカメラ］はサイドモニターカメラとフロントモニターカメラを接続しているときに表示されます。

フロントモニターカメラ操作ボタンを使う

フロントモニターカメラ映像にタッチすると、操作ボタンが表示されます。

［非表示］：
フロントモニターカメラ操作ボタンを消します。

［調整］：
フロントモニターカメラ映像の画質を調整します。（➜ P.69）

［戻る］：
フロントモニターカメラの映像を表示する前の画面に戻ります。

［サイドカメラ］：
サイドモニターカメラに切り替えます。

- ［サイドカメラ］はサイドモニターカメラとフロントモニターカメラを接続しているときに表示されます。

サイドモニターカメラの映像を表示する

本機に接続したサイドモニターカメラの映像を表示します。サイドモニターカメラのみ接続している場合と、フロントモニターカメラとサイドモニターカメラを接続している場合でサイドモニターカメラの映像を表示する方法が異なります。

- ［サイドカメラ］は車両が低速になると押せるようになります。
- サイドモニターカメラの映像は、車両の速度が上がると自動で解除されます。
- バックモニターカメラまたはフロントモニターカメラを接続しているときはバックモニターカメラまたはフロントモニターカメラ操作ボタンで表示される［ サイドカメラ ］にタッチしてもサイドモニターカメラ映像に切り替えることができます。
- サイドモニターカメラの映像は法規上ナビゲーションのモニターに表示できない車両があります。

■ サイドモニターカメラのみ接続しているとき

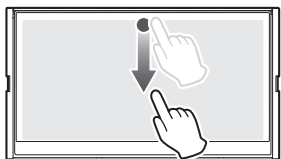
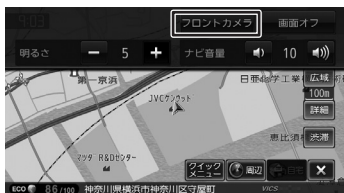
1 画面上部から中央に向かってドラッグまたはフリックする

2 ［サイドカメラ］にタッチする

▼

サイドモニターカメラの映像が表示されます。

■ **サイドモニターカメラとフロントモニターカメラを接続しているとき**

1 画面上部から中央に向かってドラッグまたはフリックする

2 ［フロントカメラ］にタッチする

フロントモニターカメラの映像が表示されます。

3 ［サイドカメラ］にタッチする

サイドモニターカメラの映像が表示されます。

- ［フロントカメラ］はタッチすると、フロントモニターカメラの映像を表示します。

サイドモニターカメラ操作ボタンを使う

サイドモニターカメラ映像にタッチすると、操作ボタンが表示されます。

［非表示］：
サイドモニターカメラ操作ボタンを消します。

［調整］：
サイドモニターカメラ映像の画質を調整します。（➜ P.69）

［戻る］：
サイドモニターカメラの映像を表示する前の画面に戻ります。

ステアリングリモコンを使う

お使いのお車がステアリングリモコンを装着していると、ステアリングリモコンから本機を操作することができます。

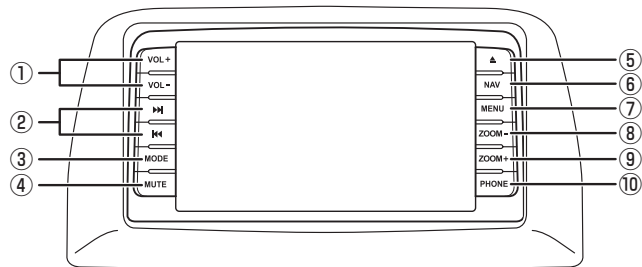
キーのはたらき

キー	はたらき
MODE	・押すたびに AV ソースを切り替えます。 ［iPod］→［USB］→［SD］→［BT AUDIO］→［地デジ］→［TUNER］→［DISC］→［AV-IN］の順で切り替わります。 機器が接続されていない場合など、選択できないソースはスキップします。 ・押し続けると選択している AV ソースの AV 画面を表示します。
⏮ ⏭	・ラジオ、地デジ： プリセットした放送局を切り替えます。 押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 ・CD、DVD、iPod、オーディオ / ビデオファイル（SD カード、USB 機器）/BT AUDIO： 前 / 次の曲またはファイルを再生します。 押し続けると、早送り / 早戻しします。
🔇	AV、ハンズフリー通話の音量を下げます。もう一度押すと音が出るようになります。
🔈 (VOL)+/–	AV、ハンズフリー通話の音量を調整します。

- ステアリングリモコンに設置されるキーは車種によって異なります。
- 音量を上げるキーを押し続けると連続して音量値が 25 まで上がります。

純正ナビゲーションシステム用パネルスイッチを使う（C9K3 V6 650 のみ）

お使いのお車が純正ナビゲーションシステム用パネルスイッチを装着していると、純正ナビゲーションシステム用パネルスイッチから本機を操作することができます。

キーのはたらき

① ［VOL+/VOL −］キー
AV、ハンズフリー通話の音量を調整します。

- ［VOL+］を押し続けると、連続して音量値が 25 まで上がります。

② ［⏮ ⏭］キー
- ラジオ、地デジ：
  プリセットした放送局を切り替えます。
  押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
- CD、DVD、iPod、オーディオ / ビデオファイル（SD カード、USB 機器）/BT AUDIO：
  前 / 次の曲またはファイルを再生します。
  押し続けると、早送り / 早戻しします。

③ ［MODE］キー
押すたびに AV ソースを切り替えます。
［iPod］→［USB］→［SD］→
［BT AUDIO］→［地デジ］→［TUNER］→
［DISC］→［AV-IN］の順で切り替わります。
機器が接続されていない場合など、選択できないソースはスキップします。
押し続けると、選択している AV ソースの AV 画面を表示します。

④ ［MUTE］キー
AV、ハンズフリー通話の音量を下げます。
もう一度押すと音が出るようになります。

⑤ ［▲］キー
フロントパネルの角度調整やディスク、SD カードの出し入れを行うためのメニューを表示します。

⑥ ［NAV］キー
現在地画面を表示します。
押し続けると、画面表示をオフにします。

⑦ ［MENU］キー
HOME 画面を表示します。
押し続けると、目的地検索メニューを表示します。

⑧ ［ZOOM −］キー
押すたびに地図を広域表示します。
押し続けると、連続して広域表示になります。

⑨ ［ZOOM+］キー
押すたびに地図を詳細表示します。
押し続けると、連続して詳細表示になります。

⑩ ［PHONE］キー
- 着信時：
  電話を受けることができます。
  押し続けると、着信を拒否します。
- 通話中：
  押すたびにプライベート通話とハンズフリー通話を切り替えます。
  押し続けると、電話を切ります。

パーキングセンサーの設定をする（パーキングセンサー装着車）

本機では、パーキングセンサーが障害物を検知したときに検知したコーナー位置と障害物までの距離をイラストと色で表示します。

表示方法を設定する

ここまでの手順 ＞ 情報・設定メニューのシステム設定を表示する
【MENU】【HOME】▶ ▶［システム設定］

1 「車両設定」の［パーキングセンサー表示設定］にタッチする

［常に表示］：
パーキングセンサーが障害物を検知したときはいつでも表示します。

［リバース ON 時］：
シフトレバーを”R”にしたときで、パーキングセンサーが障害物を検知したときに表示します。

［リバース OFF 時］：
シフトレバーを”R”以外にしたときで、パーキングセンサーが障害物を検知したときに表示します。

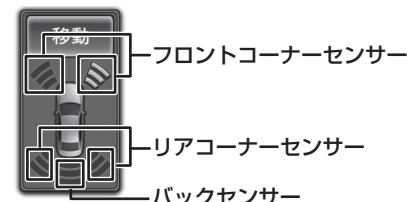
［表示しない］：
表示しません。

表示位置を移動する

パーキングセンサーの表示位置を移動することができます。

1 ［移動］にタッチする

タッチするたびに表示が移動します。

■ パーキングセンサーの色表示について

- フロントコーナーセンサー / リアコーナーセンサー

車両と障害物の距離	表示色
約 60 ～ 45cm	緑
約 45 ～ 30cm	黄
約 30cm 未満	赤

- バックセンサー

車両と障害物の距離	表示色
約 150 ～ 100cm	緑
約 100 ～ 50cm	黄
約 50cm 未満	赤

- センサーが接続されていない、通電不良、センサー故障の場合は、パーキングセンサー表示にが表示されます。が表示されたときはお買い上げの販売店にご相談ください。

自車位置の測位精度について

マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。

マップマッチングしていない場合

マップマッチングしている場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

3D センサーについて（C9K4 V6 650 のみ）

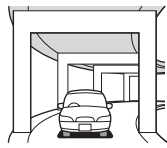
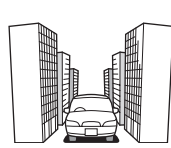
内蔵の 3D センサーによって、道路傾斜や自車の高さの変化を測定しています。これにより、ランプ等で道路が上下に分離したときに、地図データの高さ情報をもとに、どちらにいるかを判定します。
高さ情報があるのは、高速道路 / 国道 / 県道などの全国主要道です。高さ情報がないところでは、判定されません。高さ情報があるところでも、道路形状や走行状況によっては、正しく判定できないことがあります。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

1）次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。

トンネルの中やビル内の駐車場

2 層構造の高速道路の下

高層ビルの群衆地帯

密集した樹木の間

2）GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができないことがあります。

3）3 基以下の GPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位ができないことがあります。

4）GPS アンテナにペンキや車のワックスを塗った場合は、電波の感度が低下したり、電波を受信できなくなり、GPS による測位ができないことがあります。
GPS アンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。また、アンテナやアンテナ付近に雪が積もっている場合も電波の感度が低下します。雪が積もったときは、雪を取り除いてください。

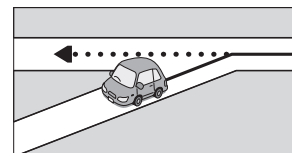
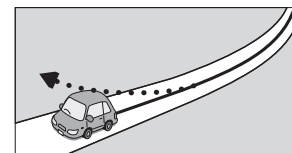
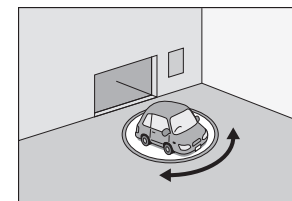
■ GPS 衛星自体の原因により生じる誤差について

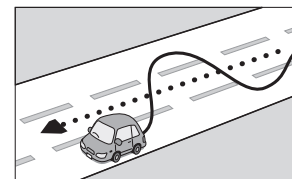
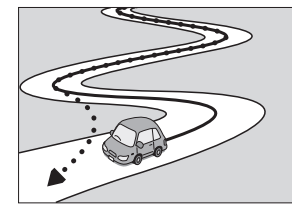
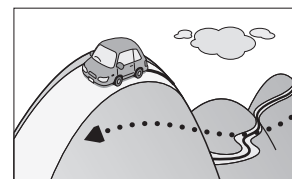
1）電波を受信している GPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

2）GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

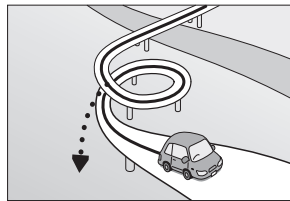
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

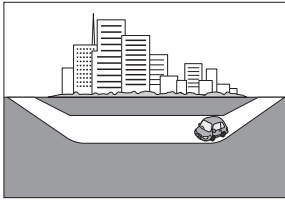
角度の小さい Y 字路を走行した場合

直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後

駐車場などのターンテーブルで旋回した場合

砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合

蛇行運転をした場合

ヘアピンカーブが続いた場合

勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合

チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合

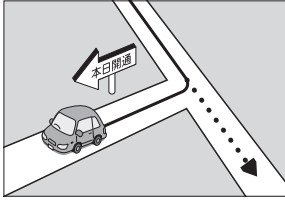
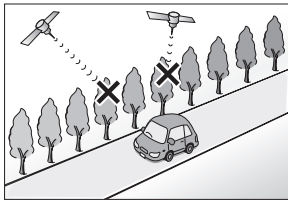
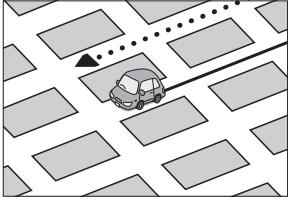
高速道路と側道などが隣接している場合

立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合

地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できない場合

GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合

ループ橋などを走行した場合

地図データにはない、新設道路を走行した場合

碁盤の目状の道路を走行した場合

フェリーや車両運搬車などで移動した場合

渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合

- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数km程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

準天頂衛星について

従来のGPS衛星からの信号に加え、準天頂衛星からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。
(2013年10月現在、準天頂衛星初号機「みちびき」が稼働中です。現時点では、受信できる時間帯に制限があります。また、季節によって時間帯は異なります。)

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		マリーナ		テーマパーク		灯台
	都道府県庁舎		史跡名勝		城・天守閣		ホール
	市特別区庁舎		城跡		展望タワー		スマートIC
	町村指定都市区庁舎		神社		温泉		その他の目的物
	官庁公共施設		寺院		山頂		NTT
	警察		教会		自衛隊		サーキット
	消防		海水浴場		墓地		テニスコート
	学校		ゴルフ場		ボウリング場		ディスカウントストア
	郵便局		スキー		サッカー		ビルアパート名称
	病院		キャンプ		競馬場ウィンズ		道の駅
	デパート/スーパー		遊園地		大学		ヘリポート
	カー用品店		動物園		短大		乗馬
	IC		公園		高専		体育館
	SA		ホテル		高校		牧場
	PA		スタジアム		中学校		ホール
	パーキング		スポーツ施設		小学校		自動車学校
	工場		植物園		その他学校		トンネル
	飛行場		美術館		保健所		船着場（観光船等）
	フェリー		博物館		税務署		野球場
	港		水族館		発電所		展望台
	料金所		図書館		裁判所		

- 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

サービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）などの施設の設備は次のマークで表示されます。

記号	名称	記号	名称	記号	名称
IC	IC	PA JCT	PA/JCT（併設）		休憩所
スマート IC	スマート IC	¥	料金所		ハイウェイ情報ターミナル
SA	SA	スマート IC	スマート IC		ベビーコーナー
PA	PA		ガソリンスタンド		ドッグラン
JCT	JCT		レストラン		障害者用トイレ
IC JCT	IC/JCT（併設）		スナック		ATM
IC SA	IC/SA（併設）		ショッピング		トイレ
IC PA	IC/PA（併設）	オア シス	ハイウェイオアシス		
SA JCT	SA/JCT（併設）		インフォメーション		

※ ガソリンスタンドのマークは、元売り各社のロゴで表示されます。

地図データベースについて

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
（測量法第 44 条に基づく成果使用承認　90 − 063）[2013 年 3 月発行データ使用]
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の 1/2,500 国土基本図を使用したものである。
（承認番号）小田原市指令第 52 号 平成 10 年 4 月 2 日承認
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の 2,500 分の 1 都市計画基本図を使用したものである。
(測量法第 44 条に基づく成果使用承認 平成 12 年度 知都発第 170 号)
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の 2500 分の 1 都市計画図を使用したものである。
(平成 12 年 養建第 1902 号)
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の 1/2,500 全図を使用し、調製したものである。
（承認番号）平 10．近公．第 34 号
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の 5,000 分の 1 の地形図を使用し調製したものです。
(承認番号 15 大木建第 734 号)
- この地図は、堀金村長の承認を得て 1/2,500 の都市計画図を参照して作成したものです。
(承認番号 16 堀第 5417 号)
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図 1/2,500 を使用し、調製したものである。
（承認番号 東開第 111 号 平成 18 年 2 月 28 日承認）
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成 7 年度作成の 10,000 分の 1 の白図を使用し、調製したものです。
(承認番号 伊建農発 229 号 平成 17 年 7 月 14 日承認)
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺 1/2500 地形図を使用して作成したものである。
(承認番号 :18 東デ共 041 号)
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 の地形図を使用して作成したものである。
(承認番号) 18 都市基交 第 478 号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画 (1/2,500) を使用し調製したものです。
(承認番号 平成 17 年津山市使用承認第 5 号)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成 13 年作成の宇部市域図を使用したものである。
(承認番号) 指令宇都第 13 号 平成 18 年 5 月 15 日承認
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成 13 年作成の宇部市域図を使用したものである。
(承認番号) 指令宇都第 14 号 平成 18 年 5 月 31 日承認
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。
(承認番号) 周防建設第 56 号 平成 18 年 5 月 12 日承認
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図 1/10,000 及び東かがわ市都市計画図 1/2,500 を使用して調製したものである。
(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成 17 年 3 月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。
(承認番号 H18 東温都第 174 号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。
(承認番号 林振第 350 号 平成 18 年 9 月 19 日承認)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。
(承認番号 林振第 611 号 平成 19 年 2 月 28 日承認)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。
承認番号 平成 19 年 3 月 7 日 指令水緑 -1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。
承認番号森第 18-10 号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図 1/10,000 を使用して調製したものである。
(長都政第 477 号 平成 18 年 3 月 28 日承認)
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。
使用承認 平成 19 年 3 月 1 日 森整第 1561 号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。
(承認番号 18 森政第 5-5 号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。
(承認番号 平成 18 年 11 月 24 日付け森第 1286 号)

- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。
  (承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。
  (広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認)
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。
  (承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認)
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。
  (承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認)
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものである。承認番号 18林第492号(平成18年10月6日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。
  (承認番号 森整第993号・平成19年2月14日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。
  (承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。
  (承認番号林18-1 平成18年12月5日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。
  (承認番号林18-2 平成19年3月7日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。
  (承認番号 使18-1号 平成18年12月8日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。
  (承認番号 使18-3号 平成19年3月8日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。
  (承認番号 平18林振第360号)
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものである。
  (承認番号)平成18年5月26日知耕第590号
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。
  (測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認 平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。
  (承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947)
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。
  (承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認)
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものである。
  (承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認)
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。
  (承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。
  (承認番号 平19林振第404号)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。
  (承認番号)平21樽港事第33号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。
  (承認番号)平成21年森計第477号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。
  (承認番号 平18林振第497号)
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。
  (承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1幕別町現況図を使用し、調整したものである。
  (承認番号)H22幕都計第185号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1‐No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。
  (承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。
  (承認番号 平22業使、第311号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。
  (承認番号 平23情使、第43号-46号)

- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。
  (承認番号 平19林振第246号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。
  (承認番号 平23情使、第283号-46号)
- この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。
  (承認番号)23田街第55号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。
  (承認番号 平24情使、第199号-46号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平24情使、第780号-46号)

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2013年3月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。

駐車場データについて

- 駐車場データは、株式会社アイ・エム・ジェイ提供の2012年10月データを使用しています。

タウンページデータについて

- タウンページデータは、NTTタウンページ株式会社が提供する2013年3月現在のデータを使用しています。
- もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
- 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

ハローページデータについて

- 訪問宅(個人宅)電話番号データ(ハローページデータ)は、日本ソフト販売株式会社が提供する「Bellemax®」2013年3月時点をのデータを使用しています。
- もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
- 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

料金データについて

- 高速道路(有料道路を含む)料金データは、2013年3月調査で2013年10月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のデータです。

抜け道データについて

- ぬけみちデータは、㈱昭文社発行の「抜け道データ2012年7月版」のデータを使用しています。

放送局リストのデータについて

- 放送局リストのデータは2013年4月現在のものです。放送局の開局、廃局、名称変更、周波数(チャンネル)変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合や、受信できない場合があります。

施設情報及び個人情報(電話番号)について

- 電話番号検索は、ハローページおよびタウンページのデータを使用しています。
- これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。

なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

■ 注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータは、その正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取り替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および / または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。
使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】
第 1 条（総則）
ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第 1 項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第 2 条（使用権）
1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアのを本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含と否とに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定 PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第 3 条（許諾条件）
1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウエア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第 4 条（許諾ソフトウェアの権利）
許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用､再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第 5 条（ライセンサーの免責）
1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウエア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第 6 条（第三者に対する責任）
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第 7 条（秘密保持）
使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第 8 条（契約の解除）
ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
（1）本契約に定める条項に違反したとき
（2）差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第 9 条（許諾ソフトウェアの廃棄）
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から 2 週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第 10 条（著作権保護）
1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第 11 条（輸出規制）
1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法 (アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます) に従うことに同意するものとします。

第 12 条（その他）
1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。
当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧頂くようお願い致します。
ホームページアドレス
http://www2.jvckenwood.com/gpl/j.html

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。
適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。
掲載場所は［システム設定］ー その他設定内の［オープンソースライセンス］です。

VICSについて

VICS サービスの問い合わせ

VICS サービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICS の仕組みやサービスエリアなどについて
- 文字情報（レベル 1）、簡易図形情報（レベル 2）の情報表示について
  <問い合わせ先>
  VICS センター サービスサポートセンター
  電話受付時間　9:30 ～ 17:45（但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）
  電話番号　0570-00-8831（ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます）
  ※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
  ※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。
  FAX 受付時間　24 時間
  FAX 番号（全国）　03-3562-1719
- VICS 関連商品の機能や使用方法について
- サービスエリア内の受信可否について
- 地図表示（レベル 3）の情報表示について
  <問い合わせ先>
  JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
  フリーダイヤル 0120-2727-87
  携帯電話、PHS、IP 電話からは 045-450-8950
  FAX　045-450-2308
  住所　〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
  受付時間　月曜～金曜 9:30 ～ 18:00
  土曜 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30
  （日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
- VICS の最新情報について
  VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。
  インターネット URL http://www.vics.or.jp/
  なお、お問い合わせ先の判断に迷う場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター（またはお買い上げの販売店）までご連絡ください。

VICS リンクの更新について

VICS センターでは、レベル 3 の情報の収集と提供に、VICS リンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICS リンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。
この結果、新しい VICS リンクによる情報の提供が行われると、変更前の VICS リンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前の VICS リンクに対しても変更後 3 年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

- VICS リンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新については JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）
第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
（1）VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
（4）VICS デスクランブラー
ＦM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）
第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。
（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）
第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）
第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。
ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応ＦM受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれたＦM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）
第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応ＦM受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）
第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第 12 条　1. 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。
また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
2.　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章　料金

（料金の支払い義務）
第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章　保守

（当センターの保守管理責任）
第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第 15 条　1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）
第 17 条　1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が 不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2. VICS サービスは、ＦＭ放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］
視聴料金 300 円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

・ 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人交通情報通信システムセンター (VICS センター) の技術が用いられています。

地上デジタルテレビ放送について

地上デジタル放送の受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルテレビチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたりする場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。これにより混信した場合、黒画面となり、音声が出なくなることがあります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 本機は、双方向データサービスおよびデータ放送には対応していません。

以下の点にご注意ください。

■ 放送局からのおしらせメッセージなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。
■ 本機は ARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
■ ビデオレコーダーなどで録画･録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

地デジチャンネル変更（リパック）について

地上デジタル放送の受信障害解消のため、送信チャンネルが変更になる場合があります。
その際は、初期スキャンを行ってプリセットを登録しなおしてください。
地デジチャンネル変更に関する情報は、下記にお問い合わせください。

総務省 テレビ受信者支援センター（デジサポ）
http://digisuppo.jp/
チャンネル変更コールセンター
0120-922-303
受付時間
平日　9:00 ～ 21:00
土日祝 9:00 ～ 18:00

当社ホームページでも情報が公開されています。
http://www2.jvckenwood.com/products/information/info_ch_repack.html

miniB-CAS カードについて

miniB-CAS カードは地上デジタルテレビ放送を受信するうえで必ず必要なカードです。

本機に付属の miniB-CAS カードには 1 枚ごとに異なる番号（ID 番号）が付与されています。
ID 番号は大切な番号です。（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。

- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるために miniB-CAS カードが必要です。
- miniB-CAS カード取り扱い時には、次の点に留意してください。
  - miniB-CAS カードを折り曲げたり、変形させないでください。
  - miniB-CAS カードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
  - miniB-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
  - miniB-CAS カードの IC（集積回路）接触端子には手をふれないでください。
  - miniB-CAS カードの分解加工は行なわないでください。
  - miniB-CAS カードはカード挿入口に正しく挿入してください。
  - ご使用中に miniB-CAS カードの抜き差しはしないでください。地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
  - 付属の miniB-CAS カードの所有権は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。
  - 破損・紛失など miniB-CAS カードの再発行には手数料がかかります。
  - miniB-CAS カードの受信契約については、miniB-CAS カードの台紙に記載されている事項や B-CAS カード使用許諾契約約款などをよくお読みください。
  - 付属の miniB-CAS カードを使用して、BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
  - miniB-CAS カードを破損・紛失などされた場合は、お客様より（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへお問い合わせください。
  - 本機の修理を依頼されるときは、本機より miniB-CAS カードを抜いてお客様が保管してください。

miniB-CAS カードに関するお問い合わせ先について

付属の miniB-CAS カードについてご不明な点は、下記の B-CAS カスタマーセンターへお問い合わせください。
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
電話番号　0570-000-250　受付時間　10：00 ～ 20：00（年中無休）
※電話番号はお間違えないようお願いいたします。
※携帯電話、PHS などの移動体通信機器および各種 LCR や交換機の設定によってはかからない場合があります。

- miniB-CAS カードの台紙に記載されている「B-CAS カード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、「取扱説明書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、miniB-CAS カードの ID（識別）番号の告知が必要になる場合があります。お客さまの miniB-CAS カードの ID 番号は控えておいてください。

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ / ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で再生できるディスクメディア

- ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD	DVD ビデオ	○	–
	DVD オーディオ	×	–
	DVD-R	○	VR モード対応（DVD-R/RW のみ）CPRM 対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL（2 層）	○	
	DVD-R DL（2 層）	○	
	DVD-RAM	×	–
CD	音楽 CD	○	8cm ディスク非対応
	CD-ROM	○	
	CD-R	○	パケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	–
	ビデオ CD、スーパービデオ CD	×	–
	フォト CD	×	–
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質
	CCCD	×	–
その他	デュアルディスク	×	–
	スーパーオーディオ CD	△	CD 層のみ再生可能

○：再生できます
△：一部のみ再生できます
×：再生できません

再生できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/ISO 9660 Level 2/
Joliet/Romeo/
UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。

- 記録面（レーベル面の反対側）が着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理していない CD-R、CD-RW。お使いの CD-R/CD-RW ライティングソフト、CD-R/CD-RW レコーダーの取扱説明書を参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理（ファイナライズ処理）を行ってください。ただし、CD-R/CD-RW はファイナライズ処理をしていても、記録状態によって再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

ディスクのご使用上の注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

DVD のリージョン番号

本機で再生できる DVD リージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」です。
DVD ディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

● DVD ディスクのマーク

記号	内容
ALL	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどの DVD プレーヤーでも再生できます。
8	収録されている音声の言語数を表します。1 本の映画の中に最大 8 つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
32	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32 カ国語まで収録できます。
9	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
16:9 LB	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

禁止マーク

DVD は、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。

本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC*1
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/ 2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT*2

*1：MMC(MultimediaCard) には対応していません。
*2：この他のファイルシステム (NTFS 等) には対応していません。

● SD スピードクラスは Class10 まで対応しています。

SD カード使用上のご注意

● miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
● ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
● 本機で使用出来ない場合は、ファイルシステムが FAT16 もしくは FAT32 であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
● 本機は SD-Audio には対応していません。
● 全ての SD カードに対して、動作を保証するものではありません。
● SD カードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
● SD カード内のデータは必ずバックアップをしてください。SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、弊社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できる USB 機器

規格	USB 1.1/USB 2.0*1
デバイスクラス	マスストレージクラス（MSC device）*2
最大消費電流	1A 以下（USB ケーブル接続時）
ファイルシステム	FAT16/FAT32*3

*1：USB3.0 には対応していません。
*2：使用する USB デバイスが USB マスストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。
*3：この他のファイルシステム (NTFS、exFAT 等) には対応していません。

USB 機器使用上のご注意

● 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
● セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
● USB ケーブルを延長する場合は、CA-U1EX（別売品）を推奨します。
● USB 規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
● USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
● 全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
● USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、弊社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

USB ハブの使用について

● 本機では、USB ケーブルに USB ハブを接続して、最大 4 つ（パーティション含む）の iPod または USB デバイスを接続できます。
● USB ハブは USB ケーブル 1 本につき 2 台以上接続しないでください。
● 消費電流の大きい機器を USB ハブに接続すると動作しない場合があります。この場合は USB ケーブルに直接接続してください。
● USB ハブを使って接続するときは、USB ハブを本機の USB ケーブルに接続してから、iPod または USB 機器を USB ハブに接続してください。
● USB ハブを介して iPod を接続すると充電できません。

・ USB 機器と iPod を同じ USB ハブに接続することもできます。

本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

コーデック ＼ メディア		CD	DVD	USB	SD
オーディオファイル	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
	WAV	○	○	○	○
	FLAC	×	×	○	○
	Vorbis	×	×	○	○
ビデオファイル	MPEG-4 Video	×	×	○	○
	H.264/MPEG-4 AVC	×	×	○	○
	WMV	×	×	○	○

○：再生できます　×：再生できません

著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	FLAC	Vorbis	WAV
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7,8,9)	MPEG2/4 AAC LC、HE-AAC (V1,V2)	flac	vorbis	RIFF waveform Audio Format (Linear PCM のみ)
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.flac, .fla	.ogg	.wav
量子化ビット数	16bit	16bit	16bit	16bit/24bit[*1]	16bit	16bit/24bit[*1*2]
ビットレート	8～320kbps, VBR	8～320kbps	8～320kbps, VBR	-	-	-
サンプリング周波数	16k～48kHz	16k～48kHz	16k～48kHz	16k～96kHz	16k～48kHz	16k～96kHz[*3]
タグ	ID3 タグ ver 1.0/1.1/ 2.2/2.3/2.4 (ID3v2 の非同期化は非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタデータ	Vorbis Comment タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ
その他	ジョイントステレオ対応	DRM/ Professional/ Lossless/ Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再生可能 DRM/ マルチチャンネルは非対応	圧縮レベル：0～8		

*1：16bit 相当で再生します。
*2：DISC は 16bit のみ対応です。
*3：DISC は 44.1kHz のみ対応です。
※ オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

ビデオファイル

	MPEG-4 Video		H.264/MPEG-4 AVC			WMV
対応形式	ISO MPEG4		H.264/MPEG-4 AVC			Windows Media Video Ver.9(VC-1)
ファイルコンテナ	AVI	MP4	AVI	MP4	FLV	ASF
拡張子	.avi	.mp4	.avi	.mp4	.flv, .f4v	.wmv
プロファイル	アドバンスドシンプルプロファイル		ベースラインプロファイル、メインプロファイル			メインプロファイル
対応音声コーデック	MP3, AAC		MP3, AAC			WMA
最大ピクチャサイズ	1280 × 720		1280 × 720			1280 × 720
最大フレームレート	30fps		30fps			30fps
最大ビットレート	8Mbps		8Mbps			8Mbps

※ ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。
※ ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び / 音切れをする可能性があります。

（1）ファイル名とフォルダ名

本機で表示できる文字：

半角英数文字、半角カタカナ、全角文字

文字数制限：

- ディスク
  フォルダ名　25 文字 (拡張子を含む)
  ファイル名　25 文字
- USB 機器および SD カード
  ファイル名　全角 80 文字 (拡張子は除く)
  フォルダ名　全角 80 文字
  ファイル名またはフォルダ名が文字数制限を超えているファイルは再生できません。

使用できない文字：

￥、＼、／、：、＊、？、”、<、>、｜

ファイルには正しく拡張子を付けてください。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

（2）ファイル数とフォルダ数の制限

ディスク：

1 フォルダ内の最大ファイル数：999
ディスク内の最大フォルダ数：250
ディスク内の最大ファイル数：5000

USB 機器および SD カード：

1 フォルダ内の最大ファイル数：999
1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999

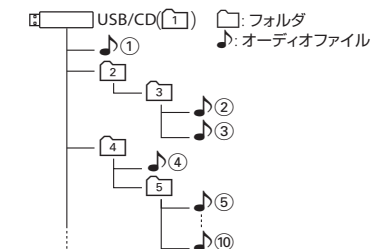
- フォルダ階層数に制限はありませんが、フォルダ名 / ファイル名が最大文字数を超える場合は認識できません。
- デバイス内の最大フォルダ数 / 最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

（3）再生する順番について

ディスク：

ライティングソフトで書き込まれた順

USB 機器および SD カード：

ファイル名の昇順
ファイル名の頭に“01”～“99”など再生する順番を入力してから CD-R などに書き込むことで再生する順番を設定できることがあります。
下図の例では、①から⑩の順で再生されます。

（4）ご使用上の注意事項

- ディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。再生するディスクに多くのフォルダ、オーディオファイル、ビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで時間がかかることがあります。また、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

Bluetoothについて

Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP（ハンズフリープロファイル）
  ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- OPP（オブジェクトプッシュプロファイル）
  電話番号などのデータを 1 件ずつ vCard 形式で伝送するためのプロファイルです。
- PBAP（フォンブックアクセスプロファイル）
  電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP*（高度オーディオ配信プロファイル）
  オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP（オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル）
  オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP（シリアルポートプロファイル）
  Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.2.1+EDR 準拠

* SCMS-T 対応
（SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。）

- 動作を確認した携帯電話機については URL をご覧ください。
  http://www2.jvckenwood.com/products/oem/mazda/
- Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

対応コーデック

SBC/AAC

iPodについて

本機でコントロールできる iPod について

本機からコントロールできる iPod は以下のとおりです。
Made for

- iPod nano (7th generation)*
- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod classic
- iPod touch (5th generation)*
- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1stgeneration)
- iPhone 5s*
- iPhone 5c*
- iPhone 5*
- iPhone 4s
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

*：音楽再生のみに対応

- 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と呼びます。また、ビデオ対応 iPod を区別する場合には「iPod ビデオ」と呼びます。
- 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

iPod 接続ケーブルについて

本機に iPod を接続するときは、別売の iPod 接続ケーブルが必要です。

MAZDA アテンザ
変換コード(USB-iPod)(C9K3 V6 270)(別売)

MAZDA アテンザ以外の車種
変換コード(USB-iPod)(C9K2 V6 270)(別売)

iOS アプリケーションを使う場合
以下のいずれかのコードでご使用になれます。

- 変換コード(USB-iPod)(C9K2 V6 270)(別売)
- 変換コード(USB-iPod)(C9K3 V6 270)(別売)

- iPhone5s、iPhone5c、iPhone5、iPod touch 5th generation、iPod nano 7th generation の音楽を再生する場合は iPod/iPhoneに付属のケーブルを使用してください。使用する場合は、車内に放置しないでください。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
	暗証番号設定されている。	設定した暗証番号を入力してください。(➜ P.133)
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。(➜ P.25)
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、明るさ、視野角を調整してください。(➜ P.22、P.25、P.69)
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。(➜ P.69)
バックモニターカメラに切り替わらない。	バックモニターカメラが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談いただき、接続を確認してください。
	バックモニターカメラの設定が “OFF” になっている。	バックモニターカメラ設定を “ON” にしてください。(➜ P.130)
音が出ない / 音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(➜ P.124)
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	お買い上げの販売店にご相談いただき、接続を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	お買い上げの販売店にご相談いただき、接続を確認してください。

● ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは 200m 以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに 300 か所登録されている。	不要な登録地点を削除してください。(➜ P.65)
経由地を設定できない。	すでに 4 か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください。(➜ P.59)
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の 50 か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、50 か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	—	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y 字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	GPS アンテナの設置場所が悪い。	GPS アンテナの設置場所を確認して、アンテナの設置場所を変更してください。
	本機がしっかりと固定されていない。	お買い上げの販売店で、本機をしっかりと取り付けなおしてください。
	タイヤを交換した。	タイヤ交換を行ったときは、センサーの学習を初期化してください。(➜ P.135) 初期化してしばらくは自車位置がずれることがありますが、しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
VICS の地図表示情報（レベル 3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICS の地図表示情報（レベル 3）を表示できるのは、10m ～ 1km（一般道は 10m ～ 500m、一般道の駐車場情報は 10m ～ 200m）のスケールです。
	—	VICS の受信状態が悪い場合は、表示できません。
	VICS 局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。(➜ P.116)
VICS 情報が割り込み表示されない。	割り込み表示が “OFF” に設定されている。	VICS 設定画面で、割り込み表示を “ON” に設定してください。(➜ P.117)
	ビーコンアンテナが接続されていない。	VICS ビーコンユニット（C9K2 V6 620 別売）を接続してください。

症状	考えられる原因	対処方法
最適時間考慮をオンに設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞していても早い。	最適時間考慮は、渋滞道路を回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。
	ビーコンアンテナが接続されていない。	VICS ビーコンユニット（C9K2 V6 620 別売）を接続してください。
	現在提供されている VICS 情報が少なく、別のルートが探索できない。	—
夜の地図色が表示されない。	地図昼夜切替が“昼色に固定”に設定されている。	“自動”に設定してください。（➜ P.122）
	イルミネーションコードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、正しく接続してください。
音声案内されない。	ルート案内の音声出力が“OFF”に設定されている。	ルート案内の音声出力を“ON”に設定してください。（➜ P.121）
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	**【現在地】**または**【NAV】**を押して現在地図画面に切り替えてください。（➜ P.30）
	画面がオフになっている。	**【現在地】**または**【NAV】**を押すか、画面にタッチしてください。（➜ P.25）
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
自車マークが動かない。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
実際の道路と案内が違う。 ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。 また、目印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索をするため、遠回りなルートを案内する場合があります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声が小さい。	—	ナビ音量を大きくしてください。 （➜ P.23）
ルートメニューが表示できない。	ルートが探索されていない。	ルート探索が行われている場合に表示できます。
センサー学習が完了しない。	車速パルスの設定が正しくない。	車種により“アナログ”または“デジタル”に設定する場合があります。
	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。

● AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	入出力ケーブルなどの接続が間違っている。	お買上げの販売店で、接続を確認してください。
	Bose® サウンドシステムが装着されていないのに設定が“ON”になっている。	Bose® サウンドシステムが装着されていない場合は、Bose® サウンドシステム設定を“OFF”にしてください。（➜ P.27）
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。
映像が乱れる。	コードやケーブルが干渉している。	モニターの配線のときは、コードやケーブルを束ねないようにしてください。
映像が映らない。	走行中、またはナビ画面を表示中。	走行中、またはナビ画面を表示中は映像を見ることはできません。

● ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。	取り付け角度が 40°を超えている。	40°以内になるように取り付けしなおしてください。
	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合やディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	⏏ を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置（約 1 時間）してから使用してください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	⏏ を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください。 （➜ P.82）
ファイルの再生がはじまるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ / ファイル / 階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
CD-R、CD-RW が再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CD レコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いの CD-R/CD-RW ライティングソフトや CD-R/CD-RW レコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVD の禁止マーク“ ⃠ ”が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。
CD のタイトルが表示されない。	楽曲情報がない。	● KME-VX4 で楽曲情報を取得してください。（➜ P.108） ● スマートフォンアプリ「KENWOOD Music Info.」で楽曲情報を取得してください。

● ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	フォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。（➜ P.180）
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。（➜ P.180）
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合があります。	—

● 地デジ

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしなおしてください。（➜ P.80）
ワンセグしか受信できない。	miniB-CAS カードが正しく読みとれていない。	miniB-CAS カードの IC（集積回路）接触端子が汚れていないか確認をし、mini-BCAS カードを入れなおしてください。
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	送信チャンネル変更（リパック）が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しなおしてください。（➜ P.78）
	使用しているチャンネルリストが車の場所のエリアの放送チャンネルと合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください。（➜ P.78）
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声が途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	● 見通しのいい場所に移動してください。 ● ワンセグに切り替えてください。（➜ P.76）
	ワンセグ /12 セグを切り替えた。	受信モードの切替時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。

● iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPod が認識されない。	iPod が正しく接続されていないか、iPod が正しく動作していない。	iPod が正しく接続されているかご確認ください。それでも iPod が認識されない場合は、iPod をリセットしてください。
iPod をコントロールできない。	iPod にヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPod を本体から取り外し、iPod からすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPod が異常状態になっている。	● iPod メニューに表示されるリセットではなく、iPod 本体のリセットを行ってください。 ● iPod を本機から取り外し、iPod の電源を入れなおしてください。
iPod の曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまで、しっかりと接続してください。

症状	考えられる原因	対処方法
音が歪む。	iPod の EQ 機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPod の再生を停止することをお勧めします。
iPod の充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
	USB ハブを介して接続している。	充電するときは USB ハブを使用せずに直接接続してください。
本機に接続すると、iPod の操作ができなくなる。	iPod モードが本機で iPod を操作するモードになっている。	iPod モードを切り替えてください。（➜ P.98）

● USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器を認識しない。	USB コネクタが正しく接続されていない。	USB 機器や USB ケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB 延長ケーブルが長いため、データの品質が悪くなっている。	USB 延長ケーブルを使用しない接続をしてください。
	USB 接続ケーブルに USB ハブを 2 台以上接続している。	USB 接続ケーブルに USB ハブを 2 台以上接続して USB 機器を接続すると、本機で再生することができません。 USB ハブを 1 台にして接続しなおしてください。
	複数の USB 機器を接続していて違うデバイスが選択されている。	USB デバイス切替で再生したいデバイスに切り替えてください。（➜ P.88）
USB 機器や SD カード内のオーディオ / ビデオファイルが再生できない。	オーディオ / ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。（➜ P.180）
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ￥、＼、／、：、＊、？、"、＜、＞、｜ ファイル名を変更してください。
	USB 機器または SD カードを KME-VX4 で同期した。	KME-VX4 で同期した USB 機器または SD カードでは、同期以前に KME-VX4 以外で保存されたオーディオ / ビデオファイルは再生されません。
	フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名 : 全角 80 文字 ファイル名:全角 80 文字（拡張子は除く） 全角 80 文字以内に変更してください。
	再生モードが録音した SD カードの再生になっている。	再生モードを切り替えてください。（➜ P.88）

● Bluetooth オーディオ / ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth 機器が登録できない。	パスキーまたは PIN コードが合っていません。	Bluetooth 対応機器によっては、パスキーまたは PIN コードが固定されている場合があります。 Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの取扱説明書にパスキーまたは PIN コードが記載されている場合は、そのコードを設定してください。 記載されていない場合は“0000”を試してください。
Bluetooth オーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機と Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎます。	Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他の Bluetooth 機器が通信を妨げています。	他の Bluetooth 機器の電源をオフにしてください。 または、他の Bluetooth 機器を遠ざけてください。
	他の Bluetooth 機器と通信中です。 または、他のプロファイルで通信中です。	たとえば、電話帳のダウンロード中などには、音声が途切れる場合があります。
ハンズフリー通話の受話が小さい。	音量調整が小さくなっています。	通話中に調整してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
暗証番号が違います。 もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。暗証番号を思い出せない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談いただき、スピーカー配線をご確認ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。 問題が解消されない場合は カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談いただき、スピーカー配線をご確認ください。
地デジアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	地デジアンテナケーブルの配線がショートしています。お買い上げの販売店にご相談いただき、地デジアンテナ配線を配線をご確認ください。
GPS アンテナに異常があります。 接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談いただき、GPS アンテナ配線をご確認ください。
車速パルスに異常があります。 接続を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談いただき、車速検出コードの接続をご確認ください。
SD カードのフォーマットができませんでした。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 ● 探索条件を「一般」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、 VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC（C9K4 V6 650 のみ）

メッセージ	対処
ETC に異常が発生しました。 販売店にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC 車載器との接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談いただき、ETC 車載器の接続をご確認ください。
ETC カードが挿入されていません。 ETC カードが挿入されていません。(01)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
ETC カードが読めません。 ETC カードが読めません。(02)、(03)、(05)	● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 ● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 ● カードの金属端子面をきれいにふいてから差し込んでください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC がセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC をご利用できません。 ETC をご利用できません。(06)、(07)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください。

● カメラ

メッセージ	対処
カメラ映像がありません。	お買い上げの販売店にご相談いただき、カメラの接続をご確認ください。
走行中は調整できません。	バックモニターカメラのガイド線調整は、安全なところに停車した状態で行ってください。
カメラが正常に動作していません。	お買い上げの販売店にご相談いただき、カメラの接続をご確認ください。

● AV（共通）

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。(➜ P.177)
走行中は音声のみお楽しみください	走行中は映像を見ることができません。
音声が再生できません	音声が再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。
アルバム情報はありません。	アルバム情報が登録されていない楽曲については、楽曲タイトル情報を取得できません。
サーバーに接続できません。	スマートフォンがインターネット接続できるところに移動し、再度操作してください。
アプリケーションと通信できませんでした。 スマートフォンを確認してください。 また電話帳読み込み中は通信できません。 読み込み終了後に再度操作してください。	● KENWOOD Music Info.（C9K4 V6 650 のみ）の起動を確認してください。 ● スマートフォンとの接続が正常かを確認してください。 ● 電話帳の読み込み中はアプリケーションとの通信ができません。

● AV(Disc)

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」のディスクが再生できます。
ディスクがローディングできません。 / ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクトを実行してください。(➜ P.82) または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
録音可能なアルバム数の上限を 超えています。	録音できるアルバムは最大 999 枚までです。 不要なアルバムを削除してから録音してください。(➜ P.104)
録音を続行できないため、録音を中断しました。	再度録音しなおしてください。
空き容量不足のため、これ以上録音できません。	● 不要な楽曲を削除してから録音してください。(➜ P.104) 空き容量や残り録音可能時間は、録音設定画面で確認できます。(➜ P.130) ● SD カードに録音する場合は、不要なファイルを削除するか、空き容量の大きい SD カードを使用してください。

● Bluetooth

メッセージ	対処
空き容量不足のため、 これ以上登録できません。	本機に登録できる電話帳は最大 500 件までです。不要な電話帳の登録を削除してください。(➜ P.149)

主な仕様

● ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	GPS(+MSAS) & QZSS
受信周波数	1575.42MHz (C/A コード)
追従衛星数	最大 16
VICS	FM 多重（内蔵）、電波／光ビーコン対応（別売）

● モニター部

画面サイズ	C9K4 V6 650: 8.0V 型ワイド 175.2（幅）× 105.1（高さ）× 204.3（対角）mm C9K3 V6 650/A9K3 V6 650: 7.0V 型ワイド 156.6（幅）× 81.6（高さ）× 176.6（対角）mm
表示方式	透過 TN 型
駆動方式	TFT アクティブマトリクス
画素数	1,152,000 個　800H × RGB × 480V
画素配列	RGB ストライプ配列
タッチパネル	C9K4 V6 650：静電容量方式タッチパネル C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650： 抵抗膜式タッチパネル
使用光源（照明方式）	LED バックライト方式

● オーディオ部

最大出力		50W × 4
定格出力		28W × 4 (4 Ω、1kHz、10%THD)
スピーカーインピーダンス		4 ～ 8 Ω
プリアウト出力 (Bose® 専用)	最大出力レベル	2.1Vrms 2 プリアウト（Front, Rear）
AV 入力（RCA × 1）	映像入力レベル	1Vp-p/75 Ω
	音声最大入力レベル	1.5Vrms
バックモニターカメラ 専用映像入力 C9K4 V6 650/C9K3 V6 650: 専用コネクター× 1 A9K3 V6 650 : RCA × 1	映像入力レベル	1Vp-p/75 Ω
サイドモニターカメラ 専用映像入力 C9K4 V6 650: 専用コネクター× 1 C9K3 V6 650: 専用ケーブルが必要	映像入力レベル	1Vp-p/75 Ω

フロントモニターカメラ 専用映像入力 C9K4 V6 650 のみ： 専用コネクター×1	映像入力レベル	1Vp-p/75 Ω
VIDEO 出力 （リアシートモニター用）	映像出力レベル	1Vp-p/75 Ω
VIDEO 入力 （iPod ビデオ専用）	映像入力レベル	1Vp-p/75 Ω

● 地上デジタルチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式（日本）（ワンセグ対応）
受信チャンネル	UHF13 ～ 52ch

● チューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0MHz ～ 90.0MHz (0.1MHz)
受信周波数範囲（周波数ステップ）	522kHz ～ 1629kHz (9kHz)

● USB I/F 部

対応 USB	USB1.1/2.0（High Speed）
ファイルシステム	FAT16/32
最大供給電流	1 A

● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● DVD/CD 部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video, DVD ± R/ ± RW/ ± R DL CD-DA, CD-R/-RW SACD（CD LAYER ONLY）
リージョン番号	2
サンプリング周波数	32kHz/44.1kHz/48kHz/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit（直線）
S/N 比	100dB
ダイナミックレンジ	96dB
ステレオセパレーション	90dB

● 対応メディア

DVD-Video		DVD-R,DVD-RW は VR モードも対応
CD-DA		8cmCD 非対応
CD/DVD	音声	MP3, WMA, AAC, WAV
USB	音声	MP3, WMA, AAC, FLAC, WAV, Vorvis
	映像	MPEG-4 Video, H264/MPEG-4 AVC, WMV
SD	音声	MP3, WMA, AAC, FLAC, WAV, Vorvis
	映像	MPEG-4 Video, H264/MPEG-4 AVC, WMV

● Bluetooth 部

対応プロファイル	HFP, OPP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP
対応コーデック	SBC/AAC
SCMS-T	対応

● 電源 / 寸法 / 重量

電源電圧		14.4V (10.5V ～ 16V)
最大消費電流		15A
使用温度範囲		-10 ～+ 60℃
本体	外形寸法（W × H × D）	C9K4 V6 650： 200mm × 125mm × 175mm C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650： 180mm × 100mm × 185mm
	埋込寸法（W × H × D）	178mm × 100mm × 160mm
	質量（重さ）	C9K4 V6 650：2,750 g C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650：2,720 g
GPS アンテナ	外形寸法（W × H × D）	36mm × 12.8mm × 33mm
	ケーブル長	3.5m
	質量（重さ）	105g

● TV アンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長（アンテナケーブル）	C9K4 V6 650: 4.0m × 4 C9K3 V6 650/ A9K3 V6 650: 4.0m × 2
アンテナ部（エレメント外形寸法）	117.5mm × 86mm
質量（重さ）（ケーブル含む）	約 35g（1 本あたり）

保証とアフターサービス

この製品には、ご購入証明書を添付しております。ご購入証明書の内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」（➜ P.184）を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6 年です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

索引

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

な

ぬ

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

め

も

ゆ

ら

り

る

れ

ろ

わ

「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

Manufactured under license from Dolby Laboratories.
Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

DVD is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iTunes is a trademark of Apple Inc.

Lightning is a trademark of Apple Inc.

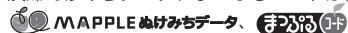
© 2014 Rovi Corporation.
Content and technology provided by Rovi Corporation.

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

ぬけみちデータとして以下の情報を基に作成されています。
- 株式会社昭文社渋滞ぬけみちデータ

渋滞ぬけみちデータ、まっぷるコードは株式会社昭文社の登録商標または商標です。

MapFanはインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

VICS は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「マップクリップ」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

「Android™」および「Android ロゴ ™」、「Google Play™」は Google Inc. の商標または登録商標です。

本製品には、株式会社ユビキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。
「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタスの商標です。
Copyright© 2013 Ubiquitous Corp. All rights reserved.

Ubiquitous

本製品には、株式会社エイチアイのソフトウェア「MascotCapsule」を使用しています。
MascotCapsule は、株式会社エイチアイの日本国における登録商標です。

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。

ETC は一般財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア (株) の compact Wnn を使用しています。
compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2013 All Rights Reserved.

libFLAC
Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND ONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii)DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

JSON-C
Copyright (c) 2004, 2005 Metaparadigm Pte Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Rovi Flow-Down License Terms (Terms of Use)
エンドユーザー・ライセンス契約

すべてのエンドユーザー・ライセンスには、以下の条項が含まれるものとする：

(1) エンドユーザーは、エンドユーザーの個人的な使用の場合に限り、ライセンス対象物の使用について、個人的な、譲渡不可の非独占的な権利のみを付与される。

(2) 顧客及び／又はそのライセンサーは、ライセンス対象物についてのすべての知的財産権を留保し、当該知的財産に係るいかなる権原も、エンドユーザーには移転されないものとする。

(3) エンドユーザーは、以下のことに同意する：
  (i) ライセンス対象物を、いかなる第三者に対しても、譲渡、複製、移転又は送付しないこと；
  (ii) 本契約書に明示的に許可されている場合を除き、ライセンス対象物を使用又は利用しないこと；
  (iii) ライセンス対象物又はそれを構成するいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル又はリバース・エンジニアリングをしないこと；
  (iv) ライセンス対象物が内包する、いかなる著作権、商標、商品名、ロゴ又はその他の知的財産に係る表示も取り除かないこと；又は
  (v) 本契約の条項中に明示的に示されていない限り、ライセンス対象物又はそのいかなる部分についても、販売、頒布、配給、公開、開示、リース、ライセンス、移転又はその他の方法での使用をしないこと。

(4) エンドユーザーは、米国商務省又はその他の米国の政府機関若しくは行政機関の、輸出及び再輸出に係るすべての制限及び規則を遵守し、ライセンス対象物を、制限国に転送若しくは転送の許可、又は当該制限又は規則に違反するいかなる行為も行わないことに同意する。

(5) エンドユーザーは、エンドユーザーが当該制限に違反した場合は、本契約により付与された、ライセンス対象物を使用するライセンスを解除されることに同意する。さらに、顧客及び／又はそのライセンサーは、その裁量により、いつでもライセンスを取り消し又は解除することができる。エンドユーザーのライセンスが解除された場合は、エンドユーザーは、ライセンス対象物の一切の使用をやめることに同意する。エンドユーザーは、エンドユーザーによる本契約の不履行に起因する弁護士報酬を含め、一切の責務、請求及び支出から、顧客、そのライセンサー、それらの関係者を防禦し、補償し、損害を与えないようにすることに同意する。

(6) ライセンス対象物及び文書（存在すれば）は、「商業用コンピューターソフトウェア」及び「商業用コンピューターソフトウェア文書」とみなされ、それぞれ、DFAR 第 227.7202 項及び FAR 第 12.212 が適用される。米国政府による、ライセンス対象物（存在すれば、文書についても）の使用、複製又は開示は、顧客の書面による契約がない場合は禁止される。

(7) 顧客のライセンサーは、本契約の第三者受益者である。

(8) ライセンス対象物及びその構成部分は、「現状有姿」で提供される。ロヴィは、明示的か黙示的かを問わず、ライセンス対象物のソフトウェアの正確性に関し、商品性、特定用途への適合性、権原及び非侵害についての黙示的保証を含むがこれに限定されない、表明又は保証を一切行わないものとする。顧客及び／又はそのライセンサーは、正確性、精密度、信頼度、最新性又はエンドユーザーが、ライセンス対象物を使用して得られた結果についての保証又はいかなる表明も行うものではない。

(9) いかなる場合においても、顧客又はそのライセンサーは、エンドユーザー又はいかなる第三者に対しても、ライセンス対象物のソフトウェアの使用に起因する又はその使用に関連する、契約、不法行為、過失、損害賠償、厳格責任、製造物責任又はその他を含む、いかなる法理論によるかを問わず、逸失利益又は収入の喪失又は営業の停止を含むがこれに限定されない、間接的、派生的、付随的、特別の、懲罰的、その他の損害について、一切の責任を負わないものとする。請求の形態に関わらず、ライセンス対象物に係る、顧客又はそのライセンサーの、損害に対する責任は、10 ドルを超えるものではない。間接的又は派生的損害に対する免責を認めていない国等においては、上記の免責事項がエンドユーザーに適用されない場合もある。

(10) 本アプリケーションは、エンドユーザーが、インターネットその他の方法を通じ、所有権を伴うデータベース（以下、「本データベース」という。）から、データ（以下、「本データ」という。）にアクセスし、本アプリケーション・ソフトウェアの意図され認可されたエンドユーザー機能を用いて、その他の機能を実行することを可能にするものである。

(11) エンドユーザー·ライセンスが終了した場合、エンドユーザーは、本データの一切の複製を、エンドユーザーのコンピュータシステム及びエンドユーザーが所有し、アクセス又は管理するその他の記憶装置又は媒体から、直ちに消去、削除及びアンインストールすることに同意する。

(12) 顧客及び／又はそのライセンサーは、顧客及び／又はそのライセンサーが十分とみなす理由がある場合には、本データベースからデータを削除し、又は、データのカテゴリーを変更する権利を有する。ライセンス対象物がエラーを生じないものであること、又は、ライセンス対象物が中断されずに機能することについては、一切保証されないものとする。顧客及び／又はそのライセンサーは、エンドユーザーに対し、顧客及び／又はそのライセンサーが、将来提供しようとするかもしれない、データの新しい、改良又は追加されたタイプ又はカテゴリーを提供する義務はなく、エンドユーザーに対する一切の義務を負うことなく、いつでもオンライン・サービスを中止することができる。

(13) エンドユーザーが、情報又は著作権を伴う創作物を本データベースに追加されるべく提供した場合には、エンドユーザーは、エンドユーザーが当該創作物の唯一の著作権者であることを表明し保証するとともに、本データベースの一部として、当該創作物の著作権を登録する権利を含め、当該創作物に係る一切の知的所有権及び財産権を、顧客及び／又はそのライセンサーに譲渡するものとする。エンドユーザーが提供したすべてのデータは、ロヴィのプラーバシー・ポリシーに従って、ロヴィが使用する。